



沖縄市スポーツ推進計画



Enjoy SPORTS



平成 26 年 3 月
沖縄市教育委員会

はじめに

近年、自由時間の増大やライフスタイルの多様化などによる社会環境の変化に伴い、市民の健康づくりへの意識の高まりやスポーツへのニーズも多様化してきています。

本市では、平成8年9月に「スポーツコンベンションシティ」を宣言し、地域に根ざしたスポーツ活動を通して、健康で豊かな心とからだを育て、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりをめざしています。

国においては、スポーツ振興法が50年ぶりに全面改正され、新たにスポーツ基本法を制定し、平成23年8月に施行されています。同法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされ、スポーツは、青少年の健全育成や心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造など、国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。また、平成24年3月には、同法に基づき、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するためのスポーツ基本計画を定めています。

沖縄県においては、スポーツ基本法の主旨をふまえ、スポーツアイランド沖縄の目指すべき将来像やそれを実現していくための基本施策等を示した沖縄県スポーツ推進計画を、平成25年3月に策定しています。

以上のようなことをふまえ、本市においては、スポーツへの関心や年齢・体力に応じて、スポーツを「する」だけでなく、「観る」ことや「支える」ことなどにより健康や生きがい、夢や明日への活力など、スポーツを通じた人づくり・まちづくりを推進するため、この度「沖縄市スポーツ推進計画」を策定しました。

今後は、本計画の推進にむけて、市民やスポーツ関係者の皆さまのご理解とご協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただきました沖縄市スポーツ推進審議会委員の皆さまをはじめ、市民や関係者の方々に心から感謝申し上げます。

平成26年3月

沖縄市教育委員会

－ 目 次 －

I. 総論	1
1. 計画の背景と目的	1
2. 計画の性格	2
3. 計画の期間	2
4. 計画の位置づけ	3
5. 基本理念	4
6. 基本方針	5
7. 基本目標	6
8. 施策体系	8
9. 目標指標	9
II. 各論	11
1 : スポーツと身近に触れ合える環境づくり・きっかけづくりの推進	11
(1) スポーツを知り・体験するきっかけづくり	12
(2) スポーツを楽しむことのできる環境整備	14
(3) スポーツに関する情報の発信・意識啓発	16
2 : ライフステージに応じた市民のスポーツ活動の推進	17
(1) 幼少期・青少年期における発達段階に応じた運動・スポーツ活動の推進	18
(2) 成人の継続的な運動・スポーツ活動の推進	21
(3) 高齢期の生きがいスポーツ・介護予防等の推進	22
(4) 障がい者の生きがい・交流スポーツの推進	23
3 : スポーツを支える人づくり・地域づくり・まちづくり	24
(1) 総合型地域スポーツクラブの周知・活性化	25
(2) 地域スポーツを支える人材・団体等の育成・活用	26
(3) スポーツコンベンションシティの構築による多様な交流の推進	28
III. 計画の推進に向けて	31
参考資料	33

I . 總論

I . 総論

1. 計画の背景と目的

スポーツは、健康の維持や体力の向上だけでなく、人と人とのコミュニケーションをより豊かにし、青少年の健全育成や地域の活性化に大きな役割を果たしています。だれもが明るく、活力に満ちた生活を送る上で、生涯スポーツ社会が広がることは大きな意義を持つものです。

近年、自由時間の増大やライフスタイルの多様化をはじめ、少子高齢化や核家族化の進展、コミュニティの希薄化、情報化の進展、教育改革など、国民を取り巻く社会環境は著しく変化しています。そうした中、国民一人ひとりがゆとりと潤いのある豊かな生活や生きがいを求めるようになり、人々はスポーツやレクリエーションへの関心を一層高め、そのニーズを高度化・多様化させています。

こうした潮流を踏まえ、国においては、平成22年8月に『スポーツ立国戦略』を策定するとともに、平成23年8月には50年ぶりにスポーツ振興法を全面改正し『スポーツ基本法』を施行するなど、スポーツ行政に大きな動きがみられます。スポーツ基本法の前文は、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」という書き出しから始まっており、“スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であること”、“スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、人格形成に大きな影響を及ぼすものであること”、“人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものであること”等、スポーツがもたらす効果や役割について述べています。また、平成24年3月には、スポーツ基本法に基づき、その具体的な推進を図るための『スポーツ基本計画』を策定し、今後10年間を見通した基本方針及び今後5年間に総合的且つ計画的に取り組むべき施策を位置づけています。

沖縄市においては、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりをめざし、平成8年に『スポーツコンベンションシティ宣言』を行い、各種スポーツ施設の立地する特性を活かしながら各種施策を推進してきました。また、平成23年度からスタートした『第4次沖縄市総合計画基本構想』では、生涯学習分野において、「いつでも、どこでも、だれでも、自ら学び体験し、活かすことで喜びを感じ、満ちたりた人生をおくれるよう、生涯をとおして健康で豊かな心と体を育み、参加と協働の輪を広げ、活気と共感に満ちた学習の機会を創出します。」と位置づけるとともに、産業分野において、「県内有数のスポーツ施設を活かし、スポーツコンベンションの充実を図り、観光とリンクした多様な魅力を創造します。」と位置づけるなど、生涯スポーツの推進や観光とリンクしたスポーツコンベンションの魅力づくりを図っていくこととしています。また、平成16年3月には、『沖縄市立総合運動場整備計画（沖縄市スポーツ振興基本計画基礎調査）』を策定し、本市のスポーツ振興に関する方針と施設整備に関する構想・計画を一体的に示しています。今後、こうした方向性を基本に、先のスポーツ基本法やスポーツ基本計画の精神を引き継ぎ、より具体的な施策を位置づけていくことが必要となっています。

したがって、『沖縄市スポーツ推進計画』は、沖縄市のまちづくりやスポーツ推進の方向性、国や県の考え方を踏まえつつ、これまでのスポーツ推進施策の検証や市民ニーズの把握等を行い、スポーツ推進の考え方や具体施策を定めた計画として策定するものです。

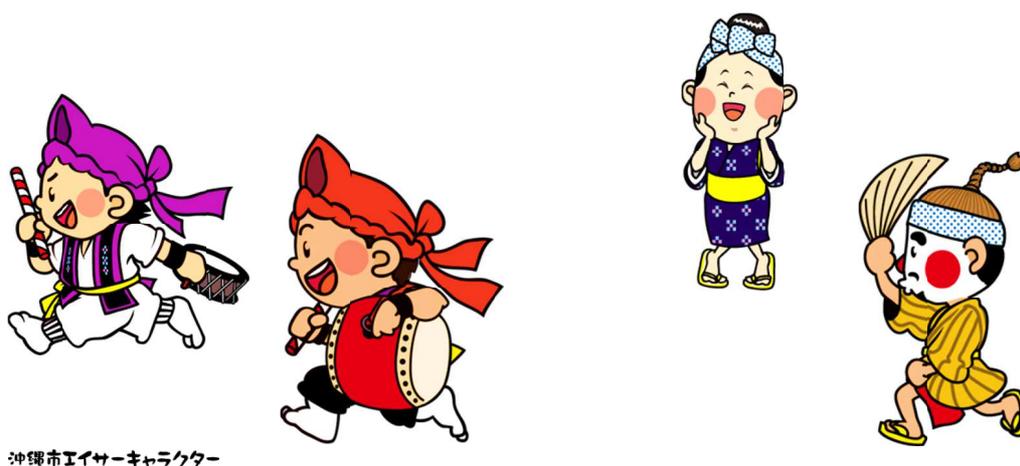
2. 計画の性格

本計画は、沖縄市がスポーツを推進していくための基本的な計画であり、本市のスポーツ関連事業をはじめ、体を動かす活動（ウォーキングやダンス等）や遊びの要素を取り入れながらスポーツとして行われるレクリエーション、健康な身体づくりに資する取組みも含め、対象として扱います。

また、行政のみでは実現しないことから、市民やスポーツ団体等の参画のもと推進していくものとします。

3. 計画の期間

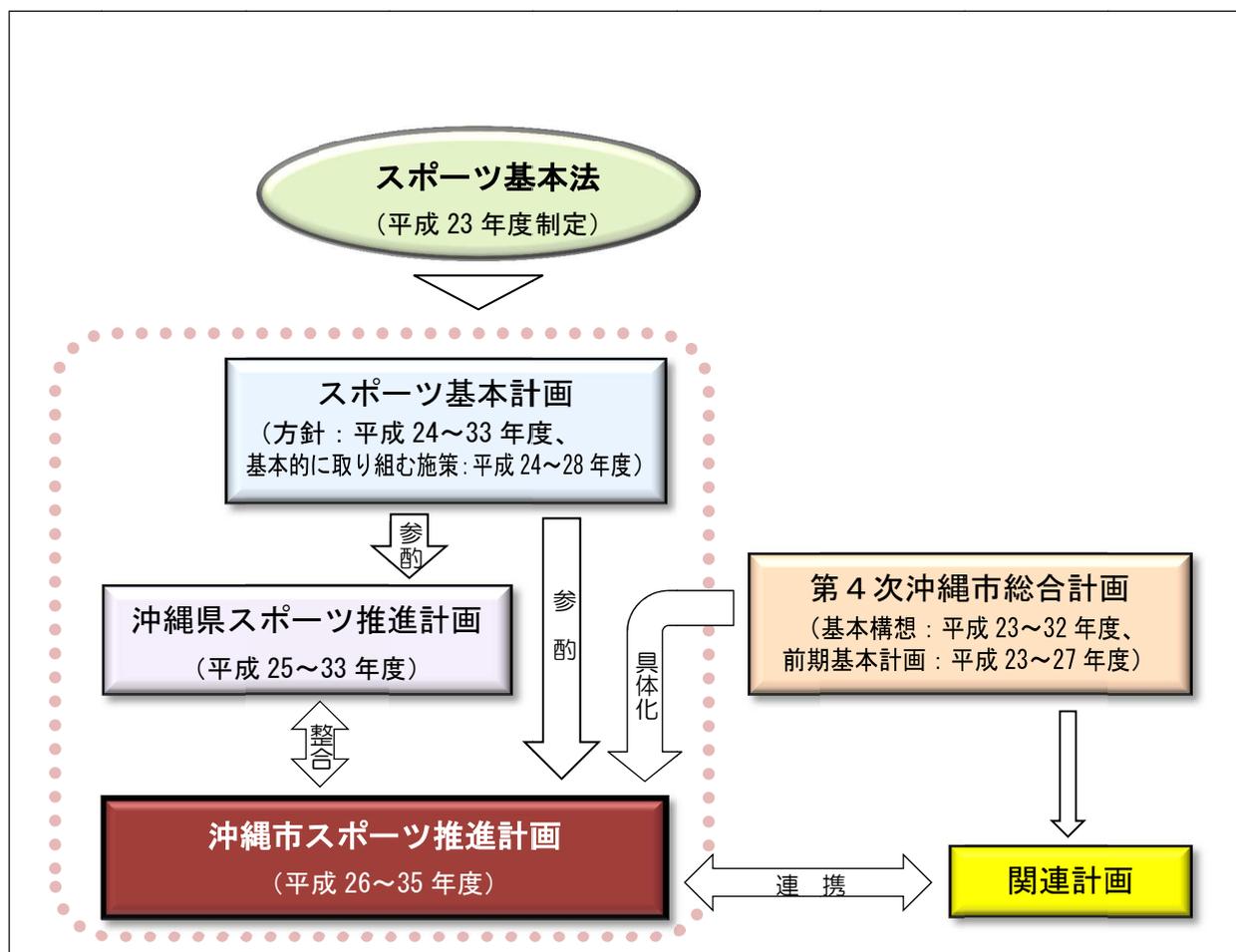
本計画の計画期間は、平成 26 年度から平成 35 年度の 10 年計画とし、社会情勢の変化等により、必要に応じて中間年度での見直しを行うものとします。



4. 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法」第 10 条に基づく「地方スポーツ推進計画」であり、スポーツ基本法の理念に則り、本市におけるスポーツ推進を図るための総合的な計画として策定するものです。また、国のスポーツ推進に関する方向性を示す指針である「スポーツ基本計画」を参酌するとともに、「沖縄県スポーツ推進計画」との整合性に留意して策定します。さらに、本市の最上位計画である「第 4 次沖縄市総合計画」におけるスポーツ分野の部門別計画として具体的な取組みの方向性を示し、各種関連計画等との連携により取組みの推進を図るものです。

■法及び上位・関連計画との関係



5. 基本理念

スポーツは、各々の関心や年齢・体力といった適性等に応じて楽しむことができるものであり、「する」だけでなく、「観る」ことや「支える」ことなど、多様な参画の仕方があります。自分ができる範囲でスポーツに関わっていくことで、健康や生きがいに繋がるだけでなく、感動の共有、夢や明日への活力、多くの人との絆が生まれます。

本市においては、『スポーツコンベンションシティ宣言』に基づき、市民ぐるみで活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりをめざして取り組んでいくものとし、以下の基本理念を掲げます。

スポーツを通した『身体づくり、人づくり、仲間づくり』

～自分らしく楽しみ、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくり～



6. 基本方針

(1) 生涯スポーツの振興

平均寿命の延伸や余暇時間の増大、所得水準の向上や生活意識の多様化からスポーツの大衆化は進み、老若男女、だれでもスポーツに楽しみを求め、健康づくりや社交の場としてスポーツを行うことが広く普及され実践されています。生涯を通じていつでも、どこでも、だれでもスポーツに親しむことができ、色々な形でスポーツと関わりを持ち、スポーツの持つ多くの意義と役割を暮らしの中に取り入れる事ができるよう、市民一人1スポーツの推奨など、生涯スポーツの振興に取り組みます。

(2) 競技スポーツの振興

スポーツ技術や記録の向上をめざすスポーツ選手のたゆまぬ努力は、人間の可能性を極限まで追求しようとする有意義な営みといえます。競技スポーツにおいて、市民や市出身選手、キャンプ・合宿等で本市にゆかりのある選手などが活躍し好成績をあげることは、市民に大きな誇りや喜び、感動を与え、地域の活力を産み出します。スポーツに挑戦し、その成果を発揮することができるよう、各種スポーツの技術力向上、記録・目標の達成に向けた競争力の強化を行うとともに、トップアスリートを市民ぐるみで応援する機運醸成を図るなど、競技スポーツの振興に取り組みます。

(3) スポーツ・ツーリズムの振興

沖縄県は観光立県と呼ばれており、観光の振興は本県経済や地域の活性化等に広く波及効果をもたらしています。また、本県の持つ美しい海や恵まれた気候は、スポーツを行う上でも優位性を有しており、スポーツによる滞在日数の増加や若年層の沖縄旅行者の獲得を見込むことができるなど、スポーツを観光にリンクさせることで更なる波及効果が期待できます。スポーツコンベンションシティを宣言する本市においても、恵まれた自然環境やスポーツ施設等の資源を活かし、スポーツを通じて新たな沖縄市の魅力を国内外に発信していくなど、戦略的な取り組みを図っていくことが求められます。そのため、沖縄県や市内の観光関連団体等とも連携を図ることにより、ブランディングやプロモーションといった誘致活動を積極的に推進していくなど、スポーツ・ツーリズムの振興に取り組みます。

7. 基本目標

基本理念・基本方針を踏まえ、スポーツを推進していくための3つの基本目標を以下に定めます。

目標1：スポーツと身近に触れ合える環境づくり・きっかけづくりの推進

初心者でも楽しめ、スポーツを行うきっかけとなるよう、スポーツ体験・スポーツ教室・スポーツイベント等の充実を図るとともに、ニュースポーツや身体を動かすレクリエーション等、幅広いプログラム展開に努めます。

また、サークル化への支援をはじめ、マイクロバスの活用による移動支援、ニュースポーツ用具の貸し出し、学校体育施設の開放や公園施設の改修等を図り、身近な地域でのスポーツ活動を支援します。さらに、スポーツ活動の拠点である沖縄市立総合運動場（コザ運動公園）について、施設の整備・充実及び利用促進を図ります。

より多くの市民にスポーツに関心を持ってもらうとともに、参加する機会を拡充するため、市広報誌やメルマガ、ホームページ等、各種情報媒体を活用した情報提供・意識啓発を行います。

目標2：ライフステージに応じた市民のスポーツ活動の推進

幼児やこどもの体力向上に向け、体を動かす遊びをはじめ、学校体育の充実や部活動の奨励、放課後や休日における運動・スポーツ活動等により、身体を動かすことの楽しさに触れる機会を拡充していくとともに、家庭・地域・学校の連携による食育・生活習慣の見直しを図ります。

社会人になると仕事や家事・育児等に追われ、スポーツから離れてしまう状況があることから、スポーツ実施率が低い子育て期・働き盛り世代においても継続的にスポーツを楽しむことができるよう、ニーズの把握に努めるとともに、スポーツ教室の充実やニュースポーツの普及など、幅広いスポーツ事業を実施します。

元気で生き生きとした高齢期を過ごすことができるよう、老人クラブ活動等を推進するとともに、団塊の世代が後期高齢者（75歳以上の高齢者）となる2025年問題への対応に向け、介護予防や健康づくりのための取組みの一層の充実を図ります。

障がい者の体力増強、交流、余暇等への社会参加の促進を行うため、各障がいに対応したスポーツ教室の開催に取り組むとともに、「特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会」等との連携により、障がい者スポーツを推進します。

目標3：スポーツを支える人づくり・地域づくり・まちづくり

地域住民のだれもが、いつでも、気軽に多様なスポーツを主体的・継続的に行えるよう、総合型地域スポーツクラブの周知を行うとともに、市民の参加を促進します。また、総合型地域スポーツクラブの自主的な運営に向けた支援を行うとともに、新たなクラブの立ち上げを促進します。

地域スポーツを支える人材として、スポーツ推進委員等のスポーツ指導者の確保及び資質向上を図るとともに、スポーツボランティアの育成及び活動の場づくりを行います。

プロスポーツチームへの支援や応援機運の醸成、キャンプ・合宿の支援及び誘致活動の積極的な展開を図るとともに、トップアスリートとの交流機会や技術指導等を通し、スポーツコンベンションシティの構築を図ります。



8. 施策体系

基本理念：

スポーツを通じた『身体づくり、人づくり、仲間づくり』
～自分らしく楽しみ、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくり～

基本方針：

生涯スポーツの振興

競技スポーツの振興

スポーツ・ツーリズムの振興

目標1：
スポーツと身近に触れ合える環境
づくり・きっかけづくりの推進

(1) スポーツを知り・体験するきっかけ
づくり

(2) スポーツを楽しむことのできる環境
整備

(3) スポーツに関する情報の発信・意識
啓発

目標2：
ライフステージに応じた
市民のスポーツ活動の推進

(1) 幼少期・青少年期における発達段階
に応じた運動・スポーツ活動の推進

(2) 成人の継続的な運動・スポーツ活動
の推進

(3) 高齢期の生きがいスポーツ・介護予
防等の推進

(4) 障がい者の生きがい・交流スポーツ
の推進

目標3：
スポーツを支える人づくり・
地域づくり・まちづくり

(1) 総合型地域スポーツクラブの周知・
活性化

(2) 地域スポーツを支える人材・団体等
の育成・活用

(3) スポーツコンベンションシティの構
築による多様な交流の推進

9. 目標指標

本計画をより実効性のあるものとするため、以下の目標指標を位置づけ、達成状況等を点検・評価しながら計画の推進を図ります。

目標項目	現状値 (平成 25 年度)	目標値 (平成 35 年度)	目標値設定の根拠・考え方等	関連する 領域
成人のスポーツ実施率 (週1日以上、週3日以上)	【週1日以上】 42.4%	【週1日以上】 65.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・H25 年度市民アンケート問 2 及び問 2-3 より。 ・スポーツに触れるきっかけづくりをはじめ、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進等を図り、「沖縄県スポーツ推進計画」における目標値（平成 33 年度末目標値）の達成をめざす。 	目標 1・2
	【週3日以上】 19.7%	【週3日以上】 30.0%		
市内総合型地域スポーツクラブに参加した市民の延べ人数	26,782 人 (※)	50,000 人	<ul style="list-style-type: none"> ・本市にある総合型地域スポーツクラブが実施する教室等の各種事業へ参加した市民の延べ人数。 ・総合型地域スポーツクラブの周知・参加促進等を図り、現状値の 2 倍程度の参加人数をめざす。 ※現状値については、平成 24 年 (H24. 1. 1~H24. 12. 31) の数値。	目標 3



II. 各論

Ⅱ. 各論

1 : スポーツと身近に触れ合える環境づくり・きっかけづくりの推進

【現状と課題】

平成 25 年度に実施した「市民のスポーツに関する意識調査」では、回答者総数に占める“週 1 日以上スポーツを実施している市民”の割合は 42.4%であり、沖縄県の実施率 37.9%（平成 24 年度実施）を上回っているものの、国の実施率 45.3%を下回っている状況にあります。そうした中、“この 1 年間、運動・スポーツをしなかった市民”の割合が 39.3%と、国の値（22.2%）の倍近くと多い状況にあり、時間や機会、仲間の無さをその理由として挙げています。

また、運動・スポーツをする際に妨げとなっていることについては、「経済的なゆとりがない」「身近に施設がない」などが上位に挙がっており、スポーツへの多様な参画機会の提供や施設の充実、機材の貸与等により、お金をかけずに身近で気軽に楽しめるスポーツの普及などに取り組んでいくことが求められます。

本市においては、市民スポーツ推進事業を実施し、いつでも・どこでも・だれでも気軽にスポーツに参加できるよう、各種スポーツ教室やスポーツ・レクリエーション大会を開催するなど、スポーツをはじめのきっかけとなる事業を展開していますが、今後とも、こうした取組みを積極的に推進していくとともに、幅広いプログラムの提供に努め、家族や仲間と一緒にプレーする楽しさを感じてもらい、活動の継続に繋げていくことが求められます。

また、日々のちょっとした時間を有効に使い、スポーツに親しんでもらうためにも、学校体育施設開放の周知・利用促進をはじめ、公園へのアスレチック遊具や外周ゴムチップ化等の整備を行うなど、身近な場所で気軽にスポーツを行うことができるような環境整備に努めるとともに、既存スポーツ施設の改修・有効利用を推進していく必要があります。さらに、スポーツに参加する機会を拡充するため、市広報誌や各種情報媒体を活用し、スポーツイベントや施設等の積極的な情報提供を図っていく必要があります。

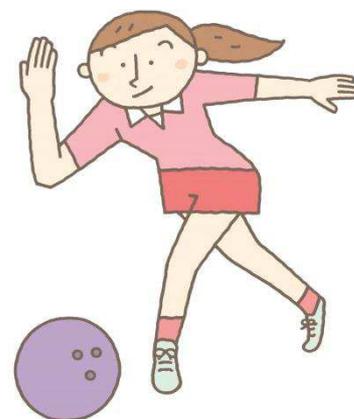


(1) スポーツを知り・体験するきっかけづくり

沖縄市スポーツデイをはじめとしたスポーツイベントや各種スポーツ教室等を開催する「市民スポーツ推進事業」を展開する中で、スポーツを知り・体験するきっかけづくりを行い、『市民一人1スポーツ』を推奨します。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツイベントの開催及び支援の実施	<p>毎年、体育の日前後に開催している「沖縄市スポーツデイ」について、こどもから大人まで家族で楽しめる内容として各種取組み（新体カテスト・スポーツイベント・スポーツ教室・施設の無料開放・各種スポーツ大会の開催）の充実を図るとともに、参加促進に向けて市民への周知徹底を図ります。また、世代を問わず楽しめるカローリング大会などのスポーツイベント等を開催します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄市スポーツデイの開催 ・ カローリング大会の開催 ・ 国際交流サッカー大会の開催 	市民スポーツ課
② 生涯学習フェスティバル等におけるスポーツ・レク体験等の充実	<p>生涯学習フェスティバル等において、市民がスポーツと触れ合うきっかけとなる機会を提供します。具体的には、ニュースポーツ体験コーナー等の充実や、中央公民館利用団体等による学習成果発表の場の充実を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツの紹介及び体験コーナーの充実 ・ レクリエーション協会等と連携したレク大会の充実 ・ サークル等の発表の場の充実 	市民スポーツ課、生涯学習課、中央公民館、その他関係機関
③ スポーツイベント開催支援の実施	<p>本島中部地区を代表する一大イベントである「おきなわマラソン」や、関係団体が実施する各種スポーツイベントについて、主催者との連携のもと開催支援を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おきなわマラソンの開催支援 ・ 沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップの支援 ・ 沖縄市陸上競技大会の開催支援 	市民スポーツ課
④ 各社会教育団体等の運動会・スポレク大会等の実施支援	<p>各社会教育団体等が活性化や親睦のために行う運動会・スポレク大会等を支援するため、「親子ふれあい体験活動助成事業」の活用促進を図るとともに、多様な団体への同事業の周知を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各社会教育団体の運動会・スポレク大会等の支援 ・ 親子ふれあい体験活動助成事業を活用した地域住民のスポレク活動支援 ・ 親子ふれあい体験活動助成事業の周知 	生涯学習課

具体施策	施策内容	担当課等
⑤各種スポーツ教室等の開催	<p>正しい運動の仕方・楽しみ方の学習や新たなスポーツとの出会い、競技レベルの向上等に資するため、各種スポーツ教室等の開催に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ推進事業、中央公民館講座、出前講座等におけるスポーツ教室の開催 ・ニーズを踏まえたメニュー開発の推進 	市民スポーツ課、生涯学習課、中央公民館



(2) スポーツを楽しむことのできる環境整備

身近で安全にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ施設の整備や学校体育施設の整備・開放、公園の整備等を図るとともに、ニュースポーツ用具の貸与や移動支援を行います。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツ施設の整備推進	<p>本市におけるスポーツ活動の拠点である「沖縄市立総合運動場(コザ運動公園)」の整備・充実を図ります。具体的には、サッカー場の人工芝整備、多目的広場、庭球場、水泳プールの整備、駐車場不足の解消に向けた働きかけ等に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー場、多目的広場、庭球場、水泳プールの整備 ・駐車場不足の解消に向けた関係部署への働きかけ 	施設課、市民スポーツ課
② スポーツ施設の管理運営の充実	<p>「沖縄市立総合運動場(コザ運動公園)」について、管理運営の効率化及びサービス向上に向け、引き続き指定管理者制度の導入を継続します。</p> <p>平成26年2月にリニューアルオープンした野球場については、ネーミングライツの導入により施設の管理・運営に役立てます。</p> <p>スポーツ施設の更なる活用促進に向け、平日の遊休時間帯について有効活用方策の検討等を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の継続実施 ・スポーツ施設へのネーミングライツ導入の検討 ・遊休時間帯の有効活用方策等の検討 	市民スポーツ課
③ 学校体育施設の整備	<p>引き続き、屋内運動場(体育館)について、設備・備品の整備等に随時対応するとともに、小学校屋内運動場の耐震化改修を推進します。</p> <p>また、耐震化改修の完了後は、武道場が未整備の中学校について、武道場の整備を検討していきます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場の耐震化改修 ・設備・備品の整備等対応 ・中学校武道場の整備検討 	施設課、学務課
④ 学校体育施設の開放及び活用促進	<p>学校体育館やグラウンド、プールの開放を継続します。また、利用希望の待機団体もいることから、より多くの団体等が利用できるよう、利用調整に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設開放事業の周知 ・利用調整の実施 	市民スポーツ課

具体施策	施策内容	担当課等
⑤地域・学校連携施設の開放	<p>地域・学校連携施設の開放により、スポーツサークルへの活動の場の提供や地域のレクリエーション交流の促進を図ります。利用団体の固定化がみられることから、市民・各種団体への周知を図るとともに、利用要件の変更を検討し、利用促進に努めます。</p> <p>また、学校施設の建替え等にあたっては、地域・学校連携施設の整備を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・学校連携施設の周知等による利用促進 	生涯学習課、施設課、市民スポーツ課
⑥ニュースポーツ用具の無料貸し出し	<p>年齢に関係なく実践できるニュースポーツの普及に向け、用具の拡充及び無料貸し出しを継続するとともに、だれもが利用しやすいようルール説明資料等の整備を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及に向けた用具の拡充、無料貸し出し ・ルール説明資料の整備 	市民スポーツ課
⑦スポーツ推進マイクロバスの活用促進	<p>市内団体のスポーツ活動に伴う移動支援を図るため、「スポーツ推進マイクロバス」の周知及び利用促進を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進マイクロバスの周知及び利用促進 	市民スポーツ課
⑧公園施設の整備	<p>身近な公園において気軽に運動を楽しむことができるよう、公園施設のリニューアル等に合わせ、運動機能を向上させる健康遊具の設置や外周ゴムチップ化を図るなど、スポーツ関連設備の導入に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具等の設置 ・外周ゴムチップ化の推進 	建築・公園課



(3) スポーツに関する情報の発信・意識啓発

市民が自主的に継続性を持ってスポーツを実践していくことができるよう、スポーツのもたらす効果や健康との関係等の情報発信や、新しいスポーツ・気軽にできるスポーツなどの情報提供を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 情報の一元化の推進	<p>市民に対してスポーツのもたらす効果等を発信するとともに、市民がスポーツ情報をわかりやすく・手軽に入手できるよう、各課・施設等のスポーツ関連情報の一元化に努めます。また、市内の各運動施設の特徴や教室・講座の案内等を掲載した「沖縄市スポーツガイドブック」の発行を検討します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課等との連携による情報の一元化 ・沖縄市スポーツガイドブックの発行検討 	市民スポーツ課
② ITや携帯端末等を活用したスポーツ情報の発信	<p>市ホームページでのスポーツ情報の発信及び更新を図り、いつでも必要な情報にアクセスできる様にしていくとともに、メルマガやホームページ等でタイムリーなスポーツイベントのお知らせを行い、市民の参加を呼び掛けます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページでの情報発信の充実 ・メルマガの周知及び登録の促進 ・メルマガやホームページ等でのスポーツイベントの周知 	市民スポーツ課
③ 各種情報提供媒体の活用によるスポーツ情報の提供	<p>市広報誌やコミュニティFMの活用、生涯学習ガイドブック等への掲載等、様々な情報媒体を活用し、スポーツ関連の情報発信を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用した情報発信の充実 	市民スポーツ課、生涯学習課、その他関係機関



2：ライフステージに応じた市民のスポーツ活動の推進

【現状と課題】

幼児期から高齢期に至るまで、障がいの有無に関わらず、それぞれのライフステージに応じたスポーツの推進を図っていくことが求められます。

国の「スポーツ基本計画」においても、特にこどもの体力向上が重要ポイントとして挙げられており、本市においてもこどもの体力向上に取り組むことができる体制づくりを構築していく必要があります。一方、全国的にも課題となっているように、よく運動をしているこどもとそうでないこどもの間で体力格差が生じており、本市においても、いわゆる「体力・運動能力の二極化」が進んでいる状況が懸念されています。特に、沖縄県は車社会であり、日常生活で歩く機会が少なく、通学時の車での送迎等もみられることから、身体・運動能力の発達に影響を及ぼしていることも否めない状況にあります。加えて、朝食を摂らないこどもも多く、児童生徒の肥満傾向も見受けられます。そのため、食習慣や運動習慣などの生活習慣を見直し、こども一人ひとりの総合的な体力向上を図っていくとともに、二極化を解消するためにも、幼児期から遊びやスポーツを通して身体を動かすことが好きになるように、社会全体でこどもの運動機会を確保することが必要です。

また、「市民のスポーツに関する意識調査」では、“今後、スポーツ教室に参加したいと思っている方の動機”として、20歳代や30歳代といった若い世代において「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむため」、50歳代や60歳代において「健康や体力づくりのため」が挙がっており、年代ごとに傾向が異なっていることがわかります。今後においては、ライフステージにより多様なスポーツニーズがあることに着目し、市民のニーズに対応できるようプログラムの開発・普及を図っていくことが求められます。特に、本市がその普及に力を注いでいるカローリングについては、様々な年代が自分の体力に応じて参加できるものですが、意識調査では“現在行っている方”“今後行いたいと考えている方”共に割合が低い（それぞれ0.2%、0.3%）ことから、その存在も含め、市民に十分に知られていないと思われます。そのため、多様な機会を通して積極的に普及を図っていくことが求められます。なお、同意識調査において、“取り組んでみたい種目”を尋ねたところ、女性については健康や美容効果を意識した種目の人気が高い状況や、これまで体験したことのない種目を生涯学習・健康づくりの一環として取り組む傾向が見受けられることから、そうした種目の活動の場の充実を図るとともに、ニュースポーツ等についても、健康や美容効果に着目した普及活動を行っていくなど、効果的な周知を行っていくことが期待されます。

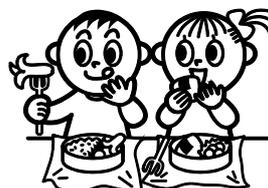


(1) 幼少期・青少年期における発達段階に応じた運動・スポーツ活動の推進

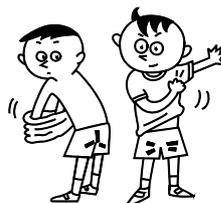
幼少期より体を動かす遊びを行う習慣や望ましい生活習慣を身につけさせる取組みを推進します。また、青少年期にかけては多様なスポーツを体験し、生涯に亘るスポーツ習慣の形成やその定着を図る時期として重要な時期であることから、年齢や身体の発達段階に応じた運動・スポーツ活動の推進を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 幼児期からの遊びを通した運動習慣の確立	<p>幼児期において歩く・走る・跳ぶ・投げるといった全身を動かす遊びを体験し、運動の楽しさを身につけていくことができるよう、安全・安心な施設の環境整備を図るとともに、園庭等での遊びの促進や支援に取り組めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な施設の環境整備 ・園庭等での遊びの促進や支援 	保育・幼稚園課
② がんじゅうアッププログラムの普及	<p>児童・生徒の体力テストの結果を踏まえた体力づくりの方策について、学校と連携して検討を行います。また、沖縄県教育庁において、小学生向けの運動プログラム（がんじゅうアッププログラム）の作成・普及に取り組んでいることから、沖縄県との連携のもと、その推進を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり方策の検討 ・がんじゅうアッププログラムの普及 	指導課
③ 学校体育の充実	<p>体育の授業において、映像により模範演技・動作との比較を行うなど、ＩＴＣ化の推進によるわかりやすい指導に努めます。また、平成 24 年度より中学校において、武道（空手・柔道・剣道）・ダンスが必須となっていることから、安全且つ適切な指導を行うことのできる体制の整備に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育におけるＩＴＣ化の推進 ・教員の指導力向上・外部スポーツ指導者の確保 	指導課
④ 学校部活動の充実	<p>引き続き、中学校部活動の奨励を行うなど、学校部活動の充実に努めます。具体的には、部活動顧問の負担軽減を図るとともに、教職員の異動により継続的な指導に支障を来すことのないよう、部活動の地域指導者の確保を図ります。</p> <p>なお、競技力向上と学力向上を両立できるよう、指導の充実に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動への地域指導者導入の推進 ・競技力向上と学力向上の両立に向けた指導の充実 	指導課

具体施策	施策内容	担当課等
⑤食育の推進	<p>栄養教諭や栄養職員による給食指導をはじめ、保護者等からの依頼による栄養指導講話を行うなど、食育の推進を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や講話、資料展示等による給食指導の実施 ・食育に関する出前講座の実施 	指導課、給食センター
⑥放課後子ども教室におけるスポーツ活動・スポーツ体験の充実	<p>地域や総合型地域スポーツクラブとの連携のもと、各種スポーツ教室等の充実に努めるとともに、公民館や団地集会場などの活用による活動の場の拡充を図ります。併せて、事業目的の周知等を図る中で指導や安全管理を行う有償ボランティアの確保・充実に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー教室、スポーツ入門教室等の充実 ・有償ボランティアの確保・充実 ・公民館等の活用による場の確保 	青少年センター
⑦青少年体験等学習事業におけるスポーツ活動・スポーツ体験の充実	<p>青少年体験等学習事業におけるスポーツ活動やダンス教室等の充実に図ります。特にダンス教室については、ニーズが高く、受講できない子ども達もいることから、より多くの子どもが受講できるよう、開催方法の検討を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動やダンス教室等の充実 ・ダンス教室の開催方法の見直し検討 	青少年センター
⑧児童館・児童センターの充実	<p>子ども達の放課後の居場所を確保し、心身の健やかな育成を図るため、児童館・児童センターの利用を促進するとともに、児童館整備計画に基づき、児童館又は児童館機能を有した施設の整備を推進します。</p> <p>特に、児童センターについては、運動を主とした遊びを通し、体力増進を図ることを目的とした指導機能を有していることから、スポーツ指導の充実に図るとともに、中高生の利用促進に向け、夜間開放の実施に取り組めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館整備計画に基づく児童館又は児童館機能を有した施設の整備推進 ・体力増進に向けた指導機能の充実強化 ・児童センターにおける夜間開放の実施 	こども家庭課



具体施策	施策内容	担当課等
⑨ 児童生徒の競技力向上に向けた支援の実施	<p>スポーツの底辺拡大と競技力の向上、児童生徒間の交流を図るため、「青少年スポーツ推進事業」を継続するとともに、スポーツ少年団の育成支援、各種大会への県外等派遣の支援を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年スポーツ推進事業の継続実施 ・ 各種大会県外等派遣費補助金の周知及び充実 ・ 沖縄市スポーツ少年団本部補助金の継続 ・ 沖縄県軟式野球連盟中部北支部学童部沖縄ブロック補助金の継続 	市民スポーツ課
⑩ 国内交流事業等でのスポーツ体験・スポーツ交流の推進	<p>県内で体験することができないウィンタースポーツの体験機会にもなっている「米沢市沖縄市小学生交流事業」については、今後、2年に1回の交流事業として継続を図ります。また、5か年ごとの周年記念事業として、「姉妹都市スポーツ交流事業」を行うとともに、兄弟都市・友好都市とのスポーツ交流事業の展開を検討します。</p> <p>兄弟都市である豊中市とは、平成10年度より民間サッカー交流（美原クラブ・FC泡瀬と豊中市緑地フットボールクラブとの交流）が行われていることから、引き続きその継続を促進していきます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米沢市沖縄市小学生交流事業の推進 ・ 姉妹都市スポーツ交流事業（周年事業）等の実施 ・ 豊中市との民間サッカー交流の促進 	指導課、市民スポーツ課、文化観光課
⑪ プロ選手等と直接触れ合う各種スポーツ教室・スポーツイベント等の推進	<p>FC琉球や県内の各種スポーツ団体等の協力のもと、こどもを対象としたスポーツ関連イベントを展開し、スポーツ人口の拡大と競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた交流・地域活性化を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FC琉球市内小学校巡回サッカースクールの実施 ・ 市内サッカー交流イベントの実施 ・ スポーツフェスタの開催 	文化観光課



(2) 成人の継続的な運動・スポーツ活動の推進

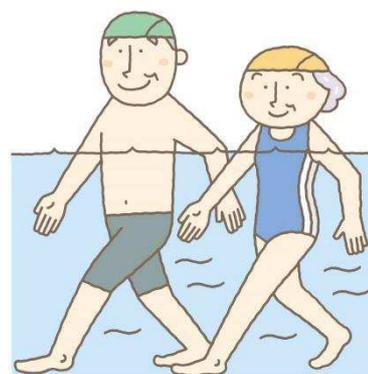
社会人になるとスポーツ活動から遠ざかる傾向が強まることから、日常生活の中での個人の興味・関心や、年齢・体力等に応じて主体的・継続的に運動・スポーツ活動を実施していくことができるよう、スポーツや運動の意義、価値をしっかりと理解してもらう意識改革を図るとともに、具体的な行動の実践を働きかけます。また、気軽にできる運動や、家族や仲間と楽しみながらできるニュースポーツの普及等を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
①多様なスポーツプログラムの提供	<p>スポーツ未実施者やスポーツが苦手な人でも楽しく、気軽に楽しめるスポーツプログラムを提供していくため、沖縄市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、親子・家族がともに参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等との連携による多様なスポーツプログラムの提供 	市民スポーツ課
②ニュースポーツの普及促進	<p>市民一人ひとりが「いつでも」「どこでも」「だれでも」スポーツに親しむことができるよう、手軽に行うことのできるニュースポーツの普及を図ります。特に、沖縄市が力を入れて普及促進に努めているカローリングについて、体力差に関係なく同じステージで楽しむことができるニュースポーツであることを周知していくとともに、教室や大会の実施、自治会等への普及活動に努めるなど、様々な場や機会を通して普及を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室の開催・周知 ・カローリング大会の開催等を通じたカローリングの普及 ・自治会向けのアプローチ等の実施 	市民スポーツ課
③スポーツサークルの活動支援	<p>スポーツサークルの活動を支援するため、学校体育施設の夜間開放等により場の提供を図ります。また、自彊術や太極拳、健康体操、ダンス等の公民館登録サークルについて、引き続き活動の場の提供を図るなど、育成・支援を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツサークルへの活動の場の提供 	市民スポーツ課、中央公民館
④ライフステージに応じた健康づくり支援	<p>市民が各世代で健康づくりの意識を持ち続け、取り組んでいくことができるよう、第2次健康増進計画及び第2次食育推進計画に基づき、健康づくり及び食育の各種取組みを推進します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・37 運動の推進 ・3 cm、3 kg減らそうチャレンジ活動等の推進 ・健康講演会・運動相談の実施 	市民健康課

(3) 高齢期の生きがいスポーツ・介護予防等の推進

高齢者がいつまでも元気に生きがいを持って過ごしていくことができるよう、生きがいスポーツ活動の推進を図ります。また、高齢者の体力維持や健康づくりのサポートを行うなど、介護予防事業の推進を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 生きがいスポーツ活動の推進	「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を継続する中でグランドゴルフ大会等のスポーツ活動を推進します。なお、老人クラブ会員以外の高齢者の参加促進を図るため、事業の周知に努めます。 <主な取組み> ・「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」の継続及び周知	高齢福祉課（地域包括支援センター）
② 介護予防事業の推進	運動機能のレベルや本人の好みに合わせ、各種介護予防事業を提供します。また、新規参加者の増加に向け、周知の強化や教室開催場所の工夫等を行います。 <主な取組み> ・高齢者筋力向上トレーニング事業（転ばん教室）、お気楽元気教室等の実施 ・教室開催場所の工夫の実施 ・介護予防普及啓発事業による周知	高齢福祉課（地域包括支援センター）
③ 高齢者のスポーツ機会の創出	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体や高齢者福祉団体と連携し、高齢者向けのスポーツプログラムを検討・推進します。 <主な取組み> ・関係団体との連携による高齢者のスポーツ機会の創出	市民スポーツ課
④ 高齢者向けスポーツ用具の購入・貸与による活動支援	高齢者がスポーツを楽しむことができるよう、高齢者向けスポーツ用具の整備及び無料貸し出しによる活動支援を図ります。 <主な取組み> ・高齢者向けスポーツ用具の購入、無料貸与の実施	市民スポーツ課



(4) 障がい者の生きがい・交流スポーツの推進

障がい者が自主的且つ積極的にスポーツを行うことができるよう、障がい者スポーツの周知・支援を行うとともに、指導者の育成や用具の購入・貸与などの環境整備を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
①障がい者スポーツの充実	障がい者の社会参加促進の一環として「沖縄市スポーツレクリエーション教室開催等事業」の充実を図ります。同事業については、身体障がい者の参加は図られている状況にあるものの、知的・精神障がい者を対象とした事業内容とはなっておらず、周知も不足していることから、委託先の沖縄市障がい福祉協会との連携のもと、事業内容の充実及び周知を図ります。 <主な取組み> ・沖縄市スポーツレクリエーション教室開催等事業の推進 ・沖縄市障がい福祉協会との連携による内容等の充実	障がい福祉課
②障がい者のスポーツ機会の創出	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体や障がい福祉団体と連携し、障がい者向けのスポーツプログラムを検討・推進します。 <主な取組み> ・関係団体との連携による障がい者のスポーツ機会の創出	市民スポーツ課
③障がい者スポーツ用具の購入・貸与による活動支援	障がいのある方がスポーツを楽しむことができるよう、障がい者向けスポーツ用具の整備及び無料貸し出しによる活動支援を図ります。 <主な取組み> ・障がい者向けスポーツ用具の購入・無料貸与の実施	市民スポーツ課



3 : スポーツを支える人づくり・地域づくり・まちづくり

【現状と課題】

本市においては、公益財団法人日本オリンピック委員会から「陸上競技強化センター」として認定を受けた陸上競技場を有するなど、恵まれた施設環境・自然環境を活かし、合宿・キャンプが盛んに行われています。こうした環境を広くアピールし、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりを行うため、『スポーツコンベンションシティ』を宣言するなど、スポーツによる地域づくり・まちづくりを積極的に推進しています。

そうした中、本市をホームタウンとするF C琉球やキャンプ地として訪れている広島東洋カープなどのプロスポーツ、陸上競技等でのスポーツ合宿等、トップアスリートの競技活動が行われており、「観る」スポーツの醍醐味を感じることができるとともに、市民との交流事業等も実施されています。しかしながら、合宿・キャンプは冬場の一時期に集中していることから、観光関係団体等とも連携し、更なる誘致に向けた取組みを推進していくことが求められています。また、プロスポーツ応援機運の醸成に向けた各種取組みを継続していくなど、市を挙げてスポーツを盛り上げていくことが求められます。

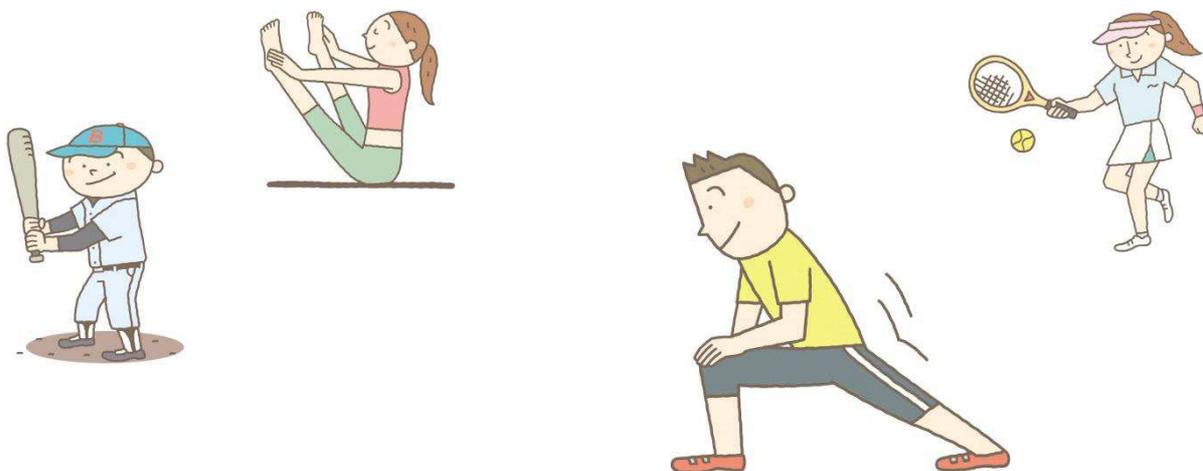
また、本市においても『総合型地域スポーツクラブ』が設立されており、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる「場」を地域につくり、定着させることを目的として活動を行っています。しかしながら、休止状態のクラブも見受けられるなど、活動の継続が難しい状況もみられます。総合型地域スポーツクラブが地域住民のスポーツ活動の拠点となり、新しい公共としてコミュニティの核となることを支援するため、情報交換や運営の助言等を行うなど、既存クラブへの支援方策を検討していくとともに、新たなクラブの立ち上げについても促進していく必要があります。

「支える」スポーツの推進については、スポーツ推進委員の確保及び資質向上等、スポーツを推進するための専門的な人材の育成を図るとともに、審判やボランティア等としてのスポーツへの市民の多様な参画を図っていく必要があります。平成25年度に実施した「市民のスポーツに関する意識調査」では、スポーツ推進委員についての認知度は低く、活用促進を図っていくためにも、様々な場での周知を行っていく必要があると言えます。また、“スポーツの楽しみ方や興味・関心が湧くような指導ができる人”“健康・体力づくりの運動等のプログラムの作成・指導ができる人”を養成・確保して欲しいと感じている市民が多くみられる状況にあることから、スポーツ推進委員の資質向上を図っていく必要があります。なお、アンケートでのスポーツに関するボランティアを行った市民は5.7%と少ないものの、今後、行いたいと回答した市民が14.1%みられ、地域のスポーツ大会の運営や世話等といった活動に関心を寄せている市民もみられません。そのため、市民をスポーツボランティアとして巻き込んでいくなど、ボランティア育成に努めていく必要があります。

(1) 総合型地域スポーツクラブの周知・活性化

総合型地域スポーツクラブは、スポーツ実施率の向上をはじめ、スポーツ指導者の活躍の場の増大、地域のコミュニティ再生にも寄与するなど、その役割に大きな期待が寄せられていることから、市民への周知及び参加促進を図るとともに、地域に根ざしたクラブとして末永く発展していくことができるよう、育成・支援の方策の検討、新たなクラブ創設への積極的な支援等を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 総合型地域スポーツクラブの周知	<p>総合型地域スポーツクラブへの参加促進を図るため、市ホームページや広報誌等で市内の総合型地域スポーツクラブの設置目的や活動内容の紹介を行うなど、各種情報媒体を用いて市民への周知を図ります。また、各種大会やイベント等において、クラブが自らの活動をPRすることができるよう、PRの場・機会の提供に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で活動を行う総合型地域スポーツクラブの周知 	市民スポーツ課
② 総合型地域スポーツクラブへの支援	<p>総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援を図るため、関係者・関係団体と連携しつつ、助成期間後における育成・支援方法を検討します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成期間後における具体的な支援方策の検討 	市民スポーツ課
③ 総合型地域スポーツクラブへの立ち上げ支援	<p>新たな総合型地域スポーツクラブの設立を促進していくため、「沖縄県広域スポーツセンター」との連携により、総合型地域スポーツクラブの概要・理念等の周知を図るとともに、クラブの立ち上げを呼びかけます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの理念等の周知 ・沖縄県広域スポーツセンターとの連携による新規クラブ設立支援 	市民スポーツ課

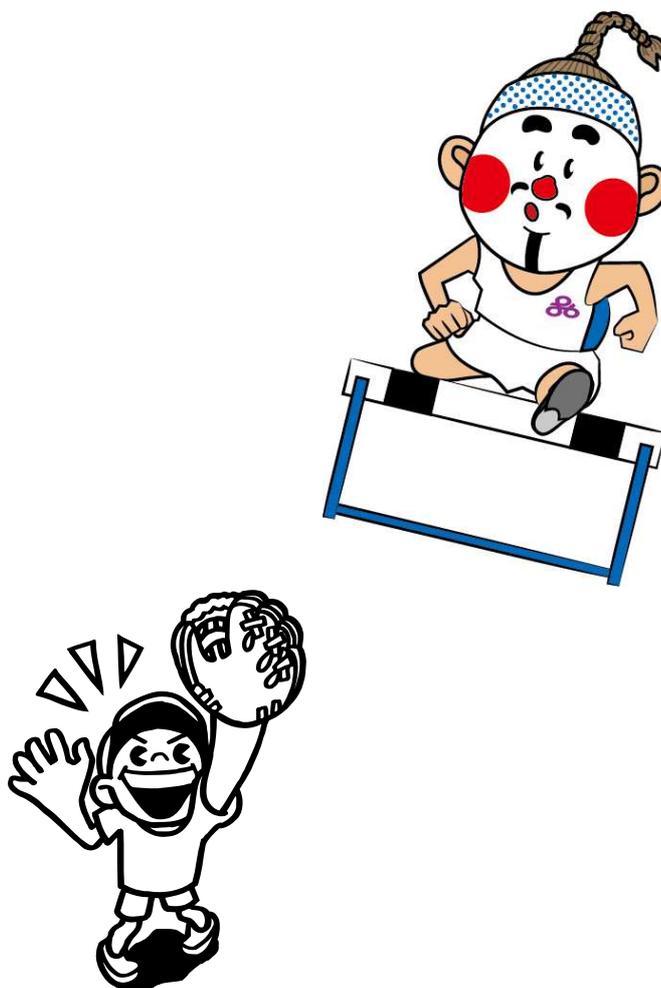


(2) 地域スポーツを支える人材・団体等の育成・活用

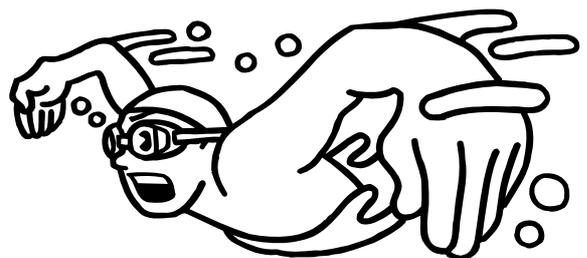
「支える」スポーツの推進に向け、スポーツ推進委員や沖縄市体育協会等、生涯スポーツや競技スポーツを支える人材・団体等の育成を図るとともに、指導者やスポーツボランティアの育成に努めます。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツ推進委員の確保・資質向上	<p>スポーツ推進委員の確保に努めるとともに、スポーツ関連各種行事の企画立案やニュースポーツの紹介・実技指導等の充実に向け、中頭地区や県の研修会等へのスポーツ推進委員の参加促進を行い、資質向上に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の確保、資質向上 ・県や中頭地区等の研修会への参加促進 	市民スポーツ課
② スポーツ推進委員の活用促進	<p>スポーツ推進委員の認知度を高め、地域のスポーツ推進を担うリーダーとして活躍してもらうため、各種情報媒体を活用した広報活動や、市主催のスポーツ教室・イベントの開催等を通し、スポーツ推進委員の周知を図ります。また、地域・学校等各団体主催の教室等への派遣機会の充実に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の周知、派遣充実 	市民スポーツ課
③ スポーツ指導者等を対象とした出前講座の実施・充実	<p>スポーツ推進委員等、スポーツ指導者を対象としたニュースポーツ講座を継続します。なお、市民ニーズを踏まえ、市民が興味を抱き、楽しんで行えるようなメニュー開発(親子で楽しめるニュースポーツ講座等)に努めるなど、指導できる種目の充実をめざします。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者等を対象とした「ニュースポーツ講座」の充実 	市民スポーツ課、生涯学習課
④ スポーツ指導者講習会の実施	<p>学校運動部等のスポーツ指導者の養成・確保を図るため、青少年スポーツ推進事業においてスポーツ指導者講習会を実施します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者講習会の実施 	市民スポーツ課
⑤ 沖縄市体育協会への支援	<p>各種スポーツの普及や底辺の拡大、競技力の向上を先導する役割を果たし、市内の種目別競技団体を統括する「沖縄市体育協会」について、スポーツの推進に向けた各種活動を支援していくため、沖縄市体育協会補助金の継続を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市体育協会補助金の継続 	市民スポーツ課

具体施策	施策内容	担当課等
⑥スポーツボランティアの育成	<p>各種スポーツ大会・イベントの開催等に対し、ボランティアの募集を積極的に行うとともに、大会運営においてもボランティアが携わることのできる運営組織・業務分担としていくなど、市民が自主的に参画できる仕組みづくりを検討します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアの参画機会の拡充 	市民スポーツ課



具体施策	施策内容	担当課等
⑤「スポーツコミッション沖縄（仮称）」との連携	<p>県・沖縄観光コンベンションビューロー・県体育協会の連携により、スポーツコンベンションをトータルでコーディネートし、誘致活動や情報発信の窓口機能を担う「スポーツコミッション沖縄（仮称）」の発足が予定されていることから、スポーツツーリズムの拡大に向け、積極的に連携体制の構築を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツコミッション沖縄（仮称）」との連携による誘致活動等の充実 	文化観光課、市民スポーツ課
⑥東部海浜開発事業の推進	<p>スポーツコンベンションの拠点づくりをめざし、東部海浜開発事業の実現に向けた各種取組みを推進します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋立工事の早期完了に向けた国・県との連携充実 ・多目的広場など公共施設の整備に向けた計画策定 ・本地区におけるマリンレジャー・スポーツ等の実施に伴う海域の円滑利用及び観光メニュー開発に向けた検討 ・スポーツコンベンション拠点の形成に向けた企業誘致の支援 	東部海浜開発局



(3) スポーツコンベンションシティの構築による多様な交流の推進

本市の恵まれた気候や充実した体育施設等の集積を生かし、スポーツキャンプやスポーツ合宿の誘致等を図ります。また、トップアスリートによる競技や試合を直接目にする機会の増加や応援機運の醸成を図るなど、「観る」スポーツを推進します。加えて、沖縄県や観光関連団体等との連携充実、東部海浜開発事業の推進を図るなど、スポーツコンベンションシティの構築に向けた各種取組みを推進します。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツキャンプ・スポーツ合宿の誘致	<p>沖縄市観光協会や沖縄市体育協会等で構成する「スポーツコンベンション推進協議会」を継続し、各団体の連携充実を図るとともに、積極的なスポーツ合宿の誘致活動を展開し、繁忙期以外の時期における新たなスポーツ合宿の誘致に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコンベンション推進協議会の開催による関連団体等の連携充実 ・スポーツ合宿誘致活動の推進 ・スポーツ合宿利用者のニーズを反映した施設や備品等整備 	文化観光課、市民スポーツ課
② プロスポーツの応援機運の醸成	<p>広島東洋カープ、FC 琉球の応援機運醸成を図るとともに、その他競技も含めたプロスポーツの公式戦の誘致を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ応援機運醸成事業の推進 	文化観光課
③ スポーツ大会の誘致	<p>「各種大会等地元開催負担金」について各競技団体への周知を図り、九州規模・全国規模等のスポーツ大会の誘致を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州規模・全国規模等のスポーツ大会の誘致 	市民スポーツ課
④ 県外・国外強豪チームの招聘による高等学校バスケットボール大会の支援	<p>県内バスケットボール競技力の向上をはじめ、青少年の健全育成並びに本市のスポーツ振興、地域振興に寄与する取組みとして、「沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ」の開催を支援します。また、市内小中学校児童生徒の無料招待を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ実行委員会補助金の継続 ・小中学校児童生徒の無料招待の実施 	市民スポーツ課

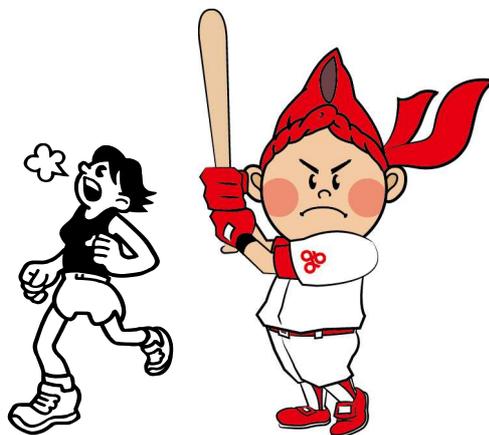
Ⅲ. 計画の推進に向けて

Ⅲ. 計画の推進に向けて

1. 市民や市内スポーツ関係団体等への周知

スポーツ基本法においては、「スポーツは世界共通の人類の文化である」「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利である」と謳われています。本計画の推進にあたっては、市民一人ひとりがスポーツの価値を理解し、「する」スポーツのみならず、「観る」スポーツ、「支える」スポーツなど、多様なスポーツ活動に目を向け、参画していくことが大切です。そのため、本計画の周知を図り、市民の理解と協力を得ながら各種事業の推進を図っていくものとします。

また、沖縄市体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどの市内スポーツ関係団体や、観光等関連団体に対しても本計画の周知を図るとともに、連携を密にする中で各種活動を支援し、スポーツ推進体制の充実に努めます。特に、市民等に本計画を浸透させていくためにも、市内のスポーツ関係団体と連携・協力のもと取り組んでいくこととします。



2. 庁内連携による取組みの推進

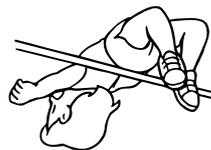
本計画の内容は、こどもから高齢者といった市民の各ライフステージにおけるスポーツ活動等の取組み、スポーツコンベンションシティの構築に向けた取組みなど多岐にわたっており、こども達の健全育成・体力向上や市民の健康・生きがいがづくり、競技力の向上、スポーツ活動を通じた地域間交流の活性化など多くの効果が期待できます。その推進にあたっては、庁内各課との連携が不可欠なことから、市民スポーツ課を中心とした関係各課との横断的な情報交換や協力体制の構築、重点的な取組みの検討や事業成果の検証など、計画的かつ効果的な事業実施に努めていくものとします。



3. 学校との連携による取組みの推進

2013年度全国体力テストの結果を基に沖縄県教育庁が独自に分析した結果によると、運動を全くしない児童生徒の割合が、小学男女及び中学女子において沖縄県が全国一という結果が出ております。成長過程にあるこども達にとって、スポーツは健康な身体をつくる・豊かな心を育むことに役立ちます。また、目標に挑み、成長することで自信を持つことができ、スポーツ活動による多くの経験・多くの出会いは、その後の人生に大きな影響を与えるなど様々な効果があります。こどもの健全育成を図るためにも、運動嫌いのこどもを無くし、幼少期の頃から遊びや多種多様なスポーツに触れる機会を与えることが求められます。

そのため、市内の学校に対し本計画の周知を図るとともに、学校との更なる連携のもと学校体育や運動部活動などを充実させていく必要があります。特に、スポーツのもたらす効果を鑑みた場合、運動部活動の充実が期待されることから、学校の理解や協力を得ながら、地域指導者の確保・育成や安全面での保障についても適切に行われるよう、取組みの強化を促していくものとします。



4. 沖縄県及び関係機関等との連携

本計画においては、広域的な事業展開が求められる取組みも含まれていることから、その推進にあたっては沖縄県をはじめ、沖縄県広域スポーツセンターといった関係機関、発足が予定されているスポーツコミッション沖縄（仮称）等との連携を密にし、取組みの推進を図っていくものとします。

5. 計画の進行管理

本計画を実現していくためには、施策の実施状況について適切に評価していく必要があります。本計画の策定にあたっては、スポーツ関係団体や学校関係団体等で構成する「沖縄市スポーツ推進審議会」において、計画内容の審議を行ってきました。今後においても、同審議会を計画の進捗管理を担う機関として位置づけ、進捗状況の管理を図っていくものとします。

參考資料

参考資料

1. 沖縄市の運動・スポーツ活動に関する現状

(1) 運動・スポーツ関連施設等の一覧及び分布状況

市内には、沖縄市立及び沖縄県立の運動公園（都市住民全般の運動を供することを目的とした15～75ha規模の公園）を有し、スポーツ振興の拠点となっている。その他、多目的広場等を備える「海邦公園」や「沖縄市泡瀬パヤオ交流広場」、運動・スポーツ活動等を含む生きがいつくり講座を提供する「沖縄文化健康センターペアール沖縄・タピック」が立地する。また、公立学校では小中学校の施設・機能を活用した学校開放事業等が行われている。

1) 主な運動・スポーツ関連施設

No.	施設名	住所
1	沖縄市立総合運動場	諸見里 2-1-1
2	沖縄県総合運動公園	比屋根 5-3-1
3	海邦公園	泡瀬 4-11-18
4	沖縄市泡瀬パヤオ交流広場	泡瀬 1-11-34
5	沖縄文化健康センターペアール沖縄・タピック	松本 1-8-1

2) 学校開放事業等を行う公立学校

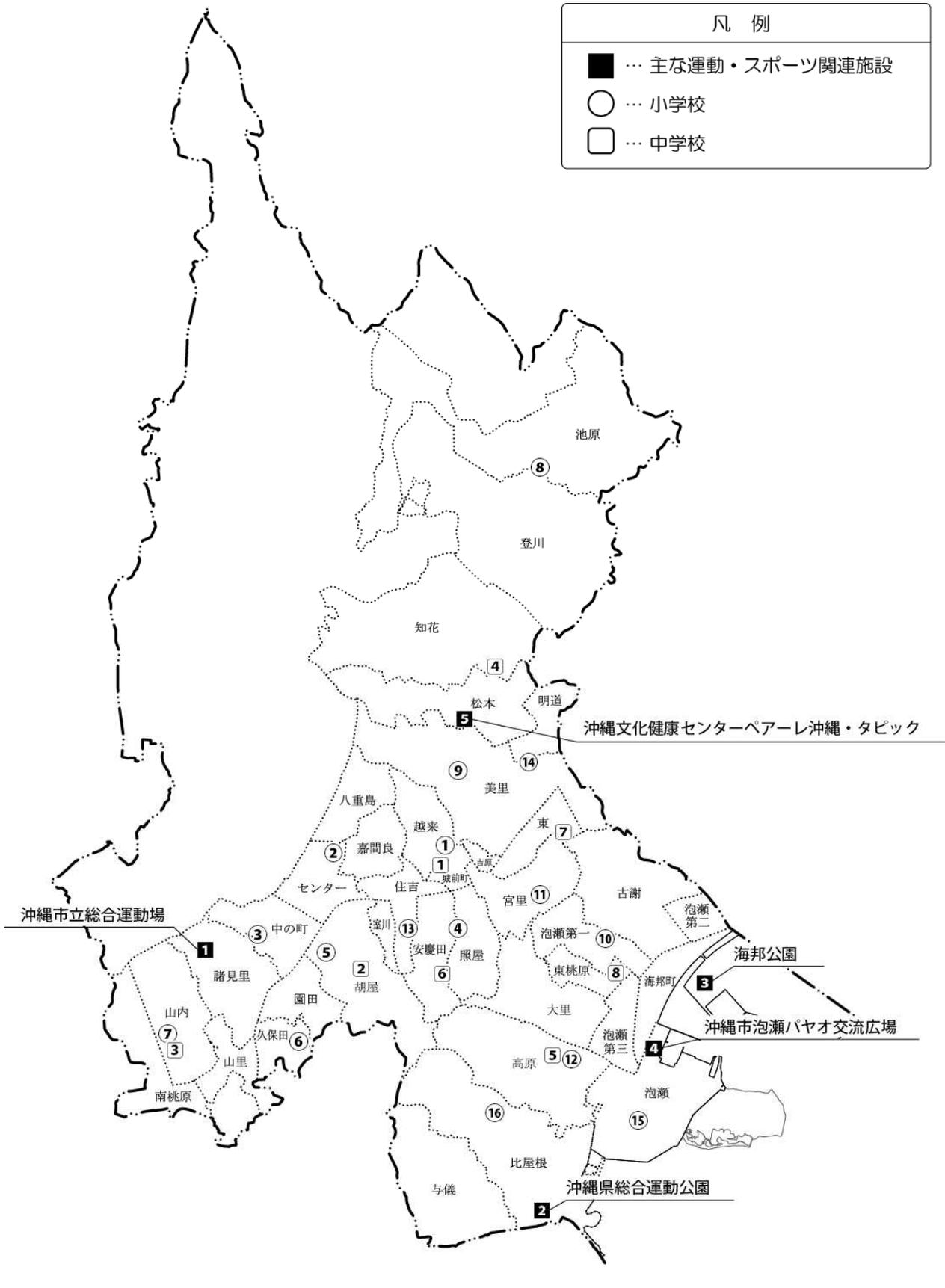
▽小学校

No.	施設名	住所
1	越来小学校	越来 1-2-2
2	コザ小学校	中央 4-16-1
3	中の町小学校	上地 3-4-1
4	安慶田小学校	安慶田 2-18-1
5	諸見小学校	胡屋 2-3-1
6	島袋小学校	久保田 2-21-1
7	山内小学校	山内 2-32-2
8	北美小学校	登川 1515
9	美里小学校	美里 4-1-1
10	美東小学校	桃原 3-4-1
11	宮里小学校	宮里 3-27-1
12	高原小学校	高原 5-12-2
13	室川小学校	室川 2-24-1
14	美原小学校	美原 4-20-1
15	泡瀬小学校	泡瀬 2-33-10
16	比屋根小学校	比屋根 6-2-1

▽中学校

No.	施設名	住所
1	越来中学校	越来 1-2-1
2	コザ中学校	胡屋 3-38-1
3	山内中学校	山内 2-20-1
4	美里中学校	知花 1-24-1
5	美東中学校	高原 5-12-1
6	安慶田中学校	安慶田 3-8-1
7	宮里中学校	東 2-17-1
8	沖縄東中学校	桃原 260-2

主な運動・スポーツ関連施設等の分布図



(2) 運動・スポーツ関連施設等の概要及び利用状況等

1) 主な運動・スポーツ関連施設の概要及び利用状況等

「沖縄市立総合運動場」及び「沖縄県総合運動公園」では、市内外のスポーツ振興の拠点として多項目に対応した施設が充実している。また、「海邦公園」や「沖縄市泡瀬パヤオ交流広場」では多目的広場等を備え、ソフトボールや野球等のスポーツに対応している。「沖縄文化健康センターペアール沖縄・タピック」では、トレーニングルームや多目的ホール、温水プール等の施設を有し、県民の健康づくり・生きがいくりの一環として、運動やスポーツに関する講座の提供が行われている。

① 沖縄市立総合運動場

<p>施設の概要</p> 	<p>沖縄市立総合運動場は、体育館をはじめ、陸上競技場、野球場、武道館などを備えた本格的な総合運動施設です。 市民のスポーツやレクリエーション活動、健康増進の場であるとともに、県外からの競技者や団体使用も多くあります。</p> 
使用時間	9:00～22:00（※サッカー場は土曜日・日曜日のみ使用可）
休場日	毎月第2・第4火曜日

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック、特定非営利活動法人 沖縄市体育協会ホームページ

《 沖縄市立総合運動場施設の利用状況 》

		平成 23 年度	平成 24 年度
野球場	件数	218 件	工事中のため 利用なし
	人員	13,903 人	
	使用料	610,850 円	
投球練習場	件数	111 件	121 件
	人員	821 人	1,062 人
	使用料	69,800 円	122,020 円
陸上競技場	件数	923 件	1,202 件
	人員	342,011 人	352,804 人
	使用料	3,520,290 円	2,562,790 円
トレーニング ルーム	件数	44 件	41 件
	人員	30,831 人	32,261 人
	使用料	5,989,000 円	6,443,000 円
体育館	件数	2,753 件	2,891 件
	人員	93,311 人	138,605 人
	使用料	7,763,040 円	10,200,794 円
庭球場	件数	1,307 件	1,517 件
	人員	11,159 人	13,618 人
	使用料	981,040 円	855,150 円
武道館	件数	970 件	1,326 件
	人員	32,271 人	47,036 人
	使用料	1,631,720 円	1,811,230 円
弓道場	件数	140 件	77 件
	人員	4,725 人	4,780 人
	使用料	204,270 円	200,070 円
サブトラック兼 ソフトボール場	件数	447 件	478 件
	人員	16,529 人	120,241 人
	使用料	771,150 円	842,860 円
屋内練習場	件数	388 件	469 件
	人員	8,116 人	8,524 人
	使用料	968,680 円	846,620 円
サッカー場	件数	67 件	74 件
	人員	5,164 人	7,649 人
	使用料	402,050 円	406,850 円
水泳プール	件数	3 件	休止中
	人員	2,580 人	
	使用料	290,500 円	
多目的運動場	件数	1,576 件	1,748 件
	人員	35,184 人	41,710 人
	使用料	1,981,190 円	1,905,790 円
合計	件数	8,947 件	9,904 件
	人員	596,605 人	768,290 人
	使用料	25,183,580 円	26,197,174 円

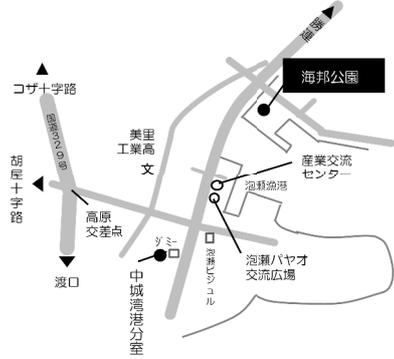
出典：平成 25 年度 教育年報（平成 24 年度の実績）、平成 24 年度 教育年報（平成 23 年度の実績）

② 沖縄県総合運動公園

<p>施設の概要</p> 	<p>本公園は、約 70 ヘクタールの区域に陸上競技場をはじめ各種スポーツ・レクリエーション施設を完備し、各競技会や保育園、老人会等の運動会や遠足、陶芸教室等いろいろなイベントに利用できます。また、天気を気にせず行事運営ができる屋内運動場（レクドーム）もよく利用されています。</p> 
<p>開園日</p>	<p>1月5日～12月27日</p>
<p>休園日</p>	<p>毎週火曜日（ただし火曜日が祝日または代休にあたる時は、その翌日が休園日）、年末年始（12/28～1/4）</p>

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック、沖縄県総合運動公園運営管理事務所ホームページ

③ 海邦公園

<p>施設の概要</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場（ソフトボール2会場可） ・テニスコート（4面） 
<p>利用時間</p>	<p>9:00～19:00（ただし10月1日～3月31日は、17:00まで）</p>
<p>休園日</p>	<p>無休（但し荒天時使用禁止）</p>

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

④ 沖縄市泡瀬パヤオ交流広場

<p>施設の概要</p> 	<p>パヤオ交流広場は、漁業事業者や市民をはじめとする、来客者に安全、快適、利便性の高い広場空間を用いてレクリエーション・ソフトボール・少年野球・休憩所などコミュニティーの場として交流機会の増大、漁業の活性化へと繋げるための施設です。</p>
<p>利用時間</p>	<p>ソフトボール・少年野球 春、夏期間（4月～9月）9:00～19:00 秋、冬期間（10月～3月）9:00～17:30 レクリエーション 9:00～22:00</p>
<p>休場日</p>	<p>1月1日～3日</p>

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

⑤ 沖縄文化健康センターペアーレ沖縄・タピック

<p>施設の概要</p> 	<p>沖縄文化健康センター・愛称「ペアーレ沖縄・タピック」は、健康づくりや、生きがいくり事業を提供することによって、心身ともに健康で快適な日常生活を営んでいただけるよう、県民の皆様すべてが利用できる施設です。専門講師による教養文化、趣味、娯楽等の生きがいくり講座や健康スイミング、シェイプアップ等健康づくり講座を開設しています。</p> <p>《施設》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングルーム ・多目的ホール（第一、第二） ・温水プール ・教養室 <p>等</p> <p>《講座内容》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>アクアビクス</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>琉球ピクス</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ヨガ</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>健康教室シェイプアップ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>気功健康法</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゴルフ</p>  </div> </div> <p>等</p>
<p>休館日</p>	<p>祝日、年末年始</p>

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック、沖縄文化健康センターペアーレ沖縄・タピックホームページ

2) 公立学校における学校開放事業等の概要及び利用状況等

市内小中学校では学校の施設や設備を活用し、「学校開放事業」や「学校体育施設開放事業」、「学校支援地域本部事業」、「放課後子ども教室推進事業」を実施している。事業の概要及び利用状況については、以下に整理する。

①学校開放事業

取組みの内容等	小中学校の施設及び機能を、学校教育に支障のない範囲で地域に開放することにより、市民文化の発展並びに福祉の向上を図るとともに、併せて学校を地域のコミュニティーセンターとして育成していく事を目的に、地域学校連携施設の開放及び学校開放講座を行っている。
---------	---

【地域・学校連携施設の開放】

小中学校施設及び機能を一部地域に開放し、生涯学習の振興を図る地域・学校連携施設は市内に9箇所（小学校6校、中学校3校）設置されている。スポーツ活動や子ども会活動等の様々な団体が利用しており、平成24年度においては利用件数が延べ835件となっている。

開館時間	平日及び休日・祝日も午後10時迄の開放（学校教育の支障のない範囲で開放）
利用対象者	校区内に在住、在勤または在学する者、概ね10名以上の団体。（校区外でも教育長が認める団体は利用可）児童生徒の利用は監督責任者（成人）が必要。

《平成24年度の主な利用団体・利用件数》

学校	主な利用団体	件数
山内小学校	少年野球、サッカー、バレー、バスケット、PTA、音楽同好会等	66件
北美小学校	少年野球、バスケット、サッカー、PTCA等	30件
室川小学校	婦人会、大正琴サークル、市国際交流協会、アロハフラサークル等	188件
美原小学校	サッカー、少年野球、バスケット、PTA、金管バンド等	97件
泡瀬小学校	少年野球、サッカー、バドミントン、泡瀬わらべ太鼓、音楽部等	178件
比屋根小学校	少年野球、サッカー、バレー、あわせJRC、PTA等	127件
山内中学校	バスケット部父母会、風山の会、吹奏楽部父母会、文化広報部等	94件
美里中学校	野球部、吹奏楽部、美ら里の会、美里オリオンズ、PTA等	46件
沖縄東中学校	地域健康生活ネットワーク、光輪花クラブ等	9件
合計		835件

出典：平成25年度 教育年報（平成24年度の実績）

②学校体育施設開放事業

ア. 小学校プール開放事業

小学校のプールを一般市民向けに開放する小学校プール開放事業については、市内全小学校 16 校中 15 校で実施されている。平成 23～24 年度においては、夏休み期間中の 1 か月間に約 8,000～8,600 人の市民利用がみられる。

開放時間	平成 23 年 7 月 21 日～8 月 26 日（土日定休日）
	平成 24 年 7 月 23 日～8 月 29 日（土日定休日）

《平成 23～24 年度小学校プール開放事業の利用人数》

	平成 23 年度	平成 24 年度	人数の増減
越来小学校	298	430	132
コザ小学校	287	205	△82
中の町小学校	400	434	34
安慶田小学校	650	445	△205
諸見小学校	413	406	△7
島袋小学校	181	121	△60
山内小学校	670	737	67
北美小学校	656	512	△144
美里小学校	-	-	-
美東小学校	1226	810	△416
宮里小学校	789	956	167
高原小学校	636	508	△128
室川小学校	252	208	△44
美原小学校	915	981	66
泡瀬小学校	639	466	△173
比屋根小学校	564	717	153
合計	8576	7,936	△948

出典：平成 24 年度 教育年報（平成 23 年度の実績）、平成 25 年度 教育年報（平成 24 年度の実績）

イ. 夜間開放学校事業

市内全小中学校において体育館の夜間開放を実施している。中学校については、市内全8校中7校が運動場の夜間開放も実施している。平成23～24年度における本事業の利用状況をみると、年間延べ12万人余りもの利用がある。

《平成23～24年度夜間開放学校事業の登録団体・登録人数・利用人数》

	平成23年度	平成24年度	増減
登録団体	212団体	205団体	△7団体
登録人数	3,631人	3,354人	△277人
利用人数	126,599人	125,512人	△1,087人

《平成23～24年度の学校別利用者数》

(単位：人)

	小学校体育館		中学校				
	H23年度	H24年度	体育館		運動場		
			H23年度	H24年度	H23年度	H24年度	
越来小学校	4,385人	3,835人	越来中学校	5,613人	5,135人	4,979人	5,119人
コザ小学校	4,300人	4,220人	コザ中学校	4,858人	5,570人	3,533人	9,111人
中の町小学校	2,463人	2,276人	山内中学校	5,467人	4,995人	4,156人	3,489人
安慶田小学校	5,246人	4,819人	美里中学校	5,171人	36人	3,316人	3,277人
諸見小学校	2,671人	2,817人	美東中学校	5,376人	4,948人	2,704人	2,252人
島袋小学校	2,952人	2,307人	安慶田中学校	4,708人	4,792人	5,651人	5,783人
山内小学校	3,151人	3,224人	宮里中学校	4,187人	4,835人	3,505人	3,569人
北美小学校	3,707人	3,877人	沖縄東中学校	6,321人	5,488人	未実施	未実施
美里小学校	1,931人	2,885人	合計	41,701人	35,800人	27,844人	32,600人
美東小学校	4,324人	3,623人					
宮里小学校	3,321人	4,393人					
高原小学校	2,485人	2,472人					
室川小学校	991人	1,958人					
美原小学校	3,899人	4,205人					
泡瀬小学校	5,272人	4,470人					
比屋根小学校	5,955人	5,731人					
合計	57,053人	57,112人					

出典：平成24年度 教育年報（平成23年度の実績）、平成25年度 教育年報（平成24年度の実績）

③学校支援地域本部事業

学校支援地域本部事業は、平成 24 年度より新たに市内 4 小学校にて学校支援地域本部が立ち上がり、市内全小中学校にて本事業が実施されている。平成 24 年度においては、平成 23 年度と比較して地域コーディネーターが 10 人、学校支援ボランティア（年間活動延べ人数）が 7,689 人増加している。運動・スポーツに関わる活動内容としては部活動の指導補助等が行われている。

事業の概要	本事業は、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の拡充、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図ることを目的に、平成 20 年度よりスタートさせたものである。 文部科学省に「学校支援活性化推進委員会」、都道府県教育委員会に「学校支援地域本部運営協議会」、市町村教育委員会に「学校支援地域本部実行委員会」、そして、学校区に「学校支援地域本部」、「学校運営委員会」を設置し、運営している。
目的	学校・家庭・地域が一体となって地域全体で子どもを育てる体制を整えることを目的としている。
活動内容	地域住民のボランティアにより、下記の学校教育活動のサポートが行われている。 ・部活動の指導の補助 ・学習支援 ・図書の整理、読み聞かせ ・校内環境の整備 ・通学路の安全確保

≪平成 23～24 年度の地域コーディネーター・学校支援ボランティア活動状況≫

	地域コーディネーター の人数		学校支援ボランティア 登録人数		学校支援ボランティア 年間活動延べ人数	
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
越来小学校区学校支援地域本部	1	2	80	83	2,084	1,691
コザ小学校区学校支援地域本部	1	1	89	37	2,941	3,027
中の町小学校区学校支援地域本部	1	1	157	113	7,600	8,639
安慶田小学校区学校支援地域本部	1	1	28	31	4,328	2,222
諸見小学校区学校支援地域本部	1	1	90	57	2,768	1,926
島袋小学校区学校支援地域本部	1	1	87	72	802	901
山内小学校区学校支援地域本部	1	1	162	60	3,946	3,742
北美小学校区学校支援地域本部	2	1	217	150	1,255	2,390
美里小学校区学校支援地域本部	1	1	60	120	6,679	13,000
美東小学校区学校支援地域本部	2	2	71	78	2,470	2,918
宮里小学校区学校支援地域本部	1	1	256	162	2,743	3,309
高原小学校区学校支援地域本部	1	1	143	43	2,460	1,357
室川小学校区学校支援地域本部	1	2	76	40	1,339	1,315
美原小学校区学校支援地域本部	1	1	125	129	5,958	6,577
泡瀬小学校区学校支援地域本部	1	1	221	342	2,061	2,030
比屋根小学校区学校支援地域本部	1	1	66	75	1,899	1,984
越来中学校区学校支援地域本部	-	2	-	18	-	126
コザ中学校区学校支援地域本部	-	2	-	20	-	354
山内中学校区学校支援地域本部	-	1	-	20	-	219
美里中学校区学校支援地域本部	-	3	-	19	-	131
美東中学校区学校支援地域本部	1	1	107	91	3,247	4,080
安慶田中学校区学校支援地域本部	4	4	45	50	533	738
宮里中学校区学校支援地域本部	1	1	88	50	353	423
沖縄東中学校区学校支援地域本部	1	2	66	119	413	469
合計	25	35	2,234	1,979	55,879	63,568

出典：平成 24 年度 教育年報（平成 23 年度の実績）、平成 25 年度 教育年報（平成 24 年度の実績）

④放課後子ども教室推進事業

「放課後子ども教室」は、地域の参画を得ながら全小学校区にて実施されている。平成 24 年度における活動状況をみると、運動やスポーツ活動に関わる内容として、サッカー教室やダンス教室、スポーツ入門教室が見られる。

<p>事業の概要</p>	<p>放課後子ども教室推進事業は、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、全小学校区を対象に、放課後・週末等の小学校の余裕教室等を活用し、地域の参画を得ながら「放課後子ども教室」を実施している。また、本事業は「放課後児童クラブ(学童クラブ)」との連携を図りながら、校区内の児童クラブに所属する子どもたちの参加促進等を行っている。</p> <h2 style="text-align: center;">放課後子どもプラン推進事業</h2> <h3 style="text-align: center;">すべての子どもたちに安全・安心な居場所づくり</h3> <p style="text-align: center;">「放課後子どもプラン」の実施により、子どもの安全で健やかな居場所を確保、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組の充実</p>
<p>対象</p>	<p>校区内の全ての子どもを対象とし、一部の学齢は定めていない。主な対象としては、小学生(児童)としている。</p>

出典：平成 24 年度沖縄市放課後子どもプラン推進事業

(3) 中央公民館利用団体の状況

平成 25 年度における中央公民館の利用団体をみると、全 65 団体中、運動・スポーツ活動に関わる団体が 27 団体となっている。活動内容としては、社交ダンス（5 団体）やフラダンス（3 団体）等が多くなっている。

《沖縄市立中央公民館利用団体一覧（平成 25 年 12 月 1 日現在）》

網掛け … 運動・スポーツ活動に関わる団体			
	活動内容	団体名	活動曜日/時間
1	社交ダンス	コザダンススポーツ同好会	毎週木/19:00
2	社交ダンス	Q&S(クエズ)ダンス同好会	毎週土/10:00
3	社交ダンス	ダンス同好会ビギナー	毎週金/19:00
4	社交ダンス	AWASE ダンススポーツクラブサークル(初級)	毎週土/19:00
5	社交ダンス	チョイスダンススポーツ	毎週日/13:00
6	フラダンス	ハワイアンフラ「ハレアカラ」	毎週水/10:00
7	フラダンス	ハワイアンフラ「カイマナヒラ」	毎週水/13:30
8	フラダンス	ハワイアンフラ「ココナッツ」	毎週金/19:30
9	太極拳	沖縄市太極拳チャレンジサークル	毎週水・金/10:00
10	太極拳	太極拳友好会	毎週火/10:00
11	太極拳	沖縄市太極拳同好会	毎週月・水/19:00・毎週日/16:00
12	フォークダンス	スワンフォークダンス	毎週火/14:00
13	フォークダンス	舞夢フォークダンスサークル	毎週土/15:00
14	ダンス	ダンスムーブメントサークル	毎週火/19:00
15	ダンス	ダンスムーブメントハイビスカス	毎週木/10:00
16	健康体操	自衛衛サークル「がんじゅう会」	毎週金/19:30
17	健康体操	真美健康体操サークル	毎週金/19:00
18	日本舞踊	沖縄市日舞サークル	毎週火/10:00
19	日本舞踊	日舞サークルたんぼの会	毎週水/14:00
20	琉球舞踊	琉舞サークル四ツ竹之会	毎週火/19:00
21	琉球舞踊	美童会(琉舞サークル)	毎週水/10:00
22	ヨガ	ヨガサークル	毎週木/19:30
23	アフリカンダンス	ジェンベ&アフリカンダンス	第2・4日/13:00
24	ズンバ	ズンバフィットネスサークル	毎週火/19:00
25	フラメンコ	エルマーナフラメンコサークル	毎週水/19:30
26	踊り(民謡)	福祉レクサークル「踊い華」	毎週木/14:00
27	インド舞踊	インド舞踊サークル	毎週木/19:00
28	大正琴	大正琴すずらんサークル	毎週木/10:00
29	古典音楽	暁三友会	毎週金/10:00
30	古典音楽	むに古典音楽愛好会	毎週水/10:00
31	三味線	さんしんサークル木曜の会	毎週木/19:00
32	三味線	サンシンサークルかようの会	毎週火/19:00
33	童謡	合唱団「いずみ」	毎週土/10:00
34	ハーモニカ	沖縄市ハーモニカサークル「ゆいま～るの会」	毎週月/10:00
35	中国二胡	沖縄市中国二胡同好会	月3回火/19:00/月1回土/10:00
36	ジャズバンド	スイングハードオーケストラ	毎週日/19:00
37	ジャズバンド	ビッグウップスジャズバンド	毎週水/19:00
38	音楽演奏(ジャズ等)	音遊び	不定期/14:00
39	吹奏楽	Bibbidi— Bobbidi— Boo	毎週金/19:00
40	詩吟	詩吟梅窓流爽風会	毎週水/10:00
41	詩吟	東星吟詠会	毎週土/14:00
42	俳句エッセー	ときめき会	毎月第3土/14:00
43	琉歌	やしま琉歌会	毎月第1月/14:00
44	英会話	ポテトチップス英会話	毎週火/19:00
45	書道	酔墨会(書道同好会)	毎週火/10:00
46	書道	沖縄市書窓クラブ	第2・3土/14:00
47	ペン習字	ペン習字同好会	毎週水/10:00
48	毛筆細字	のびのび細字サークル	毎週木/10:00
49	水墨画	沖縄市水墨画同好会土曜会	毎週土/10:00
50	水墨画	沖縄市水墨画同好会(月曜会)	毎週月/10:00
51	篆刻	楽しい篆刻	毎週土/10:00
52	絵画	夢の彩会	毎週木/19:00
53	絵画	絵筆の会	毎週火/10:00
54	絵画	一水会	毎週土/10:00
55	絵画	絵画サークル「あだん」	毎週火/19:00
56	水彩画	水彩画サークル一色の会	毎週火/14:00
57	演劇	演劇サークルびーんず・D	毎週土/18:00
58	ブラモデル	沖縄モデルズクラブ模遊美	毎月第3日/18:00
59	将棋	将棋同好会	毎月第4日/12:00
60	音遊び	いっぽの会	毎月第1木/10:00・毎月第1土/19:00
61	盆栽	沖縄市盆栽同好会	毎月第4木/19:00
62	菊づくり研究	菊花育みの会	第3火/19:00
63	囲碁	囲碁上達サークル	毎週金/14:00
64	手仕事	えんの会(手仕事)	第2・4土/13:00
65	コーラス	はいさいコーラス	毎週日/10:00

出典：沖縄市立中央公民館「沖縄市立中央公民館利用団体一覧（平成 25 年 12 月 1 日現在）」

(4) 庁内各課等が提供している講座等の状況

庁内各課等が提供する運動・スポーツに関する講座及び各種スポーツ大会等をみると、講座は全 46 件、大会等は全 49 件（重複あり）となっている。講座内容については、スポーツに関する講座が 19 件、健康に関する講座が 15 件と多くなっている。踊り・ダンスは 11 件、出前講座は 1 件となっている。また、大会等のうち、市主催のものは 8 件となっている。

■スポーツに関する講座

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
1 ソフトテニス教室	毎週月・水・金 18:00～22:00	-	小学生 ～一般	沖縄市庭球場 (Aコート)	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-5293
2 サッカー教室	毎月第3(日) 8:30～19:00	-	キッズ～ 小中学生	未定	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-5293
3 サッカー教室	毎週水・金 15:30～16:30	元プロのサッカー選手が楽しく サッカーを教えます！ 【月会費 1,000 円】	4歳～6歳	水:沖縄市立総合 運動場 金:美里公園	サンビスカス沖縄 ☎989-4695
4 サッカースクール	毎週水・木・金 水・金:16:30～19:00 木:19:00～21:00	元プロのサッカー選手が楽しく サッカーを教えます！ 【月会費 3,000 円】	小学生	水:沖縄市立総合 運動場 木:県総合運動公園 金:美里公園	サンビスカス沖縄 ☎989-4695
5 ジョギングサークル	毎週火・木 火:11:00～12:00 木:19:00～21:00	歩くペースでゆっくりジョギン グ♪楽しく効果的に脂肪燃焼し ます！【月会費 1,500 円】	どなたでも	火:県総合運動公園 木:沖縄市立総合 運動場	サンビスカス沖縄 ☎989-4695
6 フットサルサークル	毎月第3土曜日 18:00～20:00	初心者でも楽しめるフットサル サークルです！【会費 500 円】	どなたでも	沖縄市立総合運 動場 多目的運動場	サンビスカス沖縄 ☎989-4695
7 ボウリング同好会	第2・4(木) 9:30～12:00	初心者からベテランまでが楽し む集いです。表彰(前期・後期) もあります。 【年間 1,000 円※材料費は実費】	老人クラブ 会員	ドラゴンボウル	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
8 第2回親子テニス教室	7月6日(土)～ 8月24日(土) 10:00～12:00	【受講料 4,000 円】	-	沖縄市多目的運 動場	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-0777
9 親子ボウリングスポーツ 教室	7月13日・20日(土) 14:00～16:00	球技が苦手な子集まれ♪ドイツ 生まれの「バルシューレ」でボー リングスポーツが得意になれるよ！ 【保険費:1日1人50円】	市内の園児 ～小学4年 生までの親 子各20組	沖縄市立総合運 動場 多目的運動場	沖縄市青少年センター ☎930-1336
10 地域スポーツ教室	8月～平成26年 1月頃	各地域にてスポーツ推進委員が 講師となり、大人気の「カラーリ ング」講習会を行います。初めて の方でも簡単にできますので、皆 様お気軽にご参加ください♪	成人、 親子	市内小中学校	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294
11 第2回親子ゴルフ教室	8月12日(月)～ 16日(金) 13:00～15:00	平日連続計5回 【受講料 6,000 円】	-	もろみゴルフフ レージ	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-0777
12 第4回初心者弓道教室	10月～12月(予定) 14:00～16:00	【受講料 6,000 円】	-	沖縄市弓道場	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-0777
13 沖縄市スポーツデイ	10月14日(月)	子どもから大人まで誰でも楽し く参加できるスポーツフェア。体 力テストや各種目大会を開催し ます♪	どなたでも	沖縄市立総合運 動場	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294
14 少年スポーツ教室	未定	未定 【保険料別途徴収】	市内 小学生	未定	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
15 一輪車教室	第2・4(木) 16:00~17:45	一輪車の基本練習や技に挑戦する。	どなたでも	沖縄市福祉文化 プラザ児童セン ター内	沖縄市福祉文化ブ ラザ児童センター ☎930-1695
16 キッズフェスティバル	6月29(土)	ボールと遊びながら、サッカーの 楽しさを知ってもら教室です。	10歳以下	沖縄市立総合運 動場 多目的運動場	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-5293
17 キッズフェスティバル	平成26年2月22 日(土)	ボールと遊びながら、サッカーの 楽しさを知ってもら教室です。	10歳以下	沖縄市立総合運 動場 多目的運動場	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-5293
18 スポーツ指導者講習会	未定	市内小中学生の指導者・保護者等 を対象とした講習会です。 (内容未定)	どなたでも	未定	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294
19 第20回沖縄市生涯学習 フェスティバル	12月1日(日) 10:00~16:00	あらゆる世代の方に、生涯学習の 場や情報を提供することにより、 学習活動への参加を促し、一人ひ とりの生涯学習意欲を高め、主体 的に学ぶことの楽しさを実感す る。	どなたでも	沖縄市体育館 多目的運動場 武道館	沖縄市教育委員会 生涯学習課 ☎939-1212 (内線 2742)
		さまざまな、社会教育・生涯学習 関係団体による、舞台発表、創作 等体験、パザー、作品展示など。 さらに、中央公民館の各種講座・ 各サークル、自治公民館活動を幅 広く市民に紹介する。生涯学習の 広がり公民館活動への参加を 促す。			沖縄市立中央公民館 ☎939-0033

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

■健康に関する講座

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
1 生きがいデイサービス	随時	月に2回各公民館に集まり、体 操・筋トレやレクで身体と心の健 康づくりに取り組みます 【1回100円】	65歳以上 の市民	各公民館	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
2 かりゆし体操クラブ	第2・4(火) 14:00~16:00	ストレッチや筋トレを中心に、各 種体操で身体の若返りに励みま す。	市内在住 おおむね 60歳以上	老人福祉センタ ーかりゆし園	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
3 心と体の健康シリーズ Part I (ダンスムーブ メント)	5月~8月 全10回	音楽のリズムやイメージと融合 したナチュラルで心地よい動き やストレッチで、心と体を開き、 健康で豊かな生活に資する。	一般成人	沖縄市立中央公 民館	沖縄市立中央公民館 ☎939-0033
4 特定健診 開始式	5月30日(木)	特定健診受診PR、軽運動、健康 づくり事業の紹介	一般住民	沖縄市役所 正面玄関前	沖縄市役所 市民健康課 ☎939-1212 (内線 2241)
5 第4回ヒーリング・ヨガ 教室	6月3日(月)~ 7月29日(月) 19:00~21:00	毎週金曜日計8回 【受講料4,000円】	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-0777
6 第5回マットピラティス 教室	6月7日(金)~ 7月26日(金) 19:00~21:00	毎週金曜日計8回 【受講料4,000円】	-	沖縄市武道館	NPO法人沖縄市 体育協会 ☎932-0777
7 3cm3kg減らそうチャ レンジ活動	8月1日(木)~ 10月31日(木) ※7月1日(月) ~受付	参加者は生活習慣改善のチャレ ンジ目標を立て、約3ヶ月間それ らを日常生活において実践する。 また、1週間単位で、事務局へメ ール・ファックス等で実践内容を 報告し、実施率のランキングを行 う。3か月後実践率や体重変化に より上位者を決定し、賞状・賞品 を授与する。	一般住民	-	沖縄市役所 市民健康課 ☎939-1212 (内線 2262)

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
8 親子身体づくり運動教室	8月4日・11日(日) 10:00~12:00	【受講料 1,500円】	-	沖縄市多目的運動場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-0777
9 心と体の健康シリーズ Part II (心のメンテ・体のメンテ)	9月11・18・25日、 10月2日(水)	・腱引きなどで体のメンテナンス方法を学ぶ。 ・笑いで免疫カアップ。	一般成人	沖縄市立中央公民館	沖縄市立中央公民館 ☎939-0033
10 食育展	9月19日・20日 (木・金)	健康・農林水産・教育の関係機関が連携し、『食』に関するパネル展等による情報提供やクッキング体験を行う。	一般住民	沖縄市役所 1階市民ホール	沖縄市役所 市民健康課 ☎939-1212 (内線 2241)
11 第6回マットピラティス教室	10月~11月(予定) 19:00~21:00	【受講料 4,000円】	-	沖縄市武道館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-0777
12 体操教室	11月頃 ※予定	体操選手を講師に招いた体操教室。 ※詳細未定	未定	沖縄市体育館	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294
13 第5回ヒーリング・ヨガ教室	11月~12月(予定) 19:00~21:00	【受講料 4,000円】	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-0777
14 37運動	平成26年3月7日 (金)及び近日	各公民館や公共施設等を利用し、同じ日に生活習慣病予防等の講話・運動実技・ヘルシー献立の調理実習等を実施。	一般住民	市内37公民館、 近隣公園、 公共施設等	沖縄市役所 市民健康課 ☎939-1212 (内線 2241)
15 がんじゅう体操	未定	病院に行かない身体作りを目指し、健康体操教室を行います! 【参加費 500円】	60歳以上	未定	サンビスカス沖縄 ☎989-4695

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

■踊り・ダンスに関する講座

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
1 レクダンス講座	第1・3月曜日 14:00~16:00	親しみやすい曲で気軽に踊れます。	市内在住 おおむね 60歳以上	老人福祉センター かりゆし園	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
2 社交ダンス講座	第2月曜日 14:00~16:00	背筋をピンと伸ばし、健康づくりのために楽しく踊ります。	市内在住 おおむね 60歳以上	老人福祉センター かりゆし園	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
3 男の民謡講座	第1木曜日 9:30~11:30	簡単に踊れる振り付けで初心者にも好評です。	市内在住 おおむね 60歳以上	老人福祉センター かりゆし園	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
4 フラダンス講座	第1・3(金) 14:00~15:30	人気上昇中の講座で、初心者向けの内容です。	市内在住 おおむね 60歳以上	老人福祉センター かりゆし園	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
5 琉舞講座	第2・4(金) 14:00~16:00	すべての基本となるかぎやで風からはじめレパトリーを増やしていきます。	市内在住 おおむね 60歳以上	老人福祉センター かりゆし園	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
6 民謡サークル	毎月2回(随時) 10:00~12:00	健康づくり・仲間づくりの場として楽しんでいます。 【年間1,000円※材料費は実費】	老人クラブ 会員	沖縄市体育館	沖縄市老人クラブ 連合会事務局 ☎938-1250
7 ダンス短期講座	①7月23日(火)~ 8月2日(金) ②8月6日(火)~ 8月16日(金) 午前クラス 10:30~12:00 午後クラス 13:30~15:00	夏の8日間で本格的なダンスをマスターしちゃおう! 【保険費:(8日分)400円】 ※①または②の日程から選択。 午前クラス小1~小4、午後クラス小5~中3。	市内の小学1年生~中学3年生まで ※4クラス 80名募集 (1クラス20名)	沖縄市青少年センター	沖縄市青少年センター ☎930-1336

	事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
8	「ダンススクール」開校式	6月1日(土) 15:00~17:00	開校式及びオリエンテーション(今後のレッスンについての諸注意など)。クラス分け。講師紹介。 【保障費年間800円、衣装代実費】	小学4年生~ 中学生40人	沖縄市青少年センター	沖縄市青少年センター ☎930-1336
9	「ダンススクール」レッスン開始	6月6日~ 毎週木曜日 18:00~19:30	ダンスを習得し、2月の発表会に向けてレッスンを受ける。※週1回・2クラス×1.5時間、2月まで継続			
10	「ダンススクール」閉校式	平成26年2月20(木) 18:00~20:00	ダンススクール発表会のDVDを鑑賞し、今までの練習や発表会を振り返り、感想などを一人一人発表する。			
11	ダンススクール&演劇スクール発表会	平成26年2月11日(火) 14:00~18:00	ダンススクール及び演劇スクールの受講生のこれまでの成果発表の場。また、市内小中学生及び高校生のダンスイベント(コンテストではない)も行う。	ダンススクール &演劇スクール生	沖縄市民小劇場 「あしびなー」	沖縄市青少年センター ☎930-1336

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

■ 出前講座

	事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
1	ニュースポーツ講座	-	ニュースポーツのルールなど、指導を目的とされる方を対象に行います。	指導者	-	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

■ 各種大会(スポーツ)

	事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
1	女子ソフトボール強化リーグ	5月4・5日(土・日)	-	-	沖縄市サブトラック 兼ソフトボール場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
2	沖縄市スポーツ少年団バレーボール大会	5月12日(日)	-	スポーツ少年団員	沖縄市体育館	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
3	第28回沖縄市ソフトテニス大会	5月12・19・26日(日)	-	-	沖縄市庭球場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
4	沖縄市スポーツ少年団ミニバスケット大会	5月25・26日(土・日)、6月1日(土)	-	スポーツ少年団員	沖縄市体育館	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
5	第39回沖縄市職域野球大会	6月2日(日)~ 7月28日(日) 毎週日曜日	-	-	沖縄市サブトラック 兼ソフトボール場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
6	キンボール大会	6月22日(土) 9:00~	キンボールのルールを学び、楽しく身体を動かします!	-	沖縄県総合運動公園 体育館	サンビスカス沖縄 ☎989-4695
7	第31回沖縄市長杯サッカー大会	7月28日(日)~ 8月25日(日) 毎週日曜日	-	-	未定	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
8	第40回沖縄市9人制バレーボール大会(男子)	7月28日(日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
9	第5回沖縄市民ボウリング大会	8月上旬	-	-	市内ボウリング場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
10	沖縄市バトミントン県民選手選考会	8月4日(日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
11	県民体育大会柔道予選大会	8月11日(日)	-	-	沖縄市武道館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293

	事業名	期日	内容 ポイント	対象	場所	問い合わせ先
12	ハンドボール強化試合	8月11日(日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
13	沖縄市スポーツ少年団 サッカー大会	8月中旬	-	スポーツ 少年団員	沖縄市内学校	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
14	沖縄市スポーツ少年団 軟式野球大会	8月31日、9月1日、 9月7・8日(土・日)	-	スポーツ 少年団員	沖縄市サブトラック ・市内小学校	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
15	平成25年度沖縄市バス ケットボール大会	9月8日(日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
16	第81回沖縄市職域ソフ トボール大会	9月14日(土)~29日(日) 毎週土・日曜日	-	-	沖縄市サブトラック 兼ソフトボール場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
17	沖縄市民卓球大会兼県 民大会選考会	9月22日(日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
18	ハンドボール強化試合	9月23日(月)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
19	沖縄市ゴルフ県民選考 大会	9月下旬	-	-	未定	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
20	ボウリング競技県民大 会選考会	10月上旬	-	-	市内ボウリング場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
21	第40回沖縄市陸上競技 大会	10月6日(日)	-	-	沖縄市陸上競技場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
22	第65回沖縄県民体育大 会ゴルフ競技	11月1日(金)	-	-	沖縄カントリークラブ	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
23	第65回沖縄県民体育大 会	11月23・24日(土・日)	-	-	浦添市	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
24	第29回沖縄市総合個人 卓球選手権大会	12月14・15日(土・日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
25	第17回ちびっ子駅伝競 走大会	12月15日(日)	-	-	沖縄市陸上競技場	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
26	沖縄市スポーツ少年団 ミニバスケット大会	平成26年1月19日(日)	-	スポーツ 少年団員	沖縄市体育館	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
27	沖縄市スポーツ少年団 空手道大会	平成26年1月中旬	-	スポーツ 少年団員	沖縄市武道場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
28	第36回沖縄一周市郡対 抗駅伝競走大会	平成26年1月中旬	-	-	沖縄県内一周	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
29	沖縄市スポーツ少年団 ジュニアテニス大会	平成26年2月9日(日)	-	スポーツ 少年団員	沖縄市庭球場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
30	沖縄市スポーツ少年団 スポーツ大会	平成26年2月23日(日)	-	スポーツ 少年団員	沖縄市陸上競技場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
31	第29回沖縄市長杯・玉 元杯バドミントン大会	平成26年2月23日(日)	-	-	沖縄市体育館	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
32	第24回沖縄市サッカー フェスティバル	平成26年2月23日(日)~ 3月30日(日)毎週日曜日	-	-	未定	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
33	沖縄市スポーツ少年団 駅伝大会	平成26年3月9日(日)	-	スポーツ 少年団員	沖縄市陸上競技場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
34	沖縄市スポーツ少年団 ジュニアテニス大会	平成26年3月9日(日)	-	スポーツ 少年団員	沖縄市庭球場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293
35	第36回沖縄市卓球総合 団体戦	平成26年3月16日(日)	-	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293
36	沖縄市スポーツ少年団 剣道大会	平成26年3月中旬	-	スポーツ 少年団員	沖縄市武道場	沖縄市スポーツ少年団 ☎932-5293

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
37 グランドゴルフ大会	未定	誰でも気軽に参加出来るグランドゴルフ！楽しみながら身体を動かしましょう！	-	沖縄市陸上競技場	サンビスカス沖縄 ☎989-4695
38 第22回おきなわマラソン	平成26年2月16日(日)	日本陸連公認の競技マラソン部門と、一般参加型の市民マラソン部門、高校・一般10kmロードレース部門を併設したマラソン総合イベント 【フルマラソン：競技・一般4,500円、65歳以上・高校生3,500円】 【10kmロードレース：一般2,700円、高校生1,200円】	16歳以上	沖縄県総合運動公園発着	おきなわマラソン実行委員会 ☎930-0088
39 第13回沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ	平成26年3月22・23日(土・日)	国外・県外・県内の強豪高校6チームによる国際交流バスケットボール大会	-	沖縄市体育館	NPO法人沖縄市体育協会 ☎932-5293

出典：2013 沖縄市生涯学習ガイドブック

■市主催スポーツ大会等

事業名	期日	内容ポイント	対象	場所	問い合わせ先
1 第1回青少年スポーツ指導者講習会	7月14日(日)	AED講習会	市内の指導者及び指導者を 目指す方	沖縄市多目的 運動場	沖縄市教育委員会 市民スポーツ課 ☎932-1294
2 中学生スポーツ大会	各競技大会により異なる (夏休み期間中)	-	中学生	各競技大会に より異なる	
3 地域スポーツ教室	8月～2月の期間中に 8回開催	カローリング体験	どなたでも	市内小中学校 体育館	
4 第33回沖縄市小中学校 陸上競技大会	9月14日(土)	-	小中学生	沖縄市陸上競 技場	
5 体操教室	11月9日(土)	元オリンピックメダリス トの池谷幸雄氏らによる 演技会・講習会の開催	クラブ生及び 指導者	沖縄市体育館	
6 第2回青少年スポーツ 指導者講習会	12月8日(日)	審判講習会(野球)	市内の指導者 及び指導者を 目指す方	泡瀬パヤオ交 流広場	
7 第3回青少年スポーツ 指導者講習会	平成26年1月16日(木)	メンタル講習会		沖縄市体育館 多目的ルーム	
8 第1回沖縄市カローリ ング大会	平成26年2月22日(土)	沖縄市でイチ押しニュー ースポーツ「カローリン グ」の第1回大会です♪ チーム対抗でみんなでカ ローリングを楽しみまし ょう♪	-	沖縄市体育館	

出典：市民スポーツ課

(5) こどもの体力・運動能力の状況

沖縄市の小中学生の体力テストの結果をみると、握力や50m走、ボール投げ等で全国平均を上回る状況もみられるが、持久走等の持久力を必要とする種目で全国平均を下回っている状況が目立つ。

■沖縄市の小学生の体力テスト結果

①握力平均(kg)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖縄市	9.72	10.27	12.71	14.31	16.31	19.52
	県	8.94	10.77	12.62	14.43	16.93	20.01
	全国	9.41	11.11	12.98	14.84	17.03	19.90
女子	沖縄市	9.04	9.76	11.50	13.80	15.83	18.78
	県	8.32	9.88	11.59	13.72	16.28	19.52
	全国	8.81	10.34	12.18	14.13	16.55	19.72

②上体起こし平均(回)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖縄市	10.69	12.44	15.12	16.58	18.78	19.80
	県	10.17	12.90	14.76	16.85	18.66	20.44
	全国	11.33	14.29	16.10	18.39	19.68	21.73
女子	沖縄市	10.09	11.29	14.13	15.43	16.65	18.94
	県	9.47	12.09	13.69	15.54	16.87	17.64
	全国	10.83	13.30	15.00	16.61	18.37	19.79

③長座体前屈平均(cm)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖縄市	26.52	28.17	28.49	30.81	32.22	34.43
	県	25.45	27.32	28.71	30.47	32.74	34.26
	全国	25.86	27.42	29.04	31.17	33.20	34.96
女子	沖縄市	28.25	29.65	29.42	35.62	36.85	37.55
	県	27.87	29.71	31.14	33.41	36.07	38.07
	全国	27.92	29.69	31.93	34.04	37.08	39.85

④反復横跳び平均(回)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖縄市	28.38	28.60	31.81	36.03	42.29	44.71
	県	26.62	30.42	33.67	33.29	40.54	43.54
	全国	27.58	31.35	35.23	39.12	42.29	45.76
女子	沖縄市	28.26	28.05	31.51	36.53	40.18	43.85
	県	25.40	28.71	31.86	35.67	38.63	40.67
	全国	26.44	29.62	33.27	36.88	40.24	42.98

⑤20mシャトルラン平均(回)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖縄市	17.42	22.01	28.92	41.04	48.47	57.97
	県	14.20	20.94	28.88	37.18	46.88	56.24
	全国	18.22	28.84	37.54	46.83	54.40	62.07
女子	沖縄市	15.24	17.63	23.31	31.22	34.65	43.53
	県	12.84	16.78	21.69	27.86	34.52	40.16
	全国	15.42	22.08	27.40	34.96	41.97	48.80

⑥50m走平均(秒)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖縄市	11.54	10.92	10.54	9.71	9.43	9.02
	県	11.97	11.07	10.42	9.93	9.48	9.08
	全国	12.43	11.56	10.78	10.27	9.83	9.51
女子	沖縄市	11.95	11.43	10.88	10.14	9.78	9.41
	県	12.43	11.56	10.78	10.27	9.83	9.51
	全国	11.88	10.98	10.39	9.89	9.53	9.18

⑦立ち幅跳び平均(cm)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖繩市	105.06	119.68	129.94	141.38	147.21	157.39
	県	111.93	124.16	133.75	140.15	151.20	161.35
	全国	115.33	126.79	136.14	147.14	154.54	164.59
女子	沖繩市	95.61	108.85	120.19	131.73	136.40	148.72
	県	103.54	114.18	123.71	132.19	142.16	150.51
	全国	106.77	118.84	127.23	138.05	146.19	155.77

⑧ソフトボール投げ平均(m)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6
男子	沖繩市	10.00	12.96	17.61	21.56	23.95	30.27
	県	10.15	13.52	17.96	22.03	26.46	31.28
	全国	8.81	13.09	16.67	21.54	25.48	29.66
女子	沖繩市	5.64	7.57	9.42	12.61	13.49	16.66
	県	6.05	7.90	10.25	12.43	15.00	17.24
	全国	5.80	7.91	9.88	12.37	14.75	17.54

■沖繩市の中学生の体カテスト結果

①握力平均(kg)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	24.43	31.87	35.77
	県	25.16	31.10	35.84
	全国	24.97	30.58	35.68
女子	沖繩市	22.51	24.74	25.46
	県	22.25	23.93	25.13
	全国	22.07	24.14	25.96

⑤50m走平均(秒)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	8.56	7.88	7.75
	県	8.67	8.00	7.64
	全国	8.44	7.83	7.47
女子	沖繩市	9.19	9.03	9.06
	県	9.33	9.11	9.02
	全国	8.98	8.72	8.67

②上体起こし平均(回)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	24.52	26.81	28.67
	県	22.95	26.97	28.58
	全国	24.48	27.80	30.23
女子	沖繩市	18.52	21.45	22.73
	県	18.94	21.59	22.22
	全国	21.07	23.23	24.55

⑥立ち幅跳び平均(cm)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	179.54	199.77	209.44
	県	179.93	199.95	213.41
	全国	182.75	201.20	214.53
女子	沖繩市	160.56	168.29	169.10
	県	161.11	167.96	171.62
	全国	166.59	172.13	175.40

③長座体前屈平均(cm)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	37.36	44.04	44.62
	県	38.46	43.83	47.01
	全国	39.75	44.58	48.00
女子	沖繩市	40.87	42.58	45.57
	県	42.28	45.51	46.96
	全国	43.02	45.79	47.49

⑦ハンドボール投げ平均(m)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	19.22	22.68	25.41
	県	19.31	23.22	25.77
	全国	19.39	22.08	24.88
女子	沖繩市	11.55	13.20	13.56
	県	12.42	14.03	15.07
	全国	12.61	14.01	15.07

④反復横跳び平均(回)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	46.44	49.72	51.28
	県	47.75	51.52	53.94
	全国	49.71	52.92	55.65
女子	沖繩市	43.79	45.50	44.32
	県	43.76	45.85	46.52
	全国	45.10	47.01	47.97

⑧持久走(秒)

		中1	中2	中3
男子	沖繩市	462.99	402.24	409.76
	県	449.86	409.62	396.22
	全国	411.08	376.31	364.62
女子	沖繩市	342.19	326.40	337.57
	県	336.12	327.26	320.29
	全国	297.37	282.29	283.46

※沖繩市については、平成25年度児童生徒新体力テストデータより独自集計を行ったもの。

沖繩県は平成24年度、全国は平成23年度の値。(平成24年度児童生徒の体力・運動能力・泳力調査報告書より)

※網掛けは全国平均よりも沖繩市平均が上回っているもの

2. 市民のスポーツに関する意識調査

【調査の目的と実施概要】

(1) 調査の目的

本調査は、沖縄市のスポーツ施策の指針となる「沖縄市スポーツ推進計画」を策定する際の参考資料として活用するため、市民の健康や体力、運動、スポーツ活動等の現状と意向について把握することを目的に実施した。

(2) 調査の実施概要

①調査対象：

- ・沖縄市内在住の20歳から79歳の市民のうち3,000人を無作為に抽出した。

②調査方法：

- ・各家庭へ郵送による配布・回収を行った。

③調査期間：

- ・平成25年10月22日～平成25年11月5日

(3) 回収結果

- ・有効回答：704件
- ・有効回収率：23.5%

【調査結果】

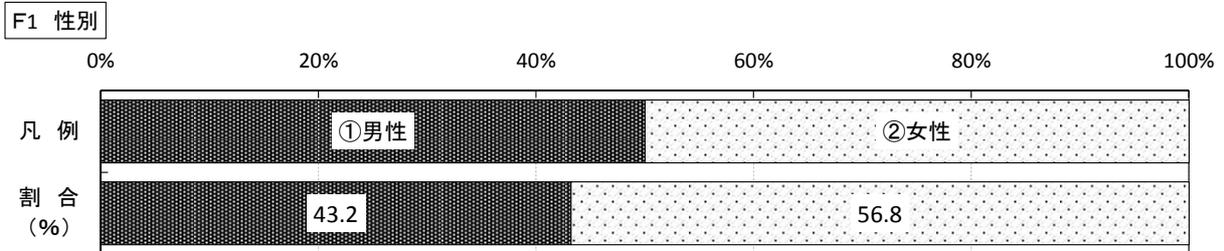
以下に調査結果を整理する。

<回答者の属性>

F 1 : あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

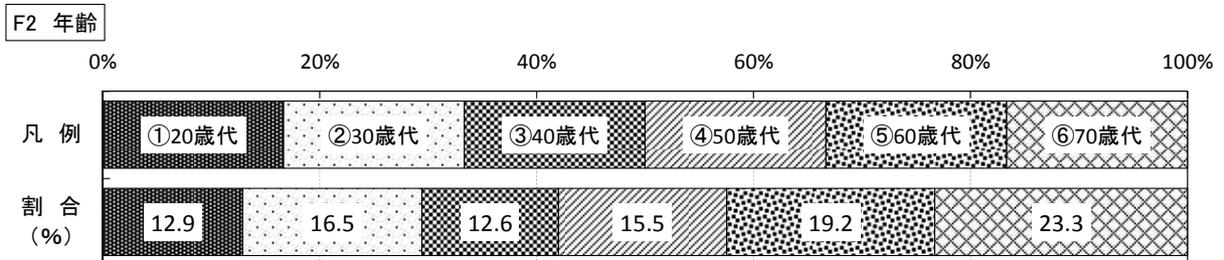
回答者の性別をみると「①男性」が4割強(43.2%)、「②女性」が6割弱(56.8%)となっている。



F 2 : あなたの年代を教えてください。(〇は1つ)

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代
5. 60歳代	6. 70歳代		

回答者の年代をみると「①20歳代」が1割強(12.9%)、「②30歳代」が2割弱(16.5%)、「③40歳代」が1割強(12.6%)、「④50歳代」が2割弱(15.5%)、「⑤60歳代」が約2割(19.2%)、「⑥70歳代」が2割強(23.3%)となっており、60歳代と70歳代がやや多い。

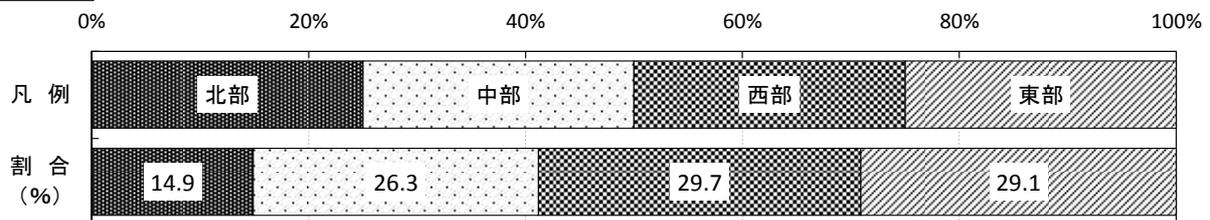


F3：お住まいの地域（自治会の区域）を教えてください。（〇は1つ）

- | | | | | |
|---------|---------|----------------------|----------|----------|
| 1. 越来 | 2. 城前 | 3. 照屋 | 4. 安慶田 | 5. 室川 |
| 6. 住吉 | 7. 嘉間良 | 8. 八重島 | 9. センター | 10. 胡屋 |
| 11. 中の町 | 12. 園田 | 13. 諸見里 | 14. 山内 | 15. 山里 |
| 16. 久保田 | 17. 南桃原 | 18. 美里 | 19. 宮里 | 20. 吉原 |
| 21. 松本 | 22. 明道 | 23. 知花 | 24. 登川 | 25. 池原 |
| 26. 古謝 | 27. 高原 | 28. 大里 | 29. 東桃原 | 30. 比屋根 |
| 31. 与儀 | 32. 泡瀬 | 33. 泡瀬第一 | 34. 泡瀬第二 | 35. 泡瀬第三 |
| 36. 東 | 37. 海邦町 | 38. その他（具体的に： _____） | | |

回答者の住んでいる地区をみると「北部」が1割強（14.9%）、「中部」が3割弱（26.3%）、「西部」が約3割（29.7%）、「東部」が約3割（29.1%）となっており、北部の割合が少なめである。

F3 地区



F3 地区

(SA)

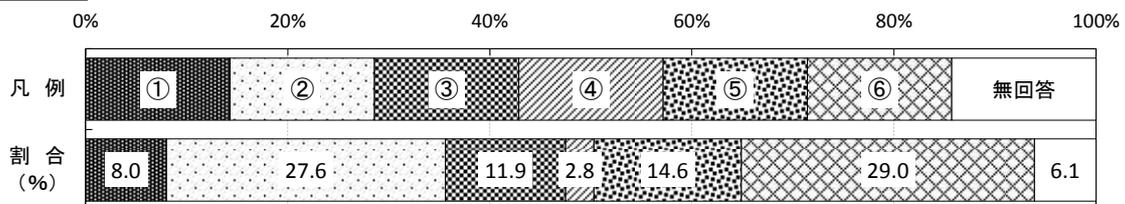
	件数	割合 (%)
北部（松本・明道・知花・登川・池原）	105	14.9
中部（越来・城前・照屋・安慶田・室川・住吉・嘉間良・美里・宮里・吉原・東）	185	26.3
西部（八重島・センター・胡屋・中の町・園田・諸見里・山内・山里・久保田・南桃原）	209	29.7
東部（古謝・高原・大里・東桃原・比屋根・与儀・泡瀬・泡瀬第一・泡瀬第二・泡瀬第三・海邦町）	205	29.1
合計	704	100.0

F4：あなたの（主な）ご職業はどれにあたりますか。（〇は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 自営・家族従業 | 2. 会社・商店・工場・役場などの勤め |
| 3. パート・アルバイト | 4. 学生 |
| 5. 家事専業 | 6. 無職（退職者を含む） |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

回答者の職業をみると「⑥無職（退職者を含む）」が約3割（29.0%）で最も多く、次いで「②会社・商店・工場・役場などの勤め」が3割弱（27.6%）、「⑤家事専業」が1割強（14.6%）、「③パート・アルバイト」が1割強（11.9%）などとなっている。

F4 職業



- ①自営・家族従業
- ②会社・商店・工場・役場などの勤め
- ③パート・アルバイト
- ④学生
- ⑤家事専業
- ⑥無職(退職者を含む)
- ⑦その他

<健康・体力観について>

問1：あなたは、普段のご自身の健康について、どう思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

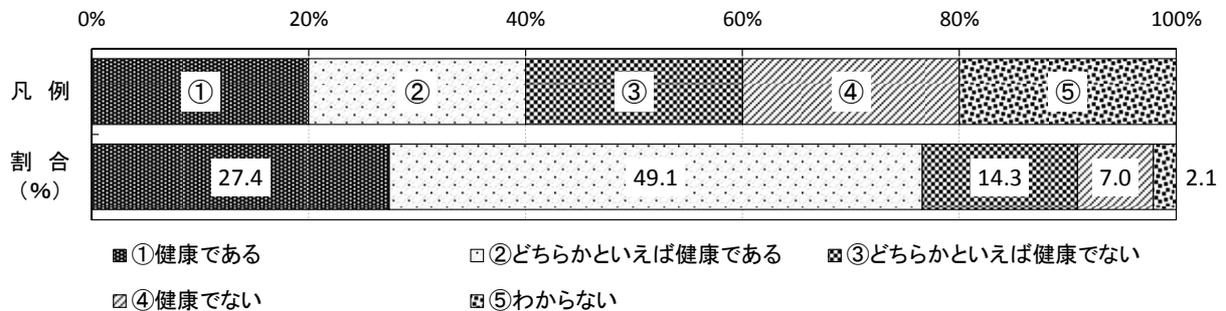
- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 健康である | 2. どちらかといえば健康である |
| 3. どちらかといえば健康でない | 4. 健康でない |
| 5. わからない | |

健康状態をみると、『健康である』（「①健康である」と「②どちらかといえば健康である」の合計）の割合が8割弱（76.5%）となっている。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて『健康である』の割合が多くなる傾向がみられた。

平成24年度に沖縄県が実施した「県民の体力・スポーツに関する意識調査」（以下「平成24年度県調査」）と比較すると、『健康である』の割合が県では8割強（83.1%）であり、『健康である』の割合は本市の方が少ない。

問1 現在の健康状態



		①健康である	②どちらかといえば健康である	③どちらかといえば健康でない	④健康でない	⑤わからない
全体 (704人)		27.4	49.1	14.3	7.0	2.1
性別	男性 (304人)	28.6	48.7	12.5	7.9	2.3
	女性 (400人)	26.5	49.5	15.8	6.3	2.0
年代	20歳代 (91人)	40.7	49.5	5.5	0.0	4.4
	30歳代 (116人)	33.6	53.4	9.5	2.6	0.9
	40歳代 (89人)	25.8	59.6	7.9	4.5	2.2
	50歳代 (109人)	27.5	52.3	13.8	3.7	2.8
	60歳代 (135人)	18.5	50.4	18.5	11.1	1.5
	70歳代 (164人)	23.8	37.2	23.2	14.0	1.8
地区	北部 (105人)	21.0	54.3	14.3	9.5	1.0
	中部 (185人)	27.0	50.8	13.0	7.6	1.6
	西部 (209人)	28.2	46.9	15.3	7.2	2.4
	東部 (205人)	30.2	47.3	14.6	4.9	2.9

問1-1：普段の体力について、どう思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

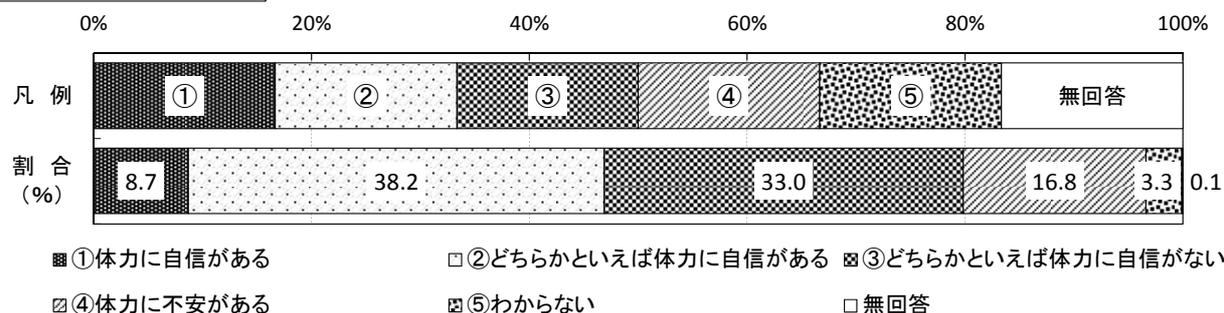
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 体力に自信がある | 2. どちらかといえば体力に自信がある |
| 3. どちらかといえば体力に自信がない | 4. 体力に不安がある |
| 5. わからない | |

回答者の体力に対する自信をみると、『体力に自信がある』（「①体力に自信がある」と「②どちらかといえば体力に自信がある」の合計）の割合が5割弱（46.9%）、『体力に自信がない』（「③どちらかといえば体力に自信がない」と「④体力に不安がある」の合計）の割合が約5割（49.8%）となっている。

性別でみると、男性は『体力に自信がある』の割合が女性より多くみられた。

平成24年度県調査と比較すると、『体力に自信がある』の割合が県では約5割（49.8%）となっており、ほぼ同じ結果となった。

問1-1 体力の自信の有無



問1-1 体力の自信の有無

(単数回答 単位: %)

		あ① る体 力に 自信 が	がえ② あばど る体ち 力らに か自と 信い	がえ③ なばど い体ち 力らに か自と 信い	あ④ る体 力に 不安 が	⑤ わ か ら な い	無 回 答	
全体		(704人)	8.7	38.2	33.0	16.8	3.3	0.1
性別	男性	(304人)	11.8	44.7	26.3	14.1	2.6	0.3
	女性	(400人)	6.3	33.3	38.0	18.8	3.8	0.0
年代	20歳代	(91人)	13.2	30.8	40.7	12.1	3.3	0.0
	30歳代	(116人)	4.3	38.8	46.6	6.9	3.4	0.0
	40歳代	(89人)	11.2	39.3	24.7	19.1	5.6	0.0
	50歳代	(109人)	6.4	40.4	35.8	13.8	3.7	0.0
	60歳代	(135人)	6.7	40.0	28.9	20.7	3.7	0.0
	70歳代	(164人)	11.0	38.4	25.0	23.8	1.2	0.6
地区	北部	(105人)	7.6	41.9	29.5	18.1	2.9	0.0
	中部	(185人)	10.8	33.0	35.7	17.3	3.2	0.0
	西部	(209人)	7.2	42.1	29.2	16.7	4.3	0.5
	東部	(205人)	8.8	37.1	36.1	15.6	2.4	0.0

問1-2：普段、運動不足を感じますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 大いに感じる | 2. ある程度感じる |
| 3. あまり感じない | 4. ほとんど（全く）感じない |
| 5. わからない | |

運動不足に対する意識についてみると、『運動不足を感じる』（「①大いに感じる」と「②ある程度感じる」の合計）の割合が8割弱（78.1%）となっており、多くの市民が運動不足を感じていることがわかる。

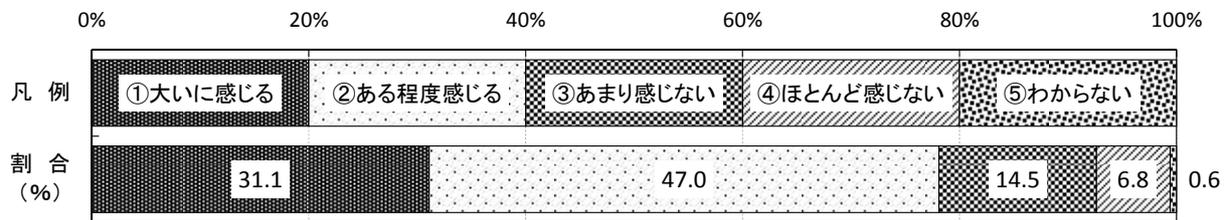
性別でみると、女性は『運動不足を感じる』の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、70歳代は『運動不足を感じる』の割合が他の年代に比べ少ない。また年齢層が高くなるにつれて「①大いに感じる」の割合が少なくなる傾向がみられる。

地区ごとにみると、西部では『運動不足を感じる』の割合が他の地区に比べて若干少ない。西部地区にはコザ運動公園が立地しており、身近に施設が整っていることが運動の機会につながっていることもうかがえる。

平成24年度県調査と比較すると、『運動不足を感じる』の割合が県では約8割（79.5%）となっており、ほぼ同じ結果となった。

問1-2 運動不足に対する意識



問1-2 運動不足に対する意識

(単数回答 単位: %)

		① 大いに 感じる	② ある 程度 感じ る	③ あま り感 じな い	④ ほと んど 感じ ない (全 く)	⑤ わか らな い	
全体		(704人)	31.1	47.0	14.5	6.8	0.6
性別	男性	(304人)	20.7	49.3	19.4	10.2	0.3
	女性	(400人)	39.0	45.3	10.8	4.3	0.8
年代	20歳代	(91人)	41.8	42.9	8.8	5.5	1.1
	30歳代	(116人)	44.0	41.4	8.6	6.0	0.0
	40歳代	(89人)	33.7	44.9	16.9	4.5	0.0
	50歳代	(109人)	33.9	49.5	12.8	3.7	0.0
	60歳代	(135人)	27.4	54.1	12.6	5.2	0.7
	70歳代	(164人)	15.9	47.0	23.2	12.8	1.2
地区	北部	(105人)	31.4	47.6	14.3	6.7	0.0
	中部	(185人)	31.4	49.7	11.9	5.9	1.1
	西部	(209人)	27.8	46.4	17.7	7.2	1.0
	東部	(205人)	34.1	44.9	13.7	7.3	0.0

問1-3：普段、健康や体力に注意していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 注意している | → 問1-4へ進んでください。 |
| 2. 少し（時々）注意している | → 問1-4へ進んでください。 |
| 3. 注意していない | → 問2へ進んでください。 |

健康や体力への注意をみると、『注意している』（「①注意している」と「②少し（時々）注意している」の合計）の割合が約9割（89.8%）となっており、ほとんどの市民が健康や体力について注意を払っていることがわかる。

性別でみると、「③注意していない」の割合は男女差が無いものの、男性は「①注意している」の割合が女性より多くみられた。

年代ごとにみると、年齢層が高くなるにつれて「①注意している」の割合が多くなり、「②少し（時々）注意している」と「③注意していない」の割合が少なくなる傾向がみられた。

平成24年度県調査と比較すると、『注意している』の割合が県では約9割（89.6%）となっており、ほぼ同じ結果となった。

問1-3 健康や体力への注意



問1-3 健康や体力への注意 (単数回答 単位: %)

		① 注 意 し て い る	注 ② 少 し し て い る （ 時 々 ）	い ③ 注 意 し て い な い
全体		(704人) 42.9	46.9	10.2
性別	男性	(304人) 47.7	40.8	11.5
	女性	(400人) 39.3	51.5	9.3
年代	20歳代	(91人) 17.6	62.6	19.8
	30歳代	(116人) 25.0	62.9	12.1
	40歳代	(89人) 25.8	59.6	14.6
	50歳代	(109人) 33.0	52.3	14.7
	60歳代	(135人) 57.8	37.8	4.4
	70歳代	(164人) 73.2	23.8	3.0
地区	北部	(105人) 36.2	51.4	12.4
	中部	(185人) 41.1	48.6	10.3
	西部	(209人) 50.7	39.2	10.0
	東部	(205人) 40.0	50.7	9.3

【前問で「1. 注意している」、「2. 少し(時々)注意している」と回答した方におたずねします。】

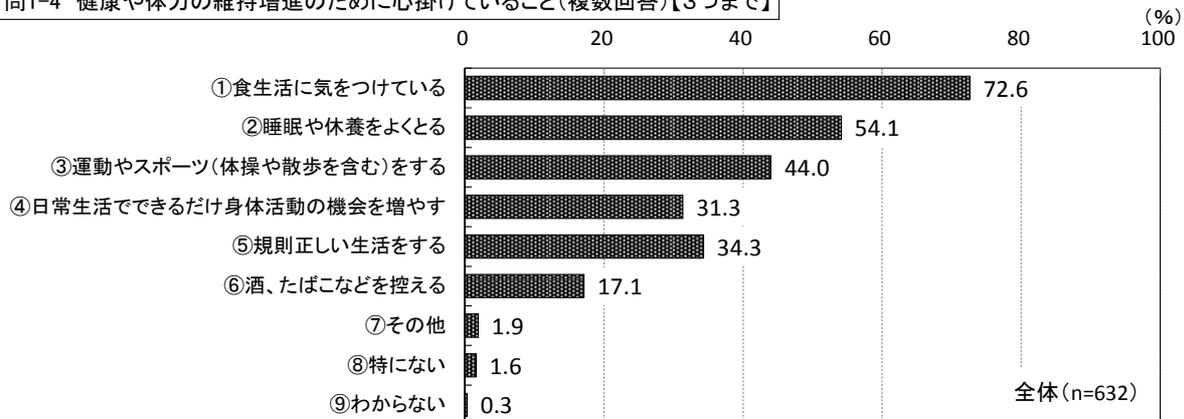
問1-4：日頃、健康や体力の維持増進のために、心掛けていることはありますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 食生活に気をつけている
2. 睡眠や休養をよくとる
3. 運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする
4. 日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せず、歩くなど）
5. 規則正しい生活をする
6. 酒、たばこなどを控える
7. その他（具体的に)
8. 特にない
9. わからない

健康や体力の維持増進のために心掛けていることについてみると、「①食生活に気をつけている」が7割強（72.6%）で最も多く、次いで「②睡眠や休養をよくとる」（54.1%）、「③運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする」（44.0%）、「⑤規則正しい生活をする」（34.3%）、「④日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せず、歩くなど）」（31.3%）、「⑥酒、たばこなどを控える」（17.1%）などとなっている。

性別でみると、男女ともに「①食生活に気をつけている」が最も多いものの、男性は「③運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする」の割合が女性よりも多くみられ、また、女性は「②睡眠や休養をよくとる」や「⑤規則正しい生活をする」の割合が男性よりも多くみられた。

問1-4 健康や体力の維持増進のために心掛けていること(複数回答)【3つまで】



問1-4 健康や体力の維持増進のために心掛けていること

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		① 食生活に気をつけている	② 睡眠や休養をよくとる	③ 散歩やスポーツ(体操や)	④ 運動の機会を増やす(車を 利用せず、歩くなど)	⑤ 規則正しい生活をする	⑥ 酒、たばこなどを控える	⑦ その他	⑧ 特にない	⑨ わからない	
全体		(632人)	72.6	54.1	44.0	31.3	34.3	17.1	1.9	1.6	0.3
性別	男性	(269人)	69.5	48.0	55.8	27.9	27.1	22.7	1.9	3.0	0.4
	女性	(363人)	74.9	58.7	35.3	33.9	39.7	12.9	1.9	0.6	0.3
年代	20歳代	(73人)	57.5	49.3	45.2	31.5	23.3	21.9	2.7	1.4	0.0
	30歳代	(102人)	64.7	56.9	39.2	29.4	39.2	19.6	2.0	1.0	0.0
	40歳代	(76人)	78.9	50.0	42.1	21.1	38.2	25.0	1.3	1.3	0.0
	50歳代	(93人)	74.2	52.7	41.9	33.3	26.9	24.7	2.2	0.0	1.1
	60歳代	(129人)	79.1	55.8	45.7	36.4	33.3	13.2	1.6	2.3	0.0
	70歳代	(159人)	75.5	56.0	47.2	32.1	39.6	8.2	1.9	2.5	0.6
地区	北部	(92人)	65.2	53.3	43.5	33.7	41.3	16.3	1.1	3.3	0.0
	中部	(166人)	75.3	55.4	44.0	38.0	27.1	15.7	1.8	0.6	0.0
	西部	(188人)	72.9	53.7	45.7	29.8	35.1	17.6	2.7	2.1	1.1
	東部	(186人)	73.7	53.8	42.5	25.8	36.6	18.3	1.6	1.1	0.0

<運動・スポーツの実施状況や今後の意向について>

【すべての方におたずねします。】

問2：あなたは、この1年間に1日当たり30分以上の運動やスポーツを行いましたか。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 運動やスポーツをした | → 問2-1へ進んでください。 |
| 2. 運動やスポーツをしなかった | → 問2-6へ進んでください。 |
| 3. わからない | → 問2-6へ進んでください。 |

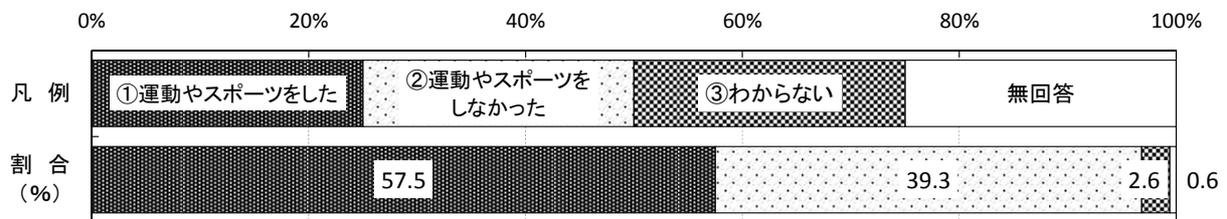
この1年間の運動経験についてみると、「①運動やスポーツをした」が6割弱（57.5%）、「②運動やスポーツをしなかった」が約4割（39.3%）となっている。

性別でみると、男性は「①運動やスポーツをした」の割合が女性より多くみられた。

年代ごとにみると、20歳代と70歳代は他の年代に比べ「①運動やスポーツをした」の割合が多くみられた。

平成24年度県調査と比較すると、「①運動やスポーツをした」の割合が県調査では6割弱（57.9%）となっており、ほぼ同じ結果となった。

問2 この1年間の30分以上の運動やスポーツの有無



問2 この1年間の30分以上の運動やスポーツの有無 (単数回答 単位: %)

		ツ① を運 動し た や ス ポ ー ツ	ツ② を運 動し な か ス ポ ー ツ	③ わ か ら な い	無 回 答
全体		(704人) 57.5	39.3	2.6	0.6
性別	男性	(304人) 62.8	34.9	2.0	0.3
	女性	(400人) 53.5	42.8	3.0	0.8
年代	20歳代	(91人) 68.1	29.7	2.2	0.0
	30歳代	(116人) 56.0	43.1	0.9	0.0
	40歳代	(89人) 43.8	49.4	5.6	1.1
	50歳代	(109人) 57.8	40.4	1.8	0.0
	60歳代	(135人) 51.1	43.7	4.4	0.7
	70歳代	(164人) 65.2	32.3	1.2	1.2
地区	北部	(105人) 59.0	39.0	1.9	0.0
	中部	(185人) 55.7	39.5	4.3	0.5
	西部	(209人) 60.8	37.3	1.4	0.5
	東部	(205人) 55.1	41.5	2.4	1.0

【前問 で「1. 運動やスポーツをした」と回答した方におたずねします。】

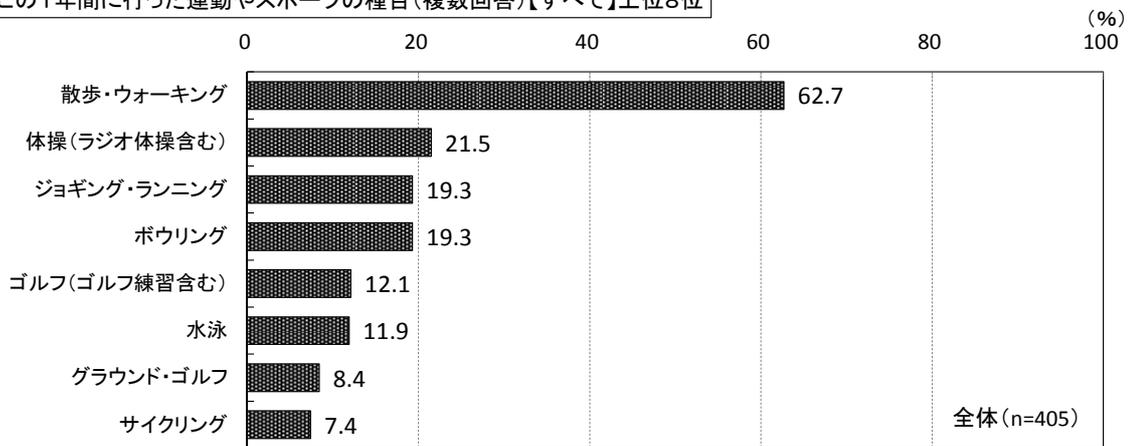
問2-1： あなたがこの1年間で行なった運動やスポーツはどのような種目ですか。当てはまる種目(番号)すべてに○をつけてください。

この1年間に行われた運動やスポーツの上位8位までをみると、「散歩・ウォーキング」が6割強(62.7%)で最も多く、次いで「体操(ラジオ体操含む)」(21.5%)、「ジョギング・ランニング」(19.3%)、「ボウリング」(19.3%)、「ゴルフ(ゴルフ練習含む)」(12.1%)、「水泳」(11.9%)、「グラウンド・ゴルフ」(8.4%)、「サイクリング」(7.4%)が挙げられている。

性別でみると、男性はゴルフや野球といった娯楽性のある競技スポーツや運動量の多い種目が入っており、女性は水泳やダンス、ヨガなど、健康や美容効果、生涯学習的な要素を持つスポーツが入っている傾向がある。

年代ごとにみると、いずれの年代も「散歩・ウォーキング」が最も高い割合を示しているものの、50歳代以上は他の年代に比べ運動量の多い種目が少ない。

問2-1 この1年間に行った運動やスポーツの種目(複数回答)【すべて】上位8位



問2-1 この1年間に行った運動やスポーツの種目

(複数回答【すべて】 単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
全体 (n=405)		散歩・ウォーキング 62.7	体操(ラジオ体操含む) 21.5	ジョギング・ランニング、ポウリング 19.3	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 12.1	水泳 11.9	グラウンド・ゴルフ 8.4	サイクリング 7.4	
F1 性別	男性 (n=191)	散歩・ウォーキング 58.6	ポウリング 26.2	ジョギング・ランニング 25.1	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 22.0	体操(ラジオ体操含む) 13.1	釣り 12.6	サイクリング、野球 9.9	
	女性 (n=214)	散歩・ウォーキング 66.4	体操(ラジオ体操含む) 29.0	水泳 15.4	ジョギング・ランニング 14.0	ポウリング 13.1	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 11.7	ヨガ 10.7	バドミントン 8.9
F2 年代	20歳代 (n=62)	散歩・ウォーキング 48.4	ポウリング 33.9	ジョギング・ランニング 24.2	バレーボール 19.4	サッカー・フットサル、バドミントン 16.1		体操(ラジオ体操含む) 14.5	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 12.9
	30歳代 (n=65)	散歩・ウォーキング 64.6	ジョギング・ランニング 38.5	水泳 20.0	ポウリング 16.9	体操(ラジオ体操含む) 15.4	バスケットボール 13.8	バドミントン 12.3	サイクリング 10.8
	40歳代 (n=39)	散歩・ウォーキング 48.7	ジョギング・ランニング 35.9	サイクリング 23.1	体操(ラジオ体操含む) 20.5	釣り 12.8	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、水泳、テニス、ポウリング・野球 10.3		
	50歳代 (n=63)	散歩・ウォーキング 61.9	体操(ラジオ体操含む)、ポウリング 22.2		ゴルフ(ゴルフ練習含む) 19.0	ジョギング・ランニング 15.9	釣り 11.1	ヨガ 9.5	グラウンド・ゴルフ・ダンス・マシントレーニング 6.3
	60歳代 (n=69)	散歩・ウォーキング 78.3	体操(ラジオ体操含む) 24.6	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 20.3	ポウリング 17.4	グラウンド・ゴルフ 14.5	ジョギング・ランニング、水泳 11.6		サイクリング、ダンス、バドミントン、ヨガ、マシ 7.2
	70歳代 (n=107)	散歩・ウォーキング 65.4	体操(ラジオ体操含む) 27.1	グラウンド・ゴルフ、ポウリング 15.0		ゴルフ(ゴルフ練習含む)、水泳 12.1		ゲートボール、ジョギング・ランニング 5.6	
F3 地区	北部 (n=62)	散歩・ウォーキング 64.5	ポウリング 25.8	ジョギング・ランニング 22.6	グラウンド・ゴルフ、体操(ラジオ体操含む) 14.5		ゴルフ(ゴルフ練習含む) 12.9	サイクリング、バドミントン、マシントレーニング 9.7	
	中部 (n=103)	散歩・ウォーキング 61.2	体操(ラジオ体操含む) 22.3	ジョギング・ランニング 17.5	ポウリング 16.5	水泳 15.5	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 11.7	グラウンド・ゴルフ、ゴルフ(ゴルフ練習含む) 8.7	
	西部 (n=127)	散歩・ウォーキング 66.9	体操(ラジオ体操含む) 23.6	ポウリング 18.9	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 16.5	ジョギング・ランニング 15.7	水泳 15.0	サイクリング 10.2	釣り・バスケットボール 7.9
	東部 (n=113)	散歩・ウォーキング 58.4	ジョギング・ランニング 23.0	体操(ラジオ体操含む) 22.1	ポウリング 18.6	バドミントン 10.6	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 9.7	グラウンド・ゴルフ 8.8	マシントレーニング 8.0

問2-2：あなたは、この1年間に主に誰と一緒に運動やスポーツをしましたか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

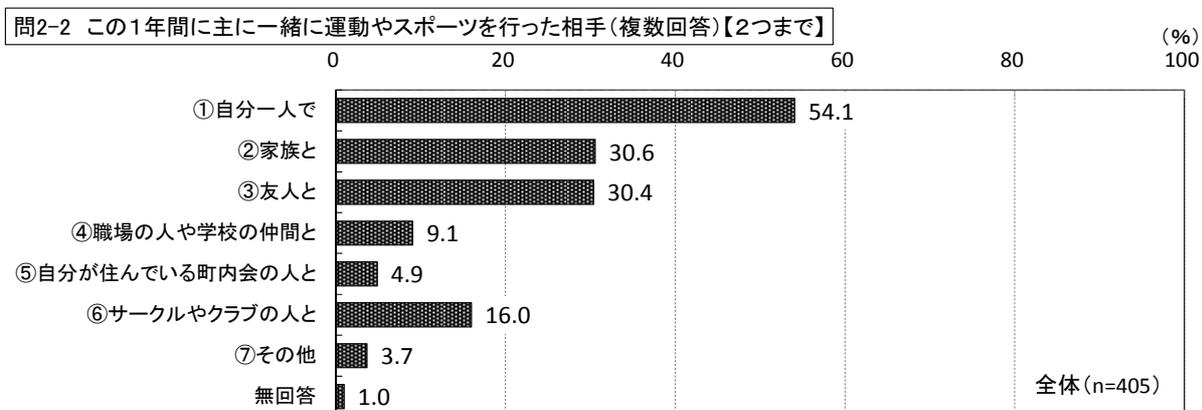
- | | | | |
|-------------------|----------------|--------|----------------|
| 1. 自分一人で | 2. 家族と | 3. 友人と | 4. 職場の人や学校の仲間と |
| 5. 自分が住んでいる町内会の人と | 6. サークルやクラブの人と | | |
| 7. その他（具体的に | | | |

回答者が運動やスポーツを一緒に行った相手についてみると、「①自分一人で」が5割強（54.1%）で最も多く、次いで「②家族と」（30.6%）、「③友人と」（30.4%）、「⑥サークルやクラブの人と」（16.0%）などとなっている。

性別でみると、男性は「①自分一人で」や「③友人と」の割合が女性より多くみられ、女性は「②家族で」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、「①自分一人で」の割合が40歳代は他の年代に比べて多く、20歳代と30歳代では他の年代に比べて少ない。また20歳代では「③友人と」、30歳代では「②家族と」の割合が最も多い。

地区ごとにみると、西部では「①自分一人で」の割合が他の地区に比べて多く、「②家族と」の割合が少ない。



問2-2 この1年間に主に一緒に運動やスポーツを行った相手 (複数回答【2つまで】 単位:%)

		① 自分 一人 で	② 家 族 と	③ 友 人 と	④ の 仲 間 と 職 場 の 人 や 学 校	⑤ の 町 自 分 が 住 ん で い る	⑥ の サ ー ク ル や ク ラ ブ	⑦ そ の 他	無 回 答
全 体 (405人)		54.1	30.6	30.4	9.1	4.9	16.0	3.7	1.0
性 別	男性 (191人)	58.6	20.4	33.0	11.0	4.7	17.3	3.7	1.0
	女性 (214人)	50.0	39.7	28.0	7.5	5.1	15.0	3.7	0.9
年 代	20歳代 (62人)	45.2	19.4	58.1	21.0	0.0	12.9	1.6	0.0
	30歳代 (65人)	46.2	53.8	30.8	13.8	0.0	9.2	0.0	0.0
	40歳代 (39人)	64.1	38.5	15.4	15.4	2.6	23.1	0.0	0.0
	50歳代 (63人)	58.7	28.6	28.6	9.5	1.6	12.7	4.8	1.6
	60歳代 (69人)	59.4	26.1	23.2	1.4	7.2	21.7	2.9	1.4
	70歳代 (107人)	54.2	24.3	25.2	1.9	12.1	17.8	8.4	1.9
地 区	北部 (62人)	50.0	38.7	25.8	8.1	4.8	14.5	6.5	1.6
	中部 (103人)	51.5	35.0	24.3	8.7	6.8	18.4	3.9	1.9
	西部 (127人)	61.4	23.6	34.6	7.9	6.3	14.2	2.4	0.8
	東部 (113人)	50.4	30.1	33.6	11.5	1.8	16.8	3.5	0.0

問2-3：この1年間で30分以上運動をした日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。
 当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 週に3日以上 (年151日以上) | 2. 週に2日程度 (年101日～150日) |
| 3. 週に1日程度 (年51日～100日) | 4. 月に1～3日程度 (年12日～50日) |
| 5. 3カ月に1～2日程度 (年4～11日) | 6. 年に1～3日程度 |
| 7. わからない | |

この1年間で運動した日数についてみると、「①週に3日以上 (年151日以上)」が3割強 (34.3%) で最も多く、次いで「②週に2日程度 (年101日～150日)」 (21.5%)、「週に1日程度 (年51日～100日)」 (18.0%)、「④月に1～3日 (年12日～50日)」 (14.8%) などとなっている。

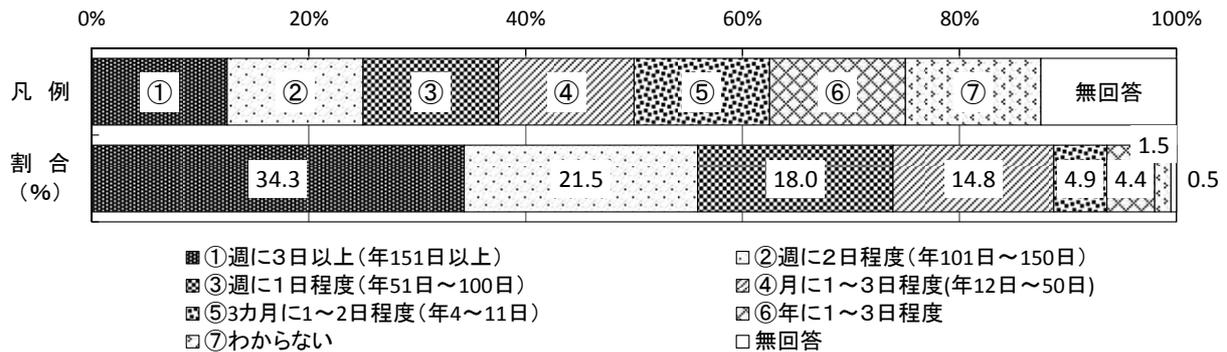
また、『週に1日以上運動をしている』(「①週に3日以上 (年151日以上)」、「②週に2日程度 (年101日～150日)」、「③週に1日程度 (年51日～100日)」の合計) の割合は7割強 (73.8%) であった。

性別でみると女性は男性に比べて運動の日数が少ない傾向がみられる。

年代ごとにみると、年齢層が高くなるにつれて「①週に3日以上 (年151日以上)」と「②週に2日程度 (年101日～150日)」の割合が多くなる傾向がみられた。なお、20歳代と30歳代の若い世代ではこれらが少なく、運動が日常の習慣になっていないことがうかがえる。

平成24年度県調査と比較すると、「①週に3日以上 (年151日以上)」が県では約3割 (30.1%)、『週に1日以上運動をしている』が7割弱 (66.2%) であり、いずれの割合も本市の方が多い。

問2-3 この1年間に30分以上運動をした日数の合計



問2-3 この1年間に30分以上運動をした日数の合計

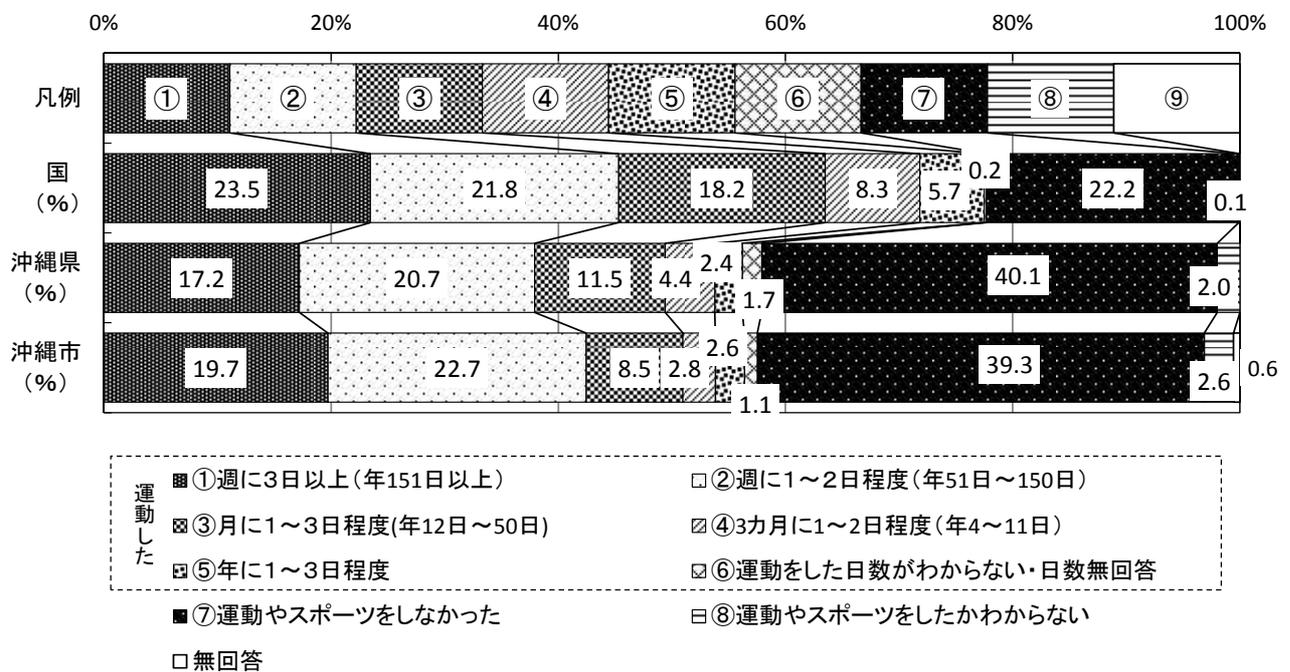
(単数回答 単位: %)

		1 ① 5週 1に 日3 以上 以上 ～上 (年)	1 ② 0週 1に 日2 以上 1程 5度 0(年)	5 ③ 1週 日に 51 日1 0程 0度 日(年)	(④ 年月 1に 日5 53 5日 0程 日度)	度 ⑤ (3 年力 4月 5に 11 15 日2 ～日 程	⑥ 年に 1 3 日 程度	⑦ わ か ら な い	無 回 答
全体	(405人)	34.3	21.5	18.0	14.8	4.9	4.4	1.5	0.5
性別	男性 (191人)	36.1	26.2	18.3	12.0	2.6	2.6	1.6	0.5
	女性 (214人)	32.7	17.3	17.8	17.3	7.0	6.1	1.4	0.5
年代	20歳代 (62人)	9.7	12.9	21.0	25.8	12.9	12.9	4.8	0.0
	30歳代 (65人)	13.8	16.9	29.2	23.1	7.7	6.2	3.1	0.0
	40歳代 (39人)	28.2	25.6	15.4	12.8	7.7	10.3	0.0	0.0
	50歳代 (63人)	25.4	25.4	22.2	22.2	1.6	1.6	1.6	0.0
	60歳代 (69人)	46.4	31.9	13.0	4.3	1.4	1.4	0.0	1.4
	70歳代 (107人)	60.7	18.7	11.2	6.5	1.9	0.0	0.0	0.9
地区	北部 (62人)	33.9	14.5	17.7	22.6	4.8	6.5	0.0	0.0
	中部 (103人)	35.0	26.2	17.5	11.7	3.9	4.9	0.0	1.0
	西部 (127人)	36.2	22.8	20.5	11.0	3.1	3.1	2.4	0.8
	東部 (113人)	31.9	19.5	15.9	17.7	8.0	4.4	2.7	0.0

この1年間に運動やスポーツを行ったと答えた人や運動やスポーツをしなかったと答えた人を加えて全ての人を対象として、平成21年度に内閣府が実施した「体力・スポーツに関する世論調査」(以下「平成21年度内閣府調査」)や平成24年度県調査の結果と比較すると、この1年間に運動やスポーツを『週に1日以上運動をしている』(「①週に3日以上(年151日以上)」、「②週に1~2日程度(年51日~150日)」の合計)の割合をみると、本市では42.4%、県では37.9%、国では45.3%となっており、週に1日以上運動している人の割合について本市は県と比較すると割合が若干多いものの、国と比較すると若干割合が少ない状況にある。

また、「⑦運動やスポーツをしなかった」の割合をみると、本市では39.3%、県では40.1%、国では22.2%となっており、本市や県は国と比較して運動やスポーツをしない人の割合が約2倍と多い状況にある。

この1年間に30分以上運動をした日数の合計(スポーツや運動をしなかった人も含む、すべての人)



※本市調査と同一条件で比較するため、県調査については「運動をした日数が無回答」の分も含める形で再集計を行っている。そのため、「県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書(平成24年12月)」に掲載されている割合とは若干異なる。

問2-4：この1年間について、運動をしていた曜日・時間帯は次のどれに当てはまりますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|---------------------|-------------------|
| 1. 平日の午前 | 2. 平日の午後（午後6時まで） | 3. 平日の夜間（午後6時以降） |
| 4. 土曜日の午前 | 5. 土曜日の午後（午後6時まで） | 6. 土曜日の夜間（午後6時以降） |
| 7. 日曜・祝日の午前 | 8. 日曜・祝日の午後（午後6時まで） | |
| 9. 日曜・祝日の夜間（午後6時以降） | 10. その他（具体的に | ） |

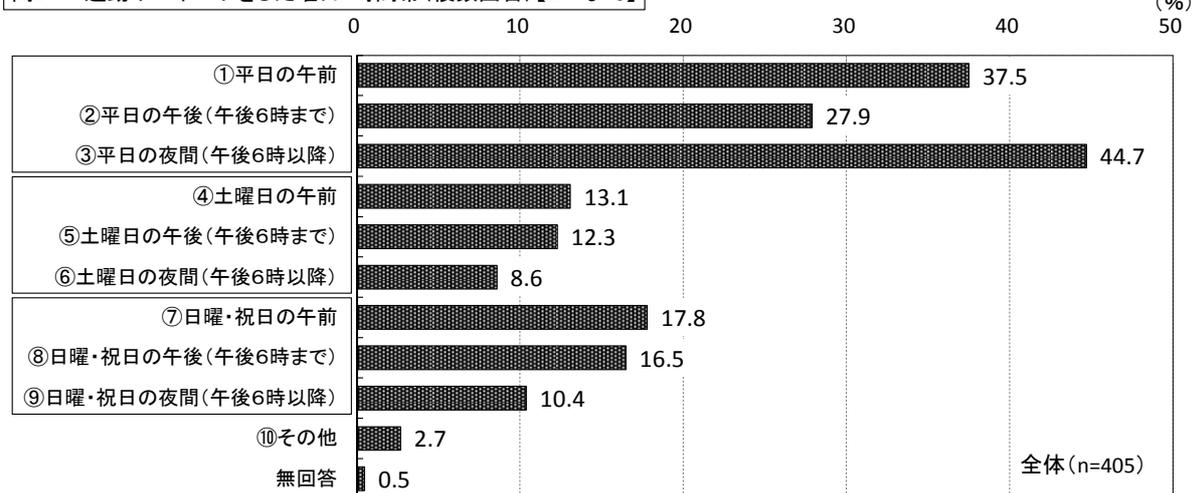
運動をしている曜日や時間帯についてみると、「③平日の夜間（午後6時以降）」が4割強（44.7%）で最も多く、次いで「①平日の午前」（37.5%）、「②平日の午後（午後6時まで）」（27.9%）、「⑦日曜・祝日の午前」（17.8%）、「⑧日曜・祝日の午後（午後6時まで）」（16.5%）などとなっている。平日の午前や夜間に運動をする人が多いことがうかがえる。

性別でみると男性は「③平日の夜間（午後6時以降）」の割合が女性より多くみられた。

年代ごとにみると、60歳代では「①平日の午前」と「③平日の夜間（午後6時以降）」がほぼ同じ割合となっており、また70歳代では「①平日の午前」が最も多い。

地区ごとにみると北部と中部では、西部と東部に比べ「①平日の午前」の割合が1割ほど多い。

問2-4 運動やスポーツをした曜日・時間帯（複数回答）【3つまで】



問2-4 運動やスポーツをした曜日・時間帯

（複数回答【3つまで】 単位：%）

		① 平日の 午前	② 平日の 午後 （午後 6時 まで）	③ 平日の 夜間 （午後 6時 以降）	④ 土 曜 日 の 前 午	⑤ 土 曜 日 の 後 午 （午後 6時 まで）	⑥ 土 曜 日 の 夜 間 （午後 6時 以降）	⑦ 日 曜 ・ 祝 日 の 前 午	⑧ 日 曜 ・ 祝 日 の 後 午 （午後 6時 まで）	⑨ 日 曜 ・ 祝 日 の 夜 間 （午後 6時 以降）	⑩ そ の 他	無 回 答	
全体		(405人)	37.5	27.9	44.7	13.1	12.3	8.6	17.8	16.5	10.4	2.7	0.5
性別	男性	(191人)	34.0	28.8	50.8	12.0	10.5	9.4	17.3	16.8	12.6	2.1	0.5
	女性	(214人)	40.7	27.1	39.3	14.0	14.0	7.9	18.2	16.4	8.4	3.3	0.5
年代	20歳代	(62人)	9.7	22.6	50.0	17.7	17.7	21.0	22.6	21.0	27.4	6.5	0.0
	30歳代	(65人)	23.1	15.4	56.9	13.8	12.3	9.2	24.6	32.3	10.8	3.1	0.0
	40歳代	(39人)	30.8	20.5	61.5	10.3	15.4	10.3	17.9	23.1	7.7	2.6	0.0
	50歳代	(63人)	20.6	19.0	60.3	7.9	17.5	7.9	20.6	15.9	14.3	0.0	1.6
	60歳代	(69人)	40.6	33.3	42.0	7.2	15.9	5.8	18.8	13.0	7.2	1.4	1.4
	70歳代	(107人)	72.9	43.0	20.6	17.8	2.8	2.8	8.4	4.7	0.9	2.8	0.0
地区	北部	(62人)	43.5	27.4	45.2	12.9	8.1	9.7	19.4	16.1	11.3	3.2	0.0
	中部	(103人)	43.7	22.3	40.8	12.6	12.6	5.8	18.4	17.5	9.7	2.9	1.0
	西部	(127人)	33.9	31.5	46.5	12.6	9.4	10.2	15.7	11.8	8.7	3.1	0.8
	東部	(113人)	32.7	29.2	46.0	14.2	17.7	8.8	18.6	21.2	12.4	1.8	0.0

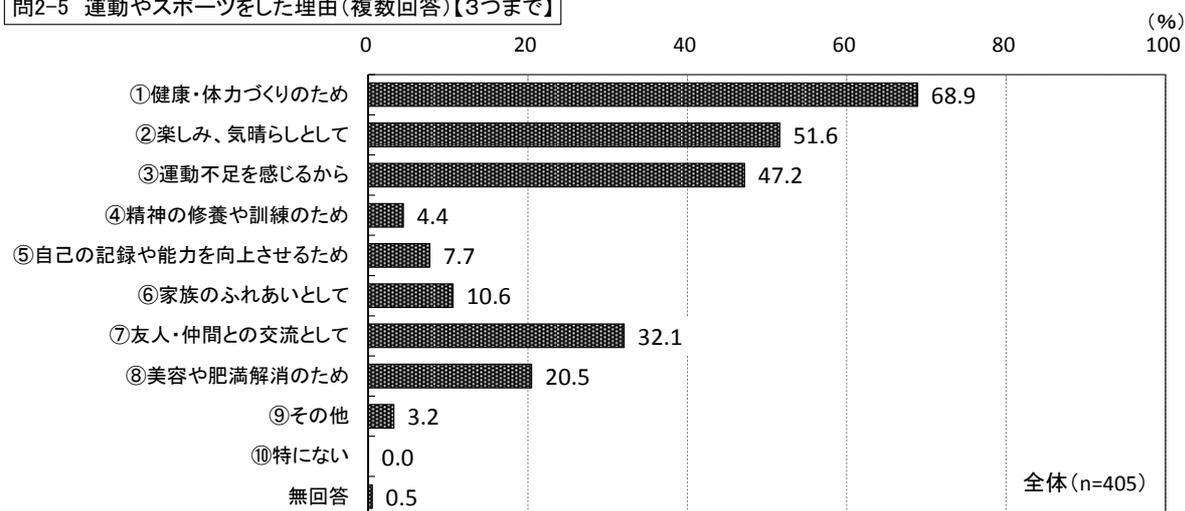
問2-5：この1年間で運動やスポーツをした理由は何でしょうか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 健康・体力づくりのため | 2. 楽しみ、気晴らしとして |
| 3. 運動不足を感じるから | 4. 精神の修養や訓練のため |
| 5. 自己の記録や能力を向上させるため | 6. 家族のふれあいとして |
| 7. 友人・仲間との交流として | 8. 美容や肥満解消のため |
| 9. その他（具体的に |) |
| 10. 特にな | |

運動やスポーツをした理由についてみると、「①健康・体力づくりのため」が7割弱（68.9%）で最も多く、次いで「②楽しみ、気晴らしとして」（51.6%）、「③運動不足を感じるから」（47.2%）、「⑦友人・仲間との交流として」（32.1%）、「⑧美容や肥満解消のため」（20.5%）、「⑥家族のふれあいとして」（10.6%）などとなっている。

性別でみると、男性は「②楽しみ、気晴らしとして」と「⑦友人・仲間との交流として」が女性よりも多く、女性は「③運動不足を感じるから」と「⑥家族のふれあいとして」、「⑧美容や肥満解消のため」が男性より多くみられた。

問2-5 運動やスポーツをした理由(複数回答)【3つまで】



問2-5 運動やスポーツをした理由

(複数回答【3つまで】 単位: %)

		く① り健 康の ため 体力 づ	ら② し楽 とし しみ 、 気晴	じる③ る運 動不 足を 感	訓④ 練精 神の ため 修養 や	る能⑤ た力 自己 の向 上記 録さ せや	いと⑥ と家 族の ふれ あ	の⑦ 交友 人・ 仲間 と	消⑧ の美 容や 肥満 解	⑨ そ の 他	⑩ 特 に な い	無 回 答	
全	体	(405人)	68.9	51.6	47.2	4.4	7.7	10.6	32.1	20.5	3.2	0.0	0.5
性 別	男性	(191人)	71.7	58.1	37.7	4.7	9.9	5.2	37.2	12.6	3.7	0.0	0.5
	女性	(214人)	66.4	45.8	55.6	4.2	5.6	15.4	27.6	27.6	2.8	0.0	0.5
年 代	20歳代	(62人)	41.9	64.5	40.3	3.2	14.5	9.7	40.3	25.8	4.8	0.0	0.0
	30歳代	(65人)	64.6	44.6	46.2	4.6	6.2	26.2	26.2	26.2	1.5	0.0	0.0
	40歳代	(39人)	64.1	53.8	35.9	5.1	15.4	12.8	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0
	50歳代	(63人)	57.1	47.6	58.7	3.2	4.8	6.3	33.3	20.6	4.8	0.0	1.6
	60歳代	(69人)	82.6	46.4	47.8	5.8	5.8	5.8	31.9	23.2	2.9	0.0	1.4
	70歳代	(107人)	86.9	53.3	48.6	4.7	4.7	6.5	30.8	11.2	3.7	0.0	0.0
地 区	北部	(62人)	62.9	56.5	46.8	4.8	3.2	16.1	35.5	17.7	3.2	0.0	0.0
	中部	(103人)	72.8	48.5	54.4	1.9	3.9	10.7	30.1	21.4	2.9	0.0	1.0
	西部	(127人)	71.7	48.8	44.9	7.1	11.0	7.1	27.6	23.6	2.4	0.0	0.8
	東部	(113人)	65.5	54.9	43.4	3.5	9.7	11.5	37.2	17.7	4.4	0.0	0.0

【問2で、「2. 運動やスポーツをしなかった」、「3. わからない」と回答した方におたずねします。】
 問2-6： この1年間で運動やスポーツをしなかった理由は何でしたか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 時間がないから (仕事、家事・育児などで忙しいから) | 2. 体が弱いから |
| 3. 年をとったから | 4. 場所や施設がないから |
| 5. 仲間がいないから | 6. 指導者がいないから |
| 7. お金がかかるから | 8. 運動・スポーツは嫌いだから |
| 9. その他 (具体的に) | |
| 10. 機会がなかったから | 11. 特にな |

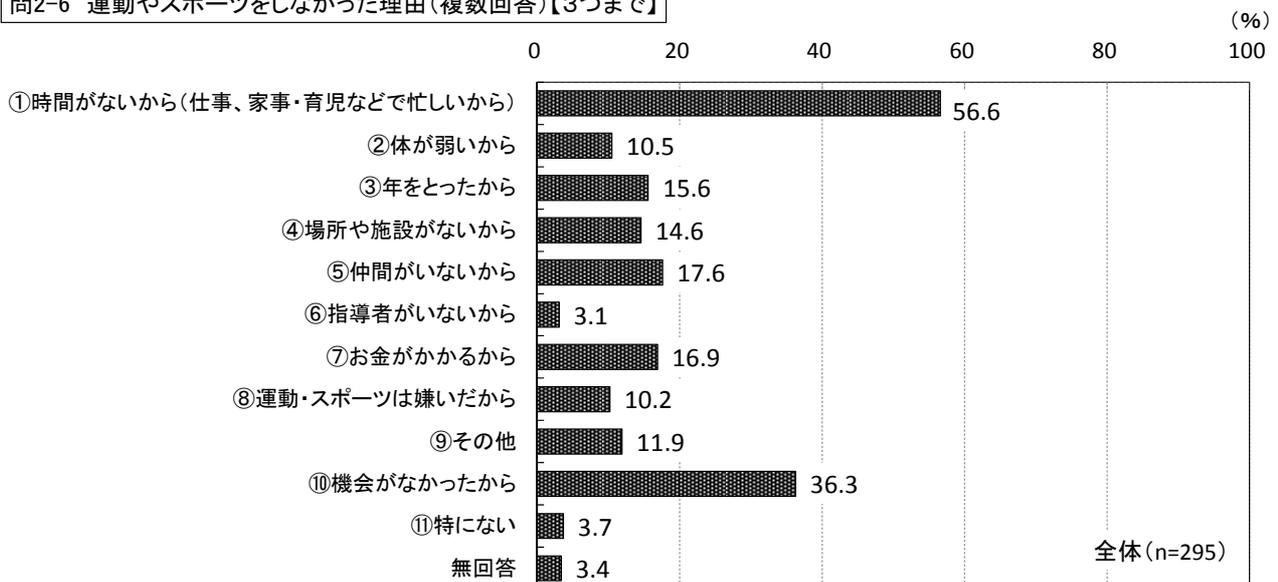
運動やスポーツをしなかった理由についてみると、「①時間がないから (仕事、家事・育児などで忙しいから)」が6割弱 (56.6%) で最も多く、次いで「⑩機会がなかったから」 (36.3%)、「⑤仲間がいないから」 (17.6%)、「⑦お金がかかるから」 (16.9%)、「③年をとったから」 (15.6%)、「④場所や施設がないから」 (14.6%) などとなっている。「⑨その他」では病気などの身体的な理由から運動やスポーツを行えないという回答が多くみられた。

性別でみると、男性は「③年をとったから」の割合が女性より多くみられ、女性は「①時間がないから (仕事、家事・育児などで忙しいから)」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、20歳代から40歳代では「①時間がないから (仕事、家事・育児などで忙しいから)」の割合が他の年代に比べて多く、特に30歳代では約9割 (90.2%) となっている。また、50歳代では「⑦お金がかかるから」の割合が他の年代に比べて多くみられた。

地区ごとにみると、東部は他の地区に比べ「①時間がないから (仕事、家事・育児などで忙しいから)」の割合が多く、「④場所や施設がないから」の割合が少なくなっていた。

問2-6 運動やスポーツをしなかった理由(複数回答)【3つまで】



問2-6 この1年間に運動やスポーツをしなかった理由

(複数回答【3つまで】 単位：%)

		① 時間がないから （仕事、家事・育児 などで忙しいから）	② 体が弱いから	③ 年をとったから	④ 場所や施設がないから	⑤ 仲間がいないから	⑥ 指導者がいないから	⑦ お金がかかるから	⑧ 嫌いだから （運動・スポーツは）	⑨ その他	⑩ 機会がなかったから	⑪ 特にない	無回答	
全体		(295人)	56.6	10.5	15.6	14.6	17.6	3.1	16.9	10.2	11.9	36.3	3.7	3.4
性別	男性	(112人)	49.1	12.5	23.2	10.7	17.9	3.6	13.4	9.8	9.8	34.8	6.3	1.8
	女性	(183人)	61.2	9.3	10.9	16.9	17.5	2.7	19.1	10.4	13.1	37.2	2.2	4.4
年代	20歳代	(29人)	75.9	0.0	0.0	17.2	10.3	0.0	20.7	17.2	6.9	37.9	0.0	3.4
	30歳代	(51人)	90.2	5.9	0.0	11.8	23.5	2.0	15.7	7.8	7.8	47.1	2.0	0.0
	40歳代	(49人)	73.5	4.1	10.2	24.5	14.3	2.0	16.3	10.2	8.2	40.8	2.0	0.0
	50歳代	(46人)	56.5	10.9	10.9	17.4	23.9	2.2	32.6	13.0	8.7	45.7	2.2	0.0
	60歳代	(65人)	46.2	12.3	18.5	12.3	21.5	6.2	15.4	6.2	18.5	33.8	6.2	6.2
	70歳代	(55人)	12.7	23.6	43.6	7.3	9.1	3.6	5.5	10.9	16.4	16.4	7.3	9.1
地区	北部	(43人)	51.2	9.3	16.3	18.6	25.6	0.0	20.9	16.3	9.3	39.5	0.0	4.7
	中部	(81人)	49.4	11.1	13.6	17.3	18.5	2.5	13.6	8.6	9.9	35.8	6.2	3.7
	西部	(81人)	53.1	11.1	14.8	16.0	13.6	3.7	17.3	8.6	16.0	33.3	4.9	6.2
	東部	(90人)	68.9	10.0	17.8	8.9	16.7	4.4	17.8	10.0	11.1	37.8	2.2	0.0

【すべての方におたずねします。】

問3：あなたが、運動やスポーツを実施する際に、困っていることや妨げになっていること、あるいは実施できない理由を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 勤務時間が長い | 2. 通勤時間が長い |
| 3. 休暇がない | 4. 家事が忙しい |
| 5. 子供がいる（育児に忙しい） | 6. 世話を必要とする人がいる |
| 7. 経済的なゆとりがない | 8. 一緒に行く仲間がいない |
| 9. 身近に施設がない | 10. 運動が苦手である |
| 11. 運動すると疲れる | 12. 指導者がいない |
| 13. 運動・スポーツに関する情報が不足している | 14. 運動・スポーツをするのが面倒である |
| 15. 年をとっている（高齢のため） | 16. 障がい者が利用できる施設が不足している |
| 17. 健康上の理由から | |
| 18. その他（具体的に | ） |
| 19. 困っていることや妨げになっていることはない | 20. 運動・スポーツに関心はない |

運動やスポーツを実施する際の妨げや実施できない理由についてみると、「⑦経済的なゆとりがない」が最も多く2割弱（18.8%）、次いで「⑨身近に施設がない」（17.9%）、「④家事が忙しい」（16.2%）、「①勤務時間が長い」（15.8%）、「⑧一緒に行く仲間がいない」（15.6%）などとなっている。「⑱その他」では場所や施設の利用が不便などの周辺環境による理由が多くみられ、仕事や家事などの回答もみられた。

性別でみると、女性は「④家事が忙しい」や「⑥子供がいる（育児に忙しい）」の割合が比較的多くみられた。

年代ごとにみると、30歳代は「④家事が忙しい」や「⑥子供がいる（育児に忙しい）」の割合が他の年代より多くみられた。

問3 運動やスポーツを実施できない理由（複数回答）【すべて】



問3 運動やスポーツを実施できない理由

(複数回答【すべて】 単位:%)

		①勤務時間が長い	②通勤時間が長い	③休暇がない	④家事が忙しい	⑤子供がいる(育児に忙しい)	⑥世話を必要とする人がいる	⑦経済的なゆとりがない	⑧一緒にいる仲間がいない	⑨身近に施設がない	⑩運動が苦手である	⑪運動すると疲れる	
全体	(704人)	15.8	5.5	9.9	16.2	11.5	6.8	18.8	15.6	17.9	12.2	10.4	
性別	男性	(304人)	16.8	6.9	8.2	4.6	5.6	4.9	16.4	15.1	15.1	9.9	9.5
	女性	(400人)	15.0	4.5	11.3	25.0	16.0	8.3	20.5	16.0	20.0	14.0	11.0
年代	20歳代	(91人)	24.2	6.6	16.5	14.3	22.0	1.1	26.4	25.3	15.4	15.4	8.8
	30歳代	(116人)	30.2	9.5	16.4	30.2	34.5	3.4	23.3	17.2	20.7	12.1	12.9
	40歳代	(89人)	21.3	11.2	7.9	20.2	16.9	2.2	16.9	11.2	16.9	13.5	6.7
	50歳代	(109人)	21.1	5.5	15.6	18.3	1.8	9.2	22.0	19.3	19.3	11.9	11.9
	60歳代	(135人)	7.4	3.0	5.9	11.9	1.5	14.1	21.5	17.0	21.5	9.6	8.9
	70歳代	(164人)	1.2	1.2	2.4	7.3	1.2	7.3	7.9	7.9	14.0	12.2	11.6
地区	北部	(105人)	18.1	4.8	7.6	11.4	12.4	7.6	21.9	16.2	18.1	16.2	9.5
	中部	(185人)	13.5	7.0	12.4	17.3	11.9	7.6	17.8	16.8	24.9	9.2	11.4
	西部	(209人)	15.3	3.8	8.1	13.4	7.2	6.7	15.8	15.8	15.3	11.0	10.0
	東部	(205人)	17.1	6.3	10.7	20.5	15.1	5.9	21.0	14.1	14.1	14.1	10.2

		⑫指導者がいない	⑬関連する情報・スポーツ不足	⑭運動が面倒である	⑮高齢のため	⑯障害者が利用できない施設が不足している	⑰健康上の理由から	⑱その他	⑲妨げになっていること	⑳関心はない	無回答	
全体	(704人)	5.1	12.1	10.5	7.1	2.3	9.9	5.7	12.6	0.6	10.1	
性別	男性	(304人)	3.0	10.5	9.2	8.2	1.6	8.9	4.9	16.8	0.3	12.8
	女性	(400人)	6.8	13.3	11.5	6.3	2.8	10.8	6.3	9.5	0.8	8.0
年代	20歳代	(91人)	2.2	15.4	17.6	0.0	1.1	4.4	4.4	8.8	0.0	5.5
	30歳代	(116人)	5.2	13.8	11.2	0.0	2.6	6.9	4.3	9.5	0.0	1.7
	40歳代	(89人)	3.4	14.6	9.0	0.0	1.1	6.7	7.9	12.4	2.2	7.9
	50歳代	(109人)	8.3	16.5	11.0	0.0	0.9	4.6	5.5	17.4	0.0	6.4
	60歳代	(135人)	8.1	11.9	9.6	2.2	5.2	15.6	8.9	13.3	0.0	9.6
	70歳代	(164人)	3.0	4.9	7.3	28.7	1.8	15.9	3.7	13.4	1.2	22.6
地区	北部	(105人)	1.0	5.7	10.5	9.5	1.9	9.5	7.6	11.4	1.0	8.6
	中部	(185人)	3.8	13.0	11.9	6.5	2.2	11.4	7.0	9.2	0.5	8.6
	西部	(209人)	6.2	14.4	10.5	7.7	1.9	9.1	3.8	17.2	0.5	13.4
	東部	(205人)	7.3	12.2	9.3	5.9	2.9	9.8	5.4	11.7	0.5	8.8

問4：現在行っているものを含め、あなたが、今後も行いたい（今後行ってみたい）運動やスポーツには何がありますか。特に行いたい（今後行ってみたい）種目を5つまで選んで番号に○をつけてください。

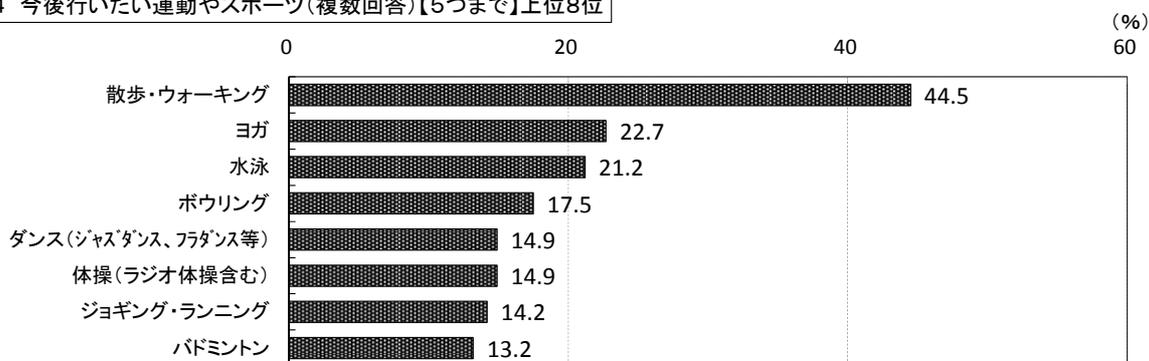
継続またはやってみたい運動やスポーツの上位8位をみると、「散歩・ウォーキング」が最も多く4割強（44.5%）、次いで「ヨガ」（22.7%）、「水泳」（21.2%）、「ボウリング」（17.5%）、「ダンス（ジャズダンス、フラダンス等）」（14.9%）、「体操（ラジオ体操含む）」（14.9%）、「ジョギング・ランニング」（14.2%）、「バドミントン」（13.2%）となっている。

性別でみると、男性ではゴルフや釣りなど娯楽性のある種目が入っており、女性ではヨガや水泳、体操など健康や美容効果を意識した種目が入っている。

年代別にみると、50歳代以下でヨガへの関心が高いことがみうけられる。

問2-1の現在行っている運動やスポーツの結果と比較すると、「ヨガ」で16.4ポイント、「水泳」で9.3ポイント、「ダンス（ジャズダンス、フラダンス等）」で8.0ポイント、「バドミントン」で6.3ポイント、「太極拳」で7.1ポイント多くなっている。

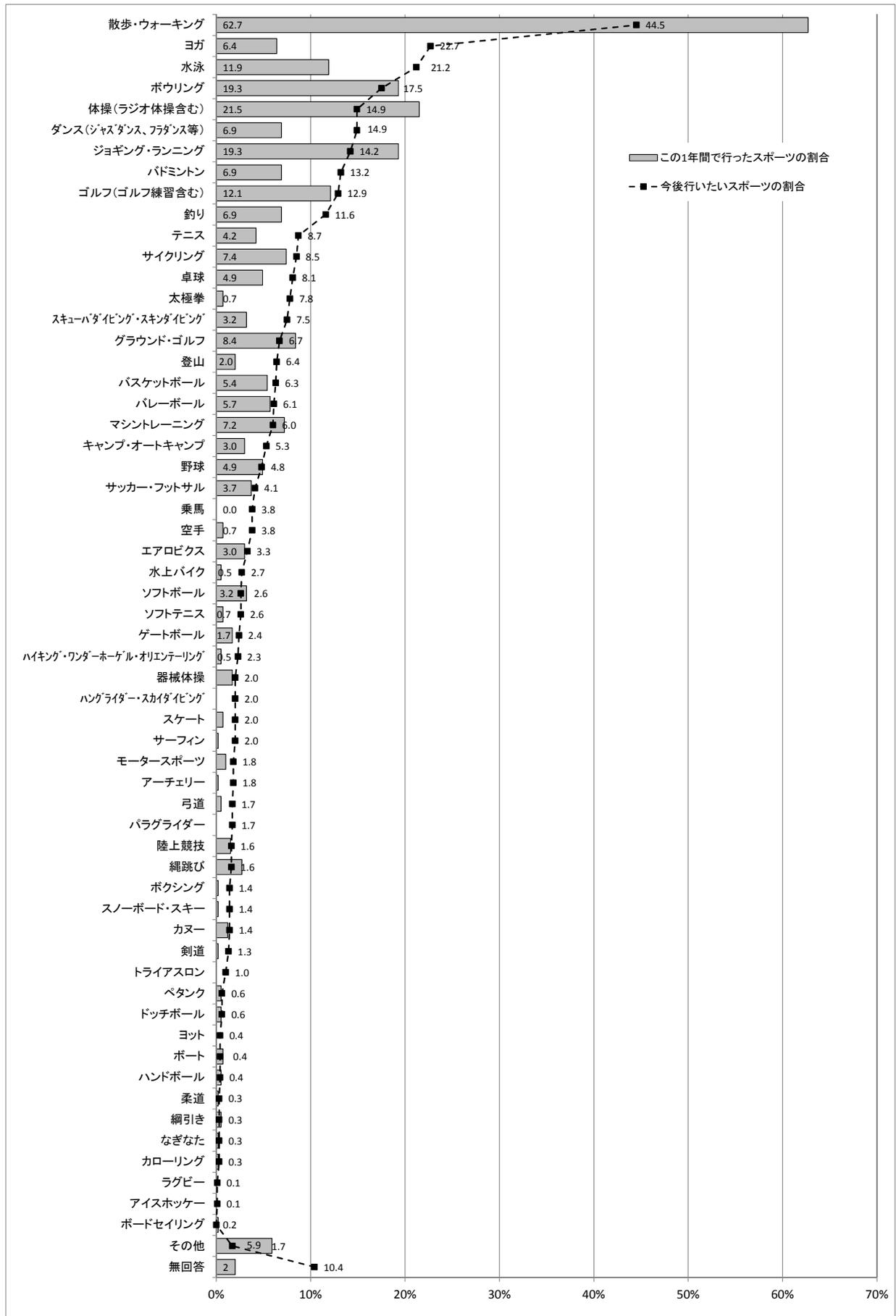
問4 今後行いたい運動やスポーツ(複数回答)【5つまで】上位8位



問4 今後行いたい運動やスポーツ

(複数回答【5つまで】 単位：%)

単位：%		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
全体 (N=704)		散歩・ウォーキング 44.5	ヨガ 22.7	水泳 21.2	ボウリング 17.5	体操(ラジオ体操含む)、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 14.9		ジョギング・ランニング 14.2	バドミントン 13.2
F1 性別	男性 (N=304)	散歩・ウォーキング 41.4	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 23.0	釣り 21.1	ボウリング 19.7	ジョギング・ランニング 18.4	サイクリング 13.5	水泳 13.2	野球 10.2
	女性 (N=400)	散歩・ウォーキング 46.8	ヨガ 37.3	水泳 27.3	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 25.0	体操(ラジオ体操含む) 21.0	バドミントン 16.5	ボウリング 15.8	ジョギング・ランニング 11.0
F2 年代	20歳代 (N=91)	散歩・ウォーキング 37.4	ヨガ 29.7	バドミントン 22.0	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 20.9	水泳、ボウリング 16.5		サイクリング 15.4	バスケットボール・バレーボール 14.3
	30歳代 (N=115)	ヨガ 36.2	バドミントン 29.3	散歩・ウォーキング 28.4	ジョギング・ランニング、水泳、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 20.7			スキューバダイビング・スキダイビング 19.8	テニス、ボウリング 15.5
	40歳代 (N=89)	散歩・ウォーキング 36.0	ヨガ 32.6	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 22.5	水泳 21.3	バドミントン 19.1	ボウリング 18.0	テニス 13.5	サイクリング 11.2
	50歳代 (N=109)	散歩・ウォーキング 43.1	ヨガ 29.4	水泳 24.8	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、ジョギング・ランニング 21.1		ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 20.2	ボウリング 18.3	釣り 14.7
	60歳代 (N=135)	散歩・ウォーキング 63.0	水泳 27.4	体操(ラジオ体操含む) 23.0	ボウリング 19.3	釣り 18.5	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 16.3	ジョギング・ランニング 15.6	ヨガ 14.1
	70歳代 (N=164)	散歩・ウォーキング 50.0	体操(ラジオ体操含む) 26.2	グラウンド・ゴルフ 18.3	ボウリング 17.1	水泳 16.5	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、卓球 11.0		釣り 9.1
F3 地区	北部 (N=105)	散歩・ウォーキング 40.0	ヨガ 23.8	水泳、ボウリング 21.0		ジョギング・ランニング、バドミントン 17.1	体操(ラジオ体操含む) 13.3	グラウンド・ゴルフ 11.4	
	中部 (N=185)	散歩・ウォーキング 46.5	ヨガ 22.2	水泳 20.5	ボウリング 18.4	体操(ラジオ体操含む) 16.2	バドミントン 15.1	ジョギング・ランニング 13.5	釣り 11.4
	西部 (N=209)	散歩・ウォーキング 46.4	水泳 22.5	ヨガ 21.1	体操(ラジオ体操含む) 18.2	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 16.7	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 14.8	ボウリング 14.4	ジョギング・ランニング 12.4
	東部 (N=205)	散歩・ウォーキング 42.9	ヨガ 24.4	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 21.0	水泳 20.5	ボウリング 18.0	バドミントン 15.6	ジョギング・ランニング 15.1	ゴルフ(ゴルフ練習含む)・釣り 13.2



種目	今後行いたい人の割合(%)	この1年間で行った人の割合(%)
散歩・ウォーキング	44.5	62.7
ヨガ	22.7	6.4
水泳	21.2	11.9
ボウリング	17.5	19.3
ダンス (ジャズダンス、フラダンス等)	14.9	6.9
体操(ラジオ体操含む)	14.9	21.5
ジョギング・ランニング	14.2	19.3
バドミントン	13.2	6.9
ゴルフ(ゴルフ練習含む)	12.9	12.1
釣り	11.6	6.9
テニス	8.7	4.2
サイクリング	8.5	7.4
卓球	8.1	4.9
太極拳	7.8	0.7
スキューバダイビング ・スキンドайビング	7.5	3.2
グラウンド・ゴルフ	6.7	8.4
登山	6.4	2.0
バスケットボール	6.3	5.4
バレーボール	6.1	5.7
マシントレーニング	6.0	7.2
キャンプ・オートキャンプ	5.3	3.0
野球	4.8	4.9
サッカー・フットサル	4.1	3.7
空手	3.8	0.7
乗馬	3.8	0.0
エアロビクス	3.3	3.0
水上バイク	2.7	0.5
ソフトテニス	2.6	0.7
ソフトボール	2.6	3.2
ゲートボール	2.4	1.7

種目	今後行いたい人の割合(%)	この1年間で行った人の割合(%)
ハイキング・ワンダーホーゲル ・オリエンテーリング	2.3	0.5
サーフィン	2.0	0.2
スケート	2.0	0.7
ハングライダー・スカイダイビング	2.0	0.0
器械体操	2.0	1.7
アーチェリー	1.8	0.2
モータースポーツ	1.8	1.0
パラグライダー	1.7	0.0
弓道	1.7	0.5
縄跳び	1.6	2.7
陸上競技	1.6	1.5
カヌー	1.4	1.2
スノーボード・スキー	1.4	0.2
ボクシング	1.4	0.2
剣道	1.3	0.2
トライアスロン	1.0	0.0
ドッチボール	0.6	0.5
ペタンク	0.6	0.5
ハンドボール	0.4	0.5
ボート	0.4	0.7
ヨット	0.4	0.0
カローリング	0.3	0.2
なぎなた	0.3	0.2
綱引き	0.3	0.5
柔道	0.3	0.2
アイスホッケー	0.1	0.0
ラグビー	0.1	0.0
ボードセーリング	0.0	0.2
その他	1.7	5.9
無回答	10.4	2.0

<沖縄市のスポーツ・体育施設について>

問5：コザ運動公園内にある各スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）に望むことがありますか。
 主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

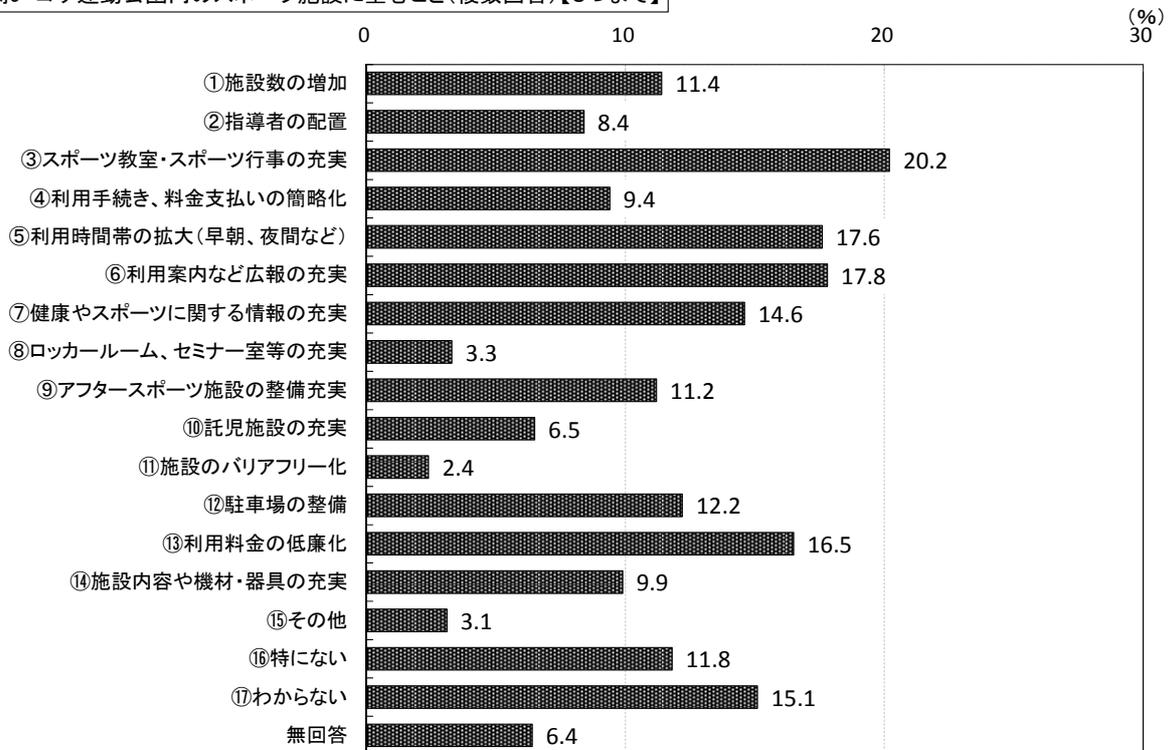
1. 施設数の増加	2. 指導者の配置
3. スポーツ教室・スポーツ行事の充実	4. 利用手続き、料金支払いの簡略化
5. 利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）	6. 利用案内など広報の充実
7. 健康やスポーツに関する情報の充実	8. ロッカールーム、セミナー室等の充実
9. アフタースポーツ施設（シャワールーム、レストランなど）の整備充実	
10. 託児施設の充実	11. 施設のバリアフリー化
12. 駐車場の整備	13. 利用料金の低廉化
14. 施設内容（コンディション等）や機材・器具の充実	
15. その他（具体的に)
16. 特にない	17. わからない

コザ公園の施設に望むことについてみると、「③スポーツ教室・スポーツ行事の充実」が最も多く約2割（20.2%）、次いで「⑥利用案内など広報の充実」（17.8%）、「⑤利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」（17.6%）、「⑬利用料金の低廉化」（16.5%）などとなっている。「⑮その他」では新しい施設や設備、利便性やサービス向上を求める意見が多くみられ、また警備員の巡回などの安全を求める意見や利用方法の案内板などの情報提供を求める意見もみられた。

性別でみると、女性は「③スポーツ教室・スポーツ行事の充実」や「⑩託児施設の充実」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて「①施設数の増加」の割合が比較的多くなる傾向がある。また20歳代と30歳代で「⑩託児施設の充実」の割合が他の年代に比べて多くみられた。

問5 コザ運動公園内のスポーツ施設に望むこと(複数回答)【3つまで】



問5 コザ運動公園内のスポーツ施設に望むこと

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		①施設数の増加	②指導者の配置	③スポーツ教室・スポーツ行事の充実	④利用手続き、料金支払いの簡略化	⑤利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)	⑥利用案内など広報の充実	⑦健康やスポーツに関する情報の充実	⑧ロッカールーム、セミナー室等の充実	⑨アフタースポーツ施設(シャワールーム、レストランなど)の整備充実	
全体		(704人)	11.4	8.4	20.2	9.4	17.6	17.8	14.6	3.3	11.2
性別	男性	(304人)	15.1	6.6	15.1	11.5	19.4	13.2	11.8	1.6	11.8
	女性	(400人)	8.5	9.8	24.0	7.8	16.3	21.3	16.8	4.5	10.8
年代	20歳代	(91人)	15.4	7.7	23.1	11.0	25.3	15.4	15.4	3.3	18.7
	30歳代	(116人)	13.8	4.3	30.2	13.8	19.8	19.0	12.1	5.2	12.1
	40歳代	(89人)	13.5	12.4	32.6	14.6	24.7	16.9	13.5	5.6	11.2
	50歳代	(109人)	13.8	7.3	18.3	11.9	24.8	26.6	18.3	7.3	16.5
	60歳代	(135人)	8.9	14.8	17.8	2.2	15.6	24.4	17.8	0.0	6.7
	70歳代	(164人)	6.7	4.9	7.9	6.7	4.9	7.3	11.6	0.6	6.7
地区	北部	(105人)	8.6	7.6	20.0	9.5	16.2	20.0	15.2	1.9	11.4
	中部	(185人)	10.3	5.9	19.5	11.9	18.9	15.7	14.6	3.2	13.5
	西部	(209人)	12.4	10.0	22.5	9.1	18.2	18.2	14.4	3.3	9.6
	東部	(205人)	12.7	9.3	18.5	7.3	16.6	18.0	14.6	3.9	10.7

		⑩託児施設の充実	⑪施設のバリアフリー化	⑫駐車場の整備	⑬利用料金の低廉化	⑭施設内容(コンディション等)や機材・器具の充実	⑮その他	⑯特にない	⑰わからない	無回答	
全体		(704人)	6.5	2.4	12.2	16.5	9.9	3.1	11.8	15.1	6.4
性別	男性	(304人)	0.7	3.6	15.5	19.4	12.8	3.0	13.8	12.8	7.6
	女性	(400人)	11.0	1.5	9.8	14.3	7.8	3.3	10.3	16.8	5.5
年代	20歳代	(91人)	18.7	2.2	6.6	17.6	15.4	3.3	4.4	11.0	3.3
	30歳代	(116人)	18.1	0.9	17.2	22.4	12.1	3.4	5.2	13.8	0.0
	40歳代	(89人)	5.6	2.2	13.5	20.2	13.5	3.4	6.7	12.4	2.2
	50歳代	(109人)	1.8	0.9	11.0	21.1	6.4	2.8	7.3	11.9	6.4
	60歳代	(135人)	0.0	3.0	11.9	12.6	8.9	3.7	11.9	20.7	5.9
	70歳代	(164人)	0.6	4.3	12.2	9.8	6.7	2.4	26.2	17.1	15.2
地区	北部	(105人)	4.8	1.9	16.2	18.1	4.8	3.8	13.3	14.3	7.6
	中部	(185人)	7.0	3.2	13.5	17.8	11.9	1.6	11.9	15.7	5.9
	西部	(209人)	5.7	3.3	10.5	14.8	12.0	3.8	13.4	11.0	7.2
	東部	(205人)	7.8	1.0	10.7	16.1	8.8	3.4	9.3	19.0	5.4

問5-1：今後、どのような公共のスポーツ施設を設置・充実して欲しいと思いますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

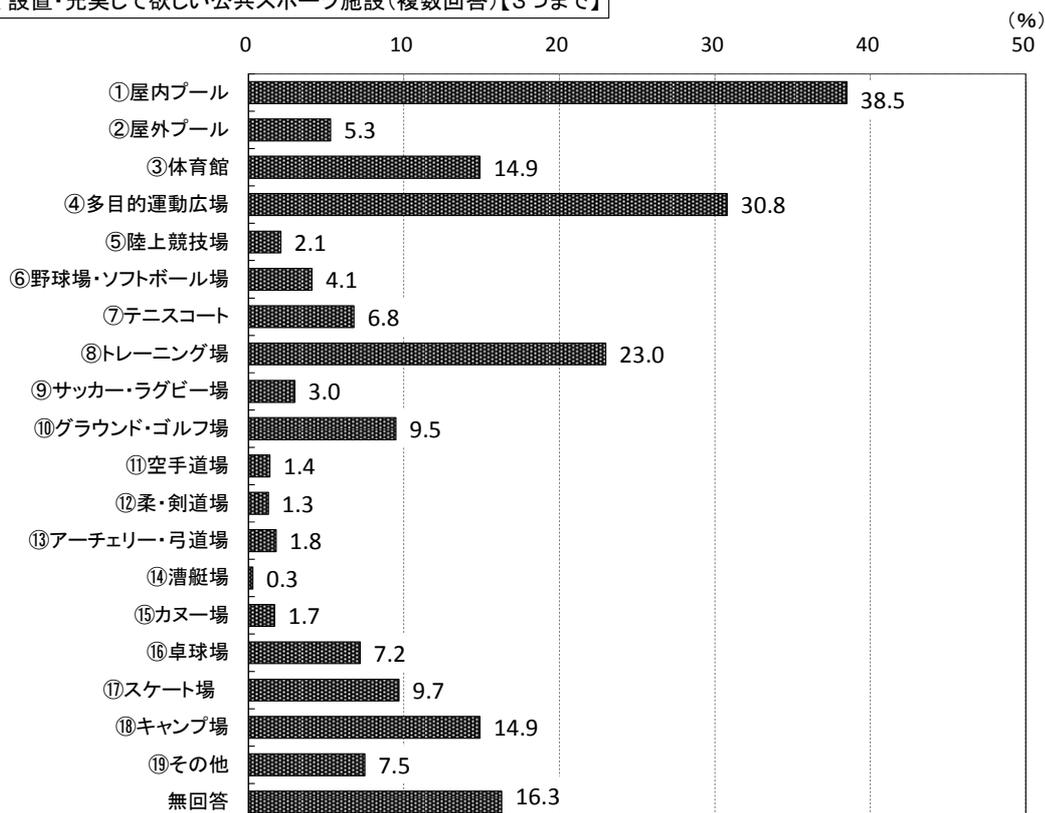
- | | | |
|----------------|------------|----------------|
| 1. 屋内プール | 2. 屋外プール | 3. 体育館 |
| 4. 多目的運動広場 | 5. 陸上競技場 | 6. 野球場・ソフトボール場 |
| 7. テニスコート | 8. トレーニング場 | 9. サッカー・ラグビー場 |
| 10. グラウンド・ゴルフ場 | 11. 空手道場 | 12. 柔・剣道場 |
| 13. アーチェリー・弓道場 | 14. 漕艇場 | 15. カヌー場 |
| 16. 卓球場 | 17. スケート場 | 18. キャンプ場 |
| 19. その他（具体的に | | ） |

設置・充実して欲しい公共スポーツ施設についてみると、「①屋内プール」が4割弱（38.5%）で最も多く、次いで「④多目的運動広場」（30.8%）、「⑧トレーニング場」（23.0%）、「③体育館」（14.9%）、「⑱キャンプ場」（14.9%）などとなっている。「⑲その他」では種目は様々だがスポーツ用の施設や設備を求める意見が多くみられ、また初心者用のスポーツ教室や親子で利用できる設備を求める意見もみられた。

性別でみると、女性は「①屋内プール」の割合が多くみられた。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて「①屋内プール」、「③体育館」、「⑰スケート場」、「⑱キャンプ場」の割合が多くなる傾向がみられる。

問5-1 今後、設置・充実して欲しい公共スポーツ施設(複数回答)【3つまで】



問5-1 今後、設置・充実して欲しい公共スポーツ施設

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		① 屋内 プール	② 屋外 プール	③ 体 育 館	④ 多 目 的 運 動 広 場	⑤ 陸 上 競 技 場	⑥ 野 球 場 ・ ソ フ ト ボ ー ル 場	⑦ テ ニ ス コ ー ト	⑧ ト レ ー ニ ン グ 場	⑨ グ ビ ー サ ッ カ ー ・ ラ	⑩ ゴ ル フ ラ ウ ン ド ・ 場	
全 体	(704人)	38.5	5.3	14.9	30.8	2.1	4.1	6.8	23.0	3.0	9.5	
性 別	男性	(304人)	28.3	5.9	12.5	31.3	2.6	7.2	4.9	25.0	4.3	11.2
	女性	(400人)	46.3	4.8	16.8	30.5	1.8	1.8	8.3	21.5	2.0	8.3
年 代	20歳代	(91人)	46.2	6.6	29.7	31.9	2.2	2.2	9.9	30.8	5.5	5.5
	30歳代	(116人)	50.9	6.9	22.4	34.5	3.4	6.0	9.5	24.1	4.3	1.7
	40歳代	(89人)	46.1	9.0	14.6	27.0	1.1	4.5	11.2	30.3	3.4	4.5
	50歳代	(109人)	43.1	2.8	13.8	28.4	1.8	4.6	8.3	27.5	4.6	8.3
	60歳代	(135人)	33.3	3.7	8.1	38.5	2.2	2.2	4.4	23.0	1.5	14.1
	70歳代	(164人)	22.6	4.3	7.9	25.0	1.8	4.9	1.8	11.0	0.6	17.1
地 区	北部	(105人)	40.0	5.7	15.2	38.1	1.9	1.9	4.8	20.0	1.0	8.6
	中部	(185人)	36.2	4.3	13.5	30.3	3.8	3.8	9.7	24.9	4.9	9.7
	西部	(209人)	41.1	5.3	15.3	30.6	1.0	4.8	3.3	23.9	3.3	12.4
	東部	(205人)	37.1	5.9	15.6	27.8	2.0	4.9	8.8	22.0	2.0	6.8

		⑪ 空 手 道 場	⑫ 柔 ・ 剣 道 場	⑬ リ ー ア ー チ ェ ・ 弓 道 場	⑭ 漕 艇 場	⑮ カ ヌ ー 場	⑯ 卓 球 場	⑰ ス ケ ー ト 場	⑱ キ ャ ン プ 場	⑲ そ の 他	無 回 答	
全 体	(704人)	1.4	1.3	1.8	0.3	1.7	7.2	9.7	14.9	7.5	16.3	
性 別	男性	(304人)	1.6	2.0	2.0	0.3	2.3	6.3	7.6	15.5	7.6	17.4
	女性	(400人)	1.3	0.8	1.8	0.3	1.3	8.0	11.3	14.5	7.5	15.5
年 代	20歳代	(91人)	1.1	0.0	3.3	0.0	3.3	8.8	15.4	13.2	8.8	4.4
	30歳代	(116人)	1.7	0.0	3.4	0.9	0.9	4.3	22.4	21.6	6.9	2.6
	40歳代	(89人)	4.5	3.4	1.1	0.0	3.4	1.1	10.1	19.1	9.0	10.1
	50歳代	(109人)	0.9	1.8	1.8	0.9	1.8	6.4	7.3	17.4	6.4	11.0
	60歳代	(135人)	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	11.9	6.7	14.1	8.1	16.3
	70歳代	(164人)	1.2	0.6	0.0	0.0	1.8	8.5	1.2	7.9	6.7	39.6
地 区	北部	(105人)	0.0	1.0	1.0	0.0	1.9	4.8	6.7	10.5	12.4	16.2
	中部	(185人)	1.6	1.1	3.8	0.5	1.1	8.6	10.3	13.5	5.9	16.8
	西部	(209人)	1.9	1.4	0.5	0.5	0.5	8.6	6.7	13.4	7.7	17.7
	東部	(205人)	1.5	1.5	2.0	0.0	3.4	5.9	13.7	20.0	6.3	14.6

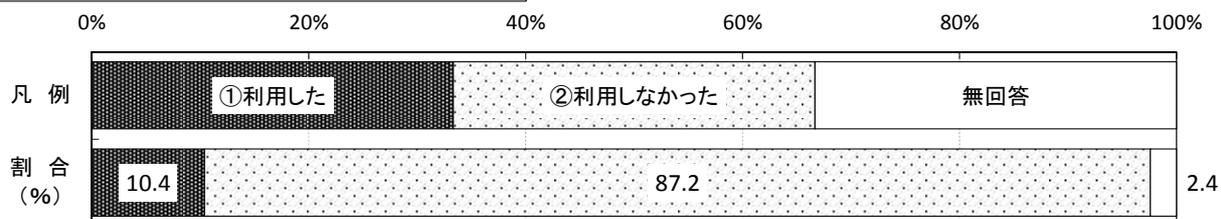
問5-2：この1年間に、市内の学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。ただし、学校主催による運動会への参加は除きます。

1. 利用した → 問5-3へ進んでください。
 2. 利用しなかった → 問5-4へ進んでください。

市内の学校の体育施設の利用状況についてみると、「②利用しなかった」が9割弱（87.2%）、「①利用した」が約1割（10.4%）となっている。

性別でみると、男性の利用が女性より若干多くみられた。

問5-2 この1年間の市内の学校体育施設の利用状況



問5-2 この1年間の市内の学校体育施設の利用状況

(単数回答 単位: %)

			① 利用 した	た② 利用 しな かつ	無 回 答
全体		(704人)	10.4	87.2	2.4
性別	男性	(304人)	14.8	82.9	2.3
	女性	(400人)	7.0	90.5	2.5
年代	20歳代	(91人)	11.0	85.7	3.3
	30歳代	(116人)	14.7	85.3	0.0
	40歳代	(89人)	10.1	89.9	0.0
	50歳代	(109人)	9.2	90.8	0.0
	60歳代	(135人)	5.9	93.3	0.7
	70歳代	(164人)	11.6	80.5	7.9
地区	北部	(105人)	10.5	86.7	2.9
	中部	(185人)	8.1	90.3	1.6
	西部	(209人)	13.4	83.3	3.3
	東部	(205人)	9.3	88.8	2.0

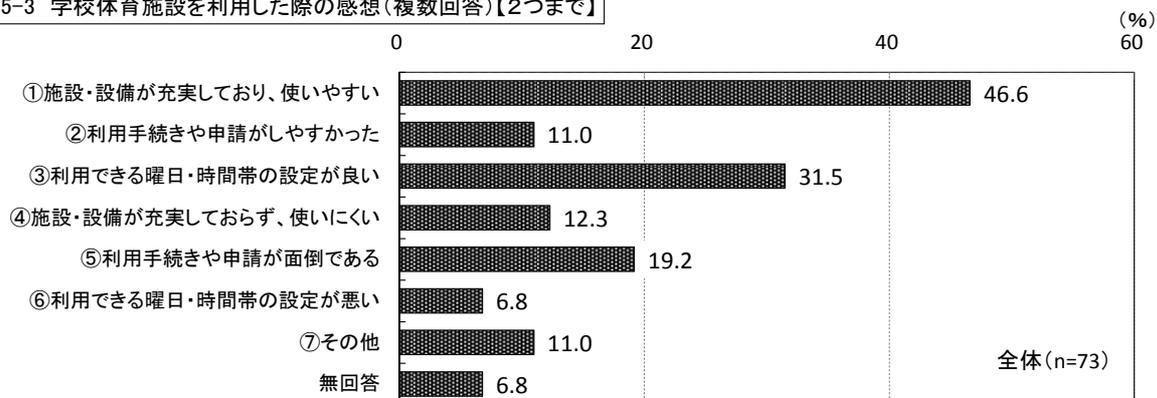
【前問で「1. 利用した」と回答した方におたずねします。】

問5-3：学校体育施設を利用した際の感想をお聞きます。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 施設・設備が充実しており、使いやすい | 2. 利用手続きや申請がしやすかった |
| 3. 利用できる曜日・時間帯の設定が良い | 4. 施設・設備が充実しておらず、使いにくい |
| 5. 利用手続きや申請が面倒である | 6. 利用できる曜日・時間帯の設定が悪い |
| 7. その他（具体的に |) |

学校施設を利用した感想についてみると「①施設・設備が充実しており、使いやすい」が5割弱(46.6%)で最も多く、次いで「③利用できる曜日・時間帯の設定が良い」(31.5%)、「⑤利用手続きや申請が面倒である」(19.2%)、「④施設・設備が充実しておらず、使いにくい」(12.3%)などとなっている。

問5-3 学校体育施設を利用した際の感想(複数回答)【2つまで】



問5-3 学校体育施設を利用した際の感想

(複数回答【2つまで】 単位: %)

		いし① て施 お設 り・ 設 使備 いが や充 す実	が② し利 や用 す手 か続 った や申 請	時③ 間利 帯用 ので 設 定 る が曜 良 い・	くし④ いて施 お設 ら・ ず設 、備 使が い充 に実	が⑤ 面利 倒用 で手 あ続 るき や申 請	時⑥ 間利 帯用 ので 設 定 る が曜 悪 日 い・	⑦ そ の 他	無 回 答
全 体	(73人)	46.6	11.0	31.5	12.3	19.2	6.8	11.0	6.8
性 別	男性 (45人)	48.9	11.1	31.1	13.3	22.2	6.7	13.3	4.4
	女性 (28人)	42.9	10.7	32.1	10.7	14.3	7.1	7.1	10.7

【問5-2で「2. 利用しなかった」と回答した方におたずねします。】

問5-4：あなたが、この1年間に学校の体育施設を運動やスポーツの目的のために利用しなかった理由は何ですか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

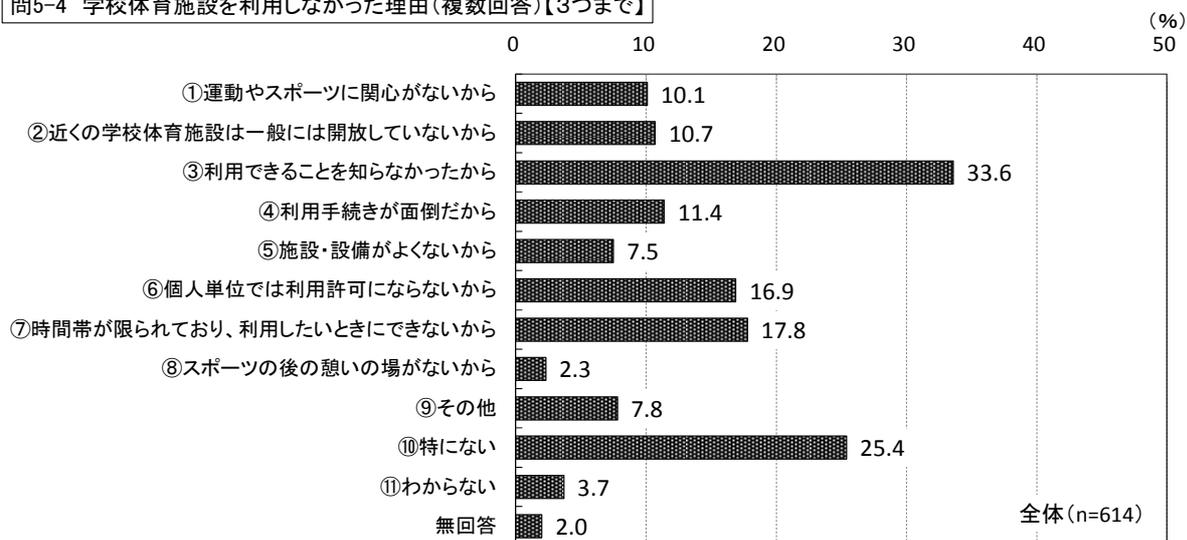
1. 運動やスポーツに関心がないから
2. 近くの学校体育施設は一般には開放していないから
3. 利用できることを知らなかったから
4. 利用手続きが面倒だから
5. 施設・設備がよくないから
6. 個人単位では利用許可にならないから
7. 時間帯が限られており、利用したいときにできないから
8. スポーツの後の憩いの場がないから
9. その他（具体的に)
10. 特にない
11. わからない

学校の体育施設を利用しなかった理由についてみると、「③利用できることを知らなかったから」が最も多く3割強（33.6%）、次いで「⑩特にない」（25.4%）、「⑦時間帯が限られており、利用したいときにできないから」（17.8%）、「⑥個人単位では利用許可にならないから」（16.9%）などとなっている。

年代ごとにみると、30歳代は他の年代に比べ「⑦時間帯が限られており、利用したいときにできないから」の割合が多くみられた。

地区ごとにみると、北部では「②近くの学校体育施設は開放していないから」の割合が他の地区に比べて多くみられた。

問5-4 学校体育施設を利用しなかった理由（複数回答）【3つまで】



問5-4 学校体育施設を利用しなかった理由

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		① 関 心 が な い か ら	② 設 置 は 一 般 に は 開 放 施 施	③ 知 ら な か っ た か ら	④ 利 用 手 続 き が 面 倒	⑤ な い か ら 施 設 ・ 設 備 が よ く	⑥ 許 可 に 人 単 位 で は 利 用	⑦ お り 時 間 帯 が 限 ら れ た か ら	⑧ い の ス ポ ー ツ の 後 の 憩	⑨ そ の 他	⑩ 特 に な い	⑪ わ か ら な い	無 回 答
全 体 (614人)		10.1	10.7	33.6	11.4	7.5	16.9	17.8	2.3	7.8	25.4	3.7	2.0
性 別	男性 (252人)	9.9	13.9	30.6	15.9	8.7	15.9	18.3	3.6	8.3	26.2	3.2	1.6
	女性 (362人)	10.2	8.6	35.6	8.3	6.6	17.7	17.4	1.4	7.5	24.9	4.1	2.2
年 代	20歳代 (78人)	14.1	10.3	34.6	14.1	9.0	17.9	12.8	1.3	7.7	23.1	3.8	1.3
	30歳代 (99人)	3.0	10.1	43.4	11.1	9.1	22.2	26.3	2.0	7.1	23.2	1.0	0.0
	40歳代 (80人)	11.3	6.3	30.0	16.3	11.3	22.5	16.3	1.3	12.5	20.0	3.8	0.0
	50歳代 (99人)	11.1	10.1	39.4	16.2	12.1	20.2	20.2	2.0	4.0	23.2	1.0	0.0
	60歳代 (126人)	6.3	13.5	34.9	7.9	4.0	15.1	21.4	2.4	11.1	26.2	6.3	2.4
	70歳代 (132人)	15.2	12.1	22.0	6.8	3.0	8.3	9.8	3.8	5.3	32.6	5.3	6.1
地 区	北部 (91人)	9.9	18.7	30.8	8.8	3.3	15.4	11.0	3.3	15.4	22.0	3.3	3.3
	中部 (167人)	9.6	9.6	32.3	11.4	3.6	17.4	20.4	1.8	6.0	28.7	4.8	2.4
	西部 (174人)	9.8	8.0	34.5	16.7	13.2	19.0	20.7	2.9	5.7	22.4	5.2	2.3
	東部 (182人)	11.0	10.4	35.2	7.7	7.7	15.4	15.9	1.6	7.7	26.9	1.6	0.5

<スポーツクラブ等への入会状況と今後の意向について>

【すべての方におたずねします。】

問6：あなたは、運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。

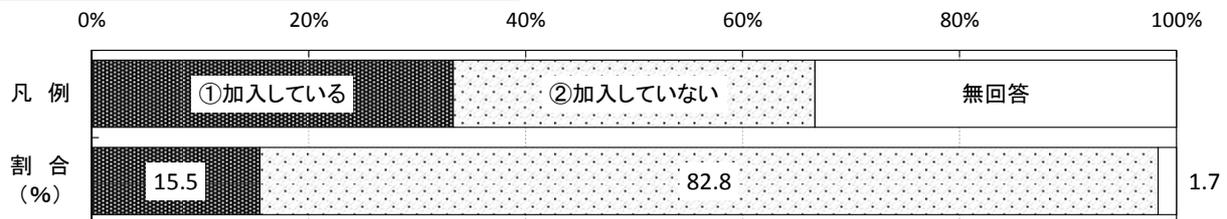
1. 加入している → 問6-1へ進んでください。
 2. 加入していない → 問6-4へ進んでください。

運動やスポーツのクラブや同好会への加入状況についてみると、「②加入していない」が8割強(82.8%)、「①加入している」が2割弱(15.5%)となっている。

年代ごとにみると、70歳代は他の年代に比べ「①加入している」の割合が多くみられた。

平成24年度県調査と比較すると、「①加入している」の割合が県では2割弱(18.0%)となっており、ほぼ同じ結果となった。

問6 運動やスポーツのクラブや同好会への加入状況



問6 運動やスポーツのクラブや同好会への加入状況

(単数回答 単位: %)

		① 加入 してい る	い② 加入 してい ない	無 回 答	
全 体		(704人)	15.5	82.8	1.7
性 別	男性	(304人)	19.4	78.6	2.0
	女性	(400人)	12.5	86.0	1.5
年 代	20歳代	(91人)	14.3	85.7	0.0
	30歳代	(116人)	12.9	86.2	0.9
	40歳代	(89人)	14.6	84.3	1.1
	50歳代	(109人)	11.0	87.2	1.8
	60歳代	(135人)	13.3	85.9	0.7
	70歳代	(164人)	23.2	72.6	4.3
地 区	北部	(105人)	18.1	80.0	1.9
	中部	(185人)	12.4	85.4	2.2
	西部	(209人)	19.1	79.9	1.0
	東部	(205人)	13.2	84.9	2.0

【前問で「1. 加入している」と回答した方におたずねします。】

問6-1：あなたが加入しているクラブや同好会は、どのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場のクラブや同好会
2. 学校のクラブや同好会
3. おおむね県内の人を対象とした地域クラブや同好会
4. おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会
5. 多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ (注)
6. 民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ
7. その他 (具体的に)
8. わからない

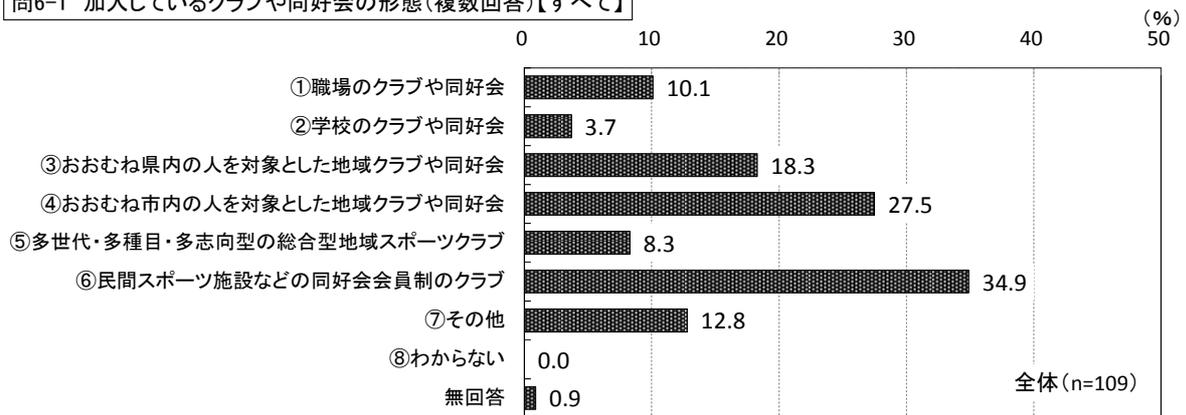
加入しているクラブや同好会の種類についてみると、「⑥民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ」が3割強(34.9%)で最も多く、次いで「④おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会」(27.5%)、「③おおむね県内の人を対象とした地域クラブや同好会」(18.3%)などとなっている。「⑦その他」では個人で経営しているクラブなどの回答がみられた。

性別でみると、男性は「③おおむね県内の人を対象とした地域クラブや同好会」の割合が女性より多くみられ、女性は「⑥民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、20歳代では学生の回答者がいたためか、他の年代ではみられなかった「②学校のクラブや同好会」の割合が3割ほどみられた。また、30歳代は他の年代に比べ「①職場のクラブや同好会」が多くみられ、60歳代以上は他の年代に比べ「④おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会」の割合が多くみられた。

地区ごとにみると、中部や東部は他の地区に比べ「④おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会」の割合が多くみられ、中部と西部は他の地区に比べ「⑥民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ」の割合が多くみられた。

問6-1 加入しているクラブや同好会の形態(複数回答)【すべて】



問6-1 加入しているクラブや同好会の形態

(複数回答【すべて】 単位: %)

		好① 会 職 場 の ク ラ ブ や 同	好② 会 学 校 の ク ラ ブ や 同	ラを③ ブ対お や象お 同とむ 好しね 会た県 地内 域の ク人	ラを④ ブ対お や象お 同とむ 好しね 会た市 地内 域の ク人	域多⑤ ス志多 ポ向世 ー型代 ツの・ ク多 ラ合種 ブ型目 地・	のな⑥ クど民 ラの間 ブ同ス 好ポ 会ー 員ツ 制施 設	⑦ そ の 他	⑧ わ か ら な い	無 回 答	
全 体		(109人)	10.1	3.7	18.3	27.5	8.3	34.9	12.8	0.0	0.9
性 別	男性	(59人)	11.9	5.1	27.1	30.5	8.5	22.0	11.9	0.0	0.0
	女性	(50人)	8.0	2.0	8.0	24.0	8.0	50.0	14.0	0.0	2.0
年 代	20歳代	(13人)	15.4	30.8	15.4	7.7	7.7	30.8	15.4	0.0	0.0
	30歳代	(15人)	40.0	0.0	20.0	6.7	6.7	20.0	13.3	0.0	0.0
	40歳代	(13人)	7.7	0.0	30.8	23.1	0.0	38.5	7.7	0.0	0.0
	50歳代	(12人)	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0	25.0	33.3	0.0	0.0
	60歳代	(18人)	5.6	0.0	16.7	38.9	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0
	70歳代	(38人)	0.0	0.0	13.2	44.7	10.5	44.7	5.3	0.0	2.6
地 区	北部	(19人)	15.8	5.3	10.5	21.1	5.3	21.1	21.1	0.0	5.3
	中部	(23人)	0.0	4.3	21.7	43.5	4.3	39.1	4.3	0.0	0.0
	西部	(40人)	7.5	2.5	20.0	15.0	12.5	45.0	12.5	0.0	0.0
	東部	(27人)	18.5	3.7	18.5	37.0	7.4	25.9	14.8	0.0	0.0

問6-2：あなたが加入しているクラブや同好会が行うスポーツ（種目）は何ですか。複数加入している場合は、すべてお答え下さい。

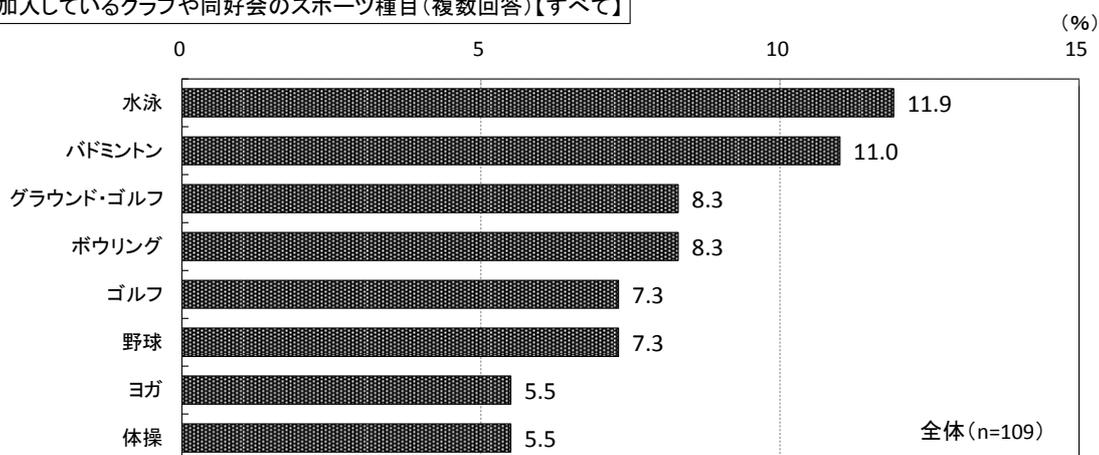
種目：（ ）

加入しているクラブや同好会のスポーツ種目上位8位をみると、「水泳」が1割強（11.9%）で最も多く、次いで「バドミントン」（11.0%）、「グラウンド・ゴルフ」「ボウリング」（8.3%）などとなっている。

性別でみると男性は「グラウンド・ゴルフ」や「ボウリング」、「バスケットボール」など娯楽性があり運動量の多い種目が入っており、女性は「ヨガ」や「エアロビクス」、「ダンスなど」、健康や美容効果や生涯学習的な要素のある種目が入っている。

年代ごとにみると、30歳代から50歳代は上位に入っている種目の数が多く、20歳代では逆に種目の数が少ない。また30歳代は他の年代に比べ、野球の割合が多い。

問6-2 加入しているクラブや同好会のスポーツ種目（複数回答）【すべて】



問6-2 加入しているクラブや同好会のスポーツ種目

(複数回答【すべて】 単位：%)

単位：%		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
全体 (n=109)		水泳 11.9	バドミントン 11.0	グラウンド・ゴルフ、ボウリング 8.3		ゴルフ(ゴルフ練習含む)、野球 7.3		体操(ラジオ体操含む)、ヨガ 5.5	
F1 性別	男性 (n=59)	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、野球 13.6		グラウンド・ゴルフ、バドミントン 11.9		ボウリング 10.2	バスケットボール 8.5	水泳、ソフトボール、テニス、マシントレーニング 5.1	
	女性 (n=50)	水泳 20.0	ヨガ 12.0	体操(ラジオ体操含む)、バドミントン 10.0		エアロビクス 8.0	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、ボウリング 6.0		グラウンド・ゴルフ他 4.0
F2 年代	20歳代 (n=13)	バドミントン 23.1	サッカー・フットサル、水泳、バレーボール 15.4			卓球、野球 7.7		—	—
	30歳代 (n=15)	野球 26.7	バスケットボール、バドミントン 20.0		ジョギング・ランニング、スキー・ハイク・登山、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、バレーボール、ヨガ 6.7				
	40歳代 (n=13)	テニス 23.1	マシントレーニング 15.4	エアロビクス、ゴルフ(ゴルフ練習含む)、水泳、スキー・ハイク・登山、ソフトボール、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、バスケットボール、バドミントン、モータースポーツ、野球 7.7					
	50歳代 (n=12)	ボウリング 25.0	水泳 16.7	サッカー・フットサル、ジョギング・ランニング、体操(ラジオ体操含む)、釣り、バスケットボール、バドミントン、マシントレーニング、野球、ヨガ 8.3					
	60歳代 (n=18)	バドミントン 22.2	水泳、ヨガ 16.7		エアロビクス、ゴルフ(ゴルフ練習含む)、ジョギング・ランニング、卓球 11.1			ゲートボール、体操、ダンス 5.6	
	70歳代 (n=38)	グラウンド・ゴルフ 23.7	ボウリング 15.8	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、水泳 13.2		体操(ラジオ体操含む) 10.5	散歩・ウォーキング 7.9	ソフトボール、マシントレーニング 5.3	
F3 地区	北部 (n=19)	水泳、バドミントン 15.8		グラウンド・ゴルフ、バスケットボール、バレーボール、マシントレーニング 10.5			エアロビクス、ジョギング・ランニング、ソフトボール、卓球、野球 他 5.3		
	中部 (n=23)	グラウンド・ゴルフ 17.4	バドミントン、ボウリング 13.0		ヨガ 8.7	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、サッカー・フットサル、ジョギング・ランニング、体操、ダンス、テニス、ボクシング、野球 4.3			
	西部 (n=40)	水泳 17.5	ボウリング 12.5	ゴルフ(ゴルフ練習含む)、散歩・ウォーキング、バスケットボール、マシントレーニング、野球 7.5			エアロビクス、体操、ヨガ 他 5.0		
	東部 (n=27)	バドミントン 18.5	ゴルフ(ゴルフ練習含む) 14.8	水泳、体操(ラジオ体操含む)、野球 11.1			サッカー・フットサル、ジョギング・ランニング、ダンス、テニス、ヨガ 7.4		

問6-3：あなたが、そのクラブや同好会に加入した動機や目的は何ですか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

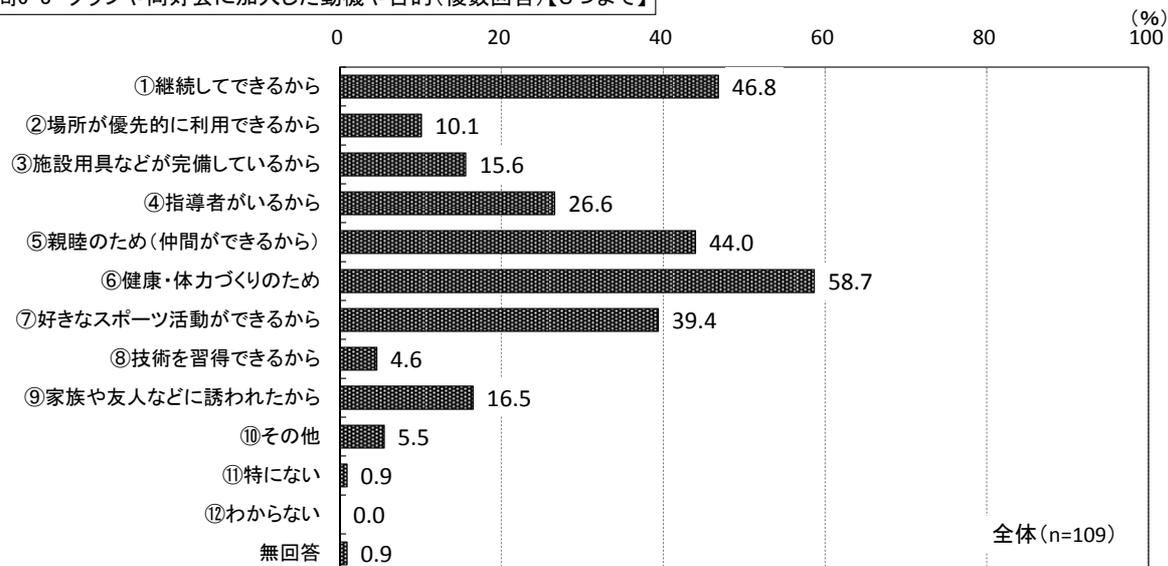
- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 継続してできるから | 2. 場所が優先的に利用できるから |
| 3. 施設用具などが完備しているから | 4. 指導者がいるから |
| 5. 親睦のため（仲間ができるから） | 6. 健康・体力づくりのため |
| 7. 好きなスポーツ活動ができるから | 8. 技術を習得できるから |
| 9. 家族や友人などに誘われたから | |
| 10. その他（具体的に |) |
| 11. 特にない | 12. わからない |

クラブや同好会に加入した動機や目的についてみると、「⑥健康・体力づくりのため」が6割弱(58.7%)で最も多く、次いで「①継続してできるから」(46.8%)、「⑤親睦のため(仲間ができるから)」(44.0%)、「⑦好きなスポーツ活動ができるから」(39.4%)などとなっている。

性別でみると、男性では「⑦好きなスポーツ活動ができるから」や「③施設用具などが完備しているから」、「⑤親睦のため(仲間ができるから)」の割合が女性より多くみられ、女性では「④指導者がいるから」や「⑥健康・体力づくりのため」の割合が男性より多くみられた。男性では好きなスポーツをすること自体や、そのことによる親睦を重視しているのに対して、女性は健康や美容等のためにこれまで体験したことのないスポーツを行うなど、生涯学習的な姿勢による動機が大きい事がうかがえる。

年代ごとにみると、年齢層が高くなるにつれて「①継続してできるから」の割合が多くなっていく傾向がみられた。また20歳代と30歳代では「⑨家族や友人などに誘われたから」の割合が多くみられ、40歳代では「⑧技術を習得できるから」の割合が多くみられた。

問6-3 クラブや同好会に加入した動機や目的(複数回答)【3つまで】



問6-3 クラブや同好会に加入した動機や目的

(複数回答【3つまで】 単位：%)

		① 継続して できるか	② 用場が 優先的に 利用できる	③ 施設 設備など が完備	④ 指導者 がいる	⑤ 親睦の ため (仲間 が)	⑥ 健康・ 体力づ くり	⑦ 好きな スポーツ 活動	⑧ 技術を 習得で きる	⑨ 家族や 友人に 誘われ たから	⑩ その他	⑪ 特にな い	⑫ わか らない	無 回 答
全体	(109人)	46.8	10.1	15.6	26.6	44.0	58.7	39.4	4.6	16.5	5.5	0.9	0.0	0.9
性別	男性 (59人)	42.4	10.2	20.3	6.8	54.2	54.2	54.2	6.8	20.3	5.1	0.0	0.0	0.0
	女性 (50人)	52.0	10.0	10.0	50.0	32.0	64.0	22.0	2.0	12.0	6.0	2.0	0.0	2.0
年代	20歳代 (13人)	23.1	0.0	7.7	30.8	38.5	69.2	53.8	7.7	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (15人)	20.0	0.0	6.7	26.7	53.3	53.3	60.0	6.7	33.3	20.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 (13人)	38.5	0.0	23.1	23.1	23.1	53.8	61.5	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代 (12人)	58.3	8.3	25.0	8.3	33.3	58.3	41.7	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
	60歳代 (18人)	61.1	22.2	27.8	33.3	50.0	44.4	38.9	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代 (38人)	57.9	15.8	10.5	28.9	50.0	65.8	18.4	0.0	15.8	2.6	0.0	0.0	2.6
地区	北部 (19人)	42.1	5.3	15.8	21.1	52.6	63.2	36.8	5.3	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3
	中部 (23人)	52.2	13.0	17.4	17.4	47.8	69.6	30.4	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	西部 (40人)	47.5	12.5	20.0	35.0	30.0	52.5	40.0	7.5	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	東部 (27人)	44.4	7.4	7.4	25.9	55.6	55.6	48.1	3.7	7.4	7.4	0.0	0.0	0.0

【問6で「2. 加入していない」と回答した方におたずねします。】

問6-4：あなたは、好きな運動やスポーツのクラブ、同好会があれば、加入したいと思いますか。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 加入したい | → 問6-5へ進んでください。 |
| 2. 加入したくない | → 問7へ進んでください。 |
| 3. わからない | → 問7へ進んでください。 |

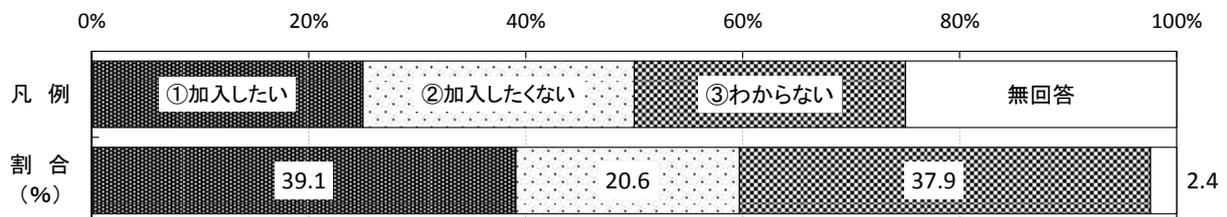
好きな運動やスポーツのクラブ、同好会への加入意向についてみると、「①加入したい」が約4割(39.1%)、「②加入したくない」が約2割(20.6%)となっている。

性別でみると、女性は「①加入したい」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、70歳代は他の年代に比べ「①加入したい」の割合が少ない。

平成24年度県調査と比較すると、県では「①加入したい」の割合が約4割(39.5%)、「②加入したくない」の割合が2割強(23.3%)となっており、ほぼ同じ結果となった。

問6-4 運動やスポーツのクラブや同好会への今後の加入意向



問6-4 運動やスポーツのクラブや同好会への今後の加入意向

(単数回答 単位: %)

		① 加入 したい	い② 加入 した く な	③ わ か ら な い	無 回 答	
全 体		(583人)	39.1	20.6	37.9	2.4
性 別	男性	(239人)	32.6	26.8	37.7	2.9
	女性	(344人)	43.6	16.3	38.1	2.0
年 代	20歳代	(78人)	39.7	21.8	37.2	1.3
	30歳代	(100人)	48.0	11.0	40.0	1.0
	40歳代	(75人)	41.3	21.3	37.3	0.0
	50歳代	(95人)	48.4	13.7	36.8	1.1
	60歳代	(116人)	43.1	18.1	38.8	0.0
	70歳代	(119人)	18.5	35.3	37.0	9.2
地 区	北部	(84人)	41.7	26.2	31.0	1.2
	中部	(158人)	43.0	16.5	38.6	1.9
	西部	(167人)	36.5	22.2	37.7	3.6
	東部	(174人)	36.8	20.1	40.8	2.3

【前問で「1. 加入したい」と回答した方におたずねします。】

問6-5： あなたが加入したいクラブや同好会とは、どのようなものですか。主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 職場のクラブや同好会
2. 学校のクラブや同好会
3. おおむね県内の人を対象とした地域クラブや同好会
4. おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会
5. 多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ
6. 民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ
7. その他（具体的に)
8. わからない

加入したいクラブや同好会についてみると、「④おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会」が約5割（50.4%）で最も多く、次いで「⑤多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ」（44.3%）、「⑥民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ」（21.1%）、「③おおむね県内の人を対象とした地域クラブや同好会」（19.3%）などとなっている。

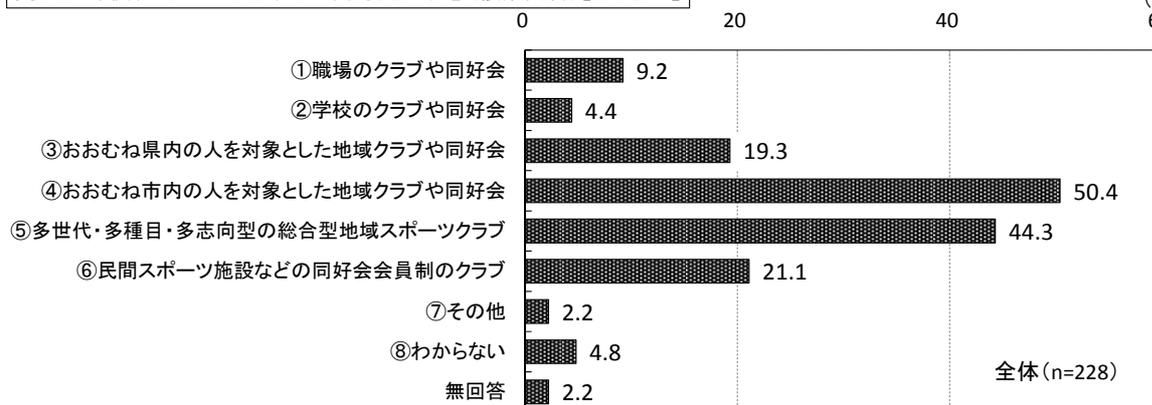
性別でみると、女性は「⑤多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて『職場や学校のクラブや同好会』（「①職場のクラブや同好会」と「②学校のクラブや同好会」の合計）の割合が多くなる傾向がみられる。

また、問6-1の現在加入しているクラブの結果と比較すると、「④おおむね市内の人を対象とした地域クラブや同好会」や「⑤多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ」は加入している人の割合よりも加入を希望する人の割合が多く、逆に「⑥民間スポーツ施設などの同好会会員制のクラブ」は加入している人の割合よりも希望する人の割合が少なくなっている。

問6-5 今後、加入したいクラブや同好会の形態(複数回答)【2つまで】

(%)



問6-5 今後、加入したいクラブや同好会の形態

(複数回答【2つまで】 単位: %)

		好① 会職 場の ク ラ ブ や 同	好② 会学 校の ク ラ ブ や 同	ラを③ 対お や象 同と 好む した 会ね 地県 域内 のの ク人	ラを④ 対お や象 同と 好む した 会ね 地市 域内 のの ク人	域多⑤ ス志 ポ向 ー世 ツの ク総 ラ合 ブ型 目・ 地・	のな⑥ クど ラの 民間 の同 間ス 好ポ 会ー 会ツ 員施 制設	⑦ そ の 他	⑧ わ か ら な い	無 回 答	
全 体		(228人)	9.2	4.4	19.3	50.4	44.3	21.1	2.2	4.8	2.2
性 別	男性	(78人)	15.4	5.1	20.5	55.1	37.2	26.9	0.0	2.6	0.0
	女性	(150人)	6.0	4.0	18.7	48.0	48.0	18.0	3.3	6.0	3.3
年 代	20歳代	(31人)	22.6	9.7	16.1	48.4	25.8	22.6	3.2	6.5	0.0
	30歳代	(48人)	12.5	6.3	27.1	33.3	45.8	18.8	2.1	6.3	2.1
	40歳代	(31人)	9.7	6.5	22.6	48.4	58.1	12.9	0.0	6.5	0.0
	50歳代	(46人)	4.3	4.3	19.6	58.7	50.0	32.6	0.0	2.2	0.0
	60歳代	(50人)	6.0	0.0	16.0	58.0	50.0	18.0	4.0	2.0	2.0
	70歳代	(22人)	0.0	0.0	9.1	59.1	22.7	18.2	4.5	9.1	13.6
地 区	北部	(35人)	14.3	8.6	11.4	48.6	42.9	17.1	5.7	5.7	0.0
	中部	(68人)	10.3	1.5	20.6	58.8	38.2	20.6	0.0	2.9	2.9
	西部	(61人)	6.6	1.6	21.3	50.8	49.2	19.7	4.9	6.6	0.0
	東部	(64人)	7.8	7.8	20.3	42.2	46.9	25.0	0.0	4.7	4.7

問6-6：あなたが加入したいクラブや同好会で行いたいスポーツ（種目）は何ですか。

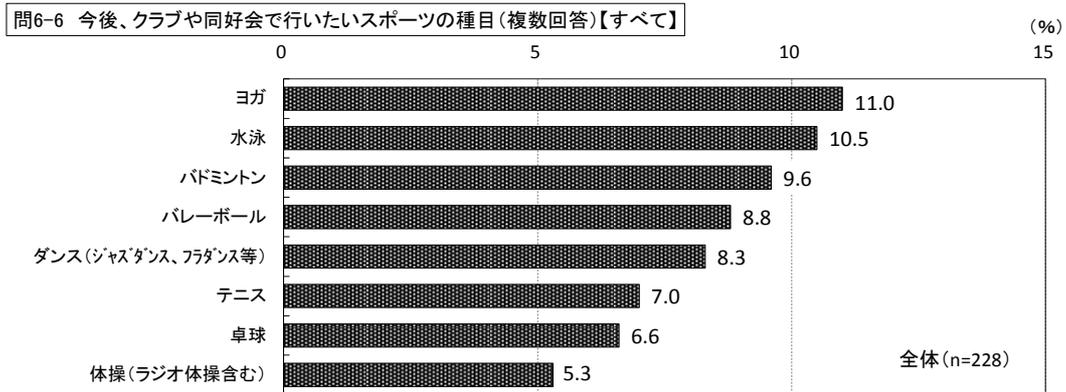
種目：（ ）

加入したいクラブや同好会のスポーツの種目上位8位をみると、「ヨガ」が1割強（11.0%）で最も多く、次いで「水泳」（10.5%）、「バドミントン」（9.6%）、「バレーボール」（8.8%）、「ダンス（ジャズダンス、フラダンス等）」（8.3%）などとなっている。

性別でみると、男性は「バスケットボール」や「サッカー・フットサル」、「野球」などの種目が入っており、女性は「ダンス（ジャズダンス、フラダンス等）」や「バレーボール」、「体操（ラジオ体操含む）」などの種目が入っている。

年代ごとにみると20歳代は他の年代に比べ「バレーボール」の割合が多くみられた。

地区ごとにみると、北部では他の地区に比べて「バドミントン」の割合が多くみられた。



問6-6 今後、クラブや同好会で行いたいスポーツ種目 (複数回答【すべて】 単位: %)

単位: %		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	
全体 (n=228)		ヨガ 11.0	水泳 10.5	バドミントン 9.6	バレーボール 8.8	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 8.3	テニス 7.0	卓球 6.6	体操(ラジオ体操含む) 5.3	
F1 性別	男性 (n=78)	バドミントン 11.5	バスケットボール 10.3	水泳 9.0	サッカー・フットサル、卓球、野球 7.7			テニス 6.4	散歩・ウォーキング、ソフトボール 5.1	
	女性 (n=150)	ヨガ 15.3	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 12.7	水泳 11.3	バレーボール 11.3	バドミントン 8.7	体操(ラジオ体操含む) 8.0	テニス 7.3	卓球 6.0	
F2 年代	20歳代 (n=31)	バレーボール 25.8	テニス、バスケットボール、バドミントン、ヨガ 16.1				ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 9.7	サッカー・フットサル、陸上競技 6.5		
	30歳代 (n=48)	バドミントン 18.8	水泳、バレーボール 12.5		ヨガ 10.4	サッカー・フットサル、卓球、テニス 8.3			ゴルフ、ダンス、野球 6.3	
	40歳代 (n=31)	バドミントン、ヨガ 16.1		水泳 12.9	テニス 9.7	ソフトボール、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、バスケットボール、バレーボール 6.5				
	50歳代 (n=46)	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 17.4	水泳、ヨガ 10.9		体操(ラジオ体操含む) 8.7	散歩・ウォーキング、テニス、ボウリング 6.5			ソフトテニス、卓球、釣り、登山 4.3	
	60歳代 (n=50)	散歩・ウォーキング 14.0	水泳 12.0	卓球 10.0	太極拳、バドミントン、ボウリング、ヨガ 6.0				ジョギング・ランニング、ダンス 他 4.0	
	70歳代 (n=22)	グラウンド・ゴルフ、体操(ラジオ体操含む)、卓球 13.6			ジョギング・ランニング、水泳、ヨガ 9.1			剣道、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、バレーボール、ボウリング 4.5		
F3 地区	北部 (n=35)	バドミントン 20.0	ヨガ 11.4	ソフトボール、卓球、テニス、バレーボール 8.6				グラウンド・ゴルフ、ジョギング・ランニング、水泳、体操、野球 5.7		
	中部 (n=68)	水泳 14.7	テニス、ヨガ 13.2		卓球 10.3	散歩・ウォーキング、ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、バドミントン 8.8			ジョギング・ランニング、体操 他 7.4	
	西部 (n=61)	バスケットボール、バレーボール 11.5		水泳、バドミントン 8.2		ダンス(ジャズダンス、フラダンス等)、卓球、ボウリング 6.6			ソフトテニス、ヨガ 4.9	
	東部 (n=64)	ヨガ 14.1	ダンス(ジャズダンス、フラダンス等) 12.5	水泳 10.9	バレーボール 7.8	バドミントン 6.3	散歩・ウォーキング、体操(ラジオ体操含む)、テニス 4.7			

【すべての方におたずねします。】

問7：あなたは地域住民が主体となって運営する多世代・多種目・多志向型のスポーツクラブである「総合型地域スポーツクラブ」について知っていましたか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

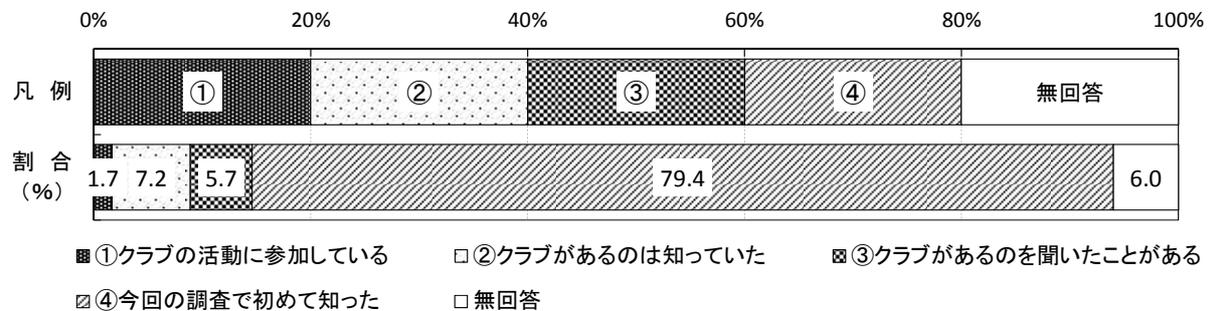
(注) 総合型地域スポーツクラブについては、問6-1の注釈参照。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. クラブの活動に参加している | 2. クラブがあるのは知っていた |
| 3. クラブがあるのを聞いたことがある | 4. 今回の調査で初めて知った |

総合型地域スポーツクラブの認知度についてみると、「④今回の調査で初めて知った」が約8割(79.4%)で最も多く、次いで「②クラブがあるのは知っていた」(7.2%)、「③クラブがあるのを聞いたことがある」(5.7%)、「①クラブの活動に参加している」(1.7%)となっている。

平成24年度県調査と比較すると、県では「④今回の調査で初めて知った」の割合が9割弱(86.0%)となっており、「④今回の調査で初めて知った」の割合は本市の方が少ない。

問7 総合型地域スポーツクラブの認知度



問7 総合型地域スポーツクラブの認知度

(単数回答 単位: %)

		に① 参 加 し て の 活 動	の② は ク ラ ブ が あ る の を 知 っ た	が③ あ る の を 聞 い た こ と が あ る	初④ め 今 回 の 調 査 で 知 っ た	無 回 答	
全体		(704人)	1.7	7.2	5.7	79.4	6.0
性別	男性	(304人)	2.0	8.2	5.6	79.3	4.9
	女性	(400人)	1.5	6.5	5.8	79.5	6.8
年代	20歳代	(91人)	1.1	7.7	4.4	84.6	2.2
	30歳代	(116人)	0.9	4.3	3.4	89.7	1.7
	40歳代	(89人)	0.0	3.4	1.1	94.4	1.1
	50歳代	(109人)	0.0	9.2	6.4	83.5	0.9
	60歳代	(135人)	0.7	5.9	5.2	82.2	5.9
	70歳代	(164人)	5.5	11.0	10.4	56.1	17.1
地区	北部	(105人)	2.9	8.6	5.7	77.1	5.7
	中部	(185人)	2.2	5.9	7.0	79.5	5.4
	西部	(209人)	1.9	6.2	4.8	79.4	7.7
	東部	(205人)	0.5	8.8	5.4	80.5	4.9

<スポーツ教室やスポーツイベントへの参加状況と今後の意向について>

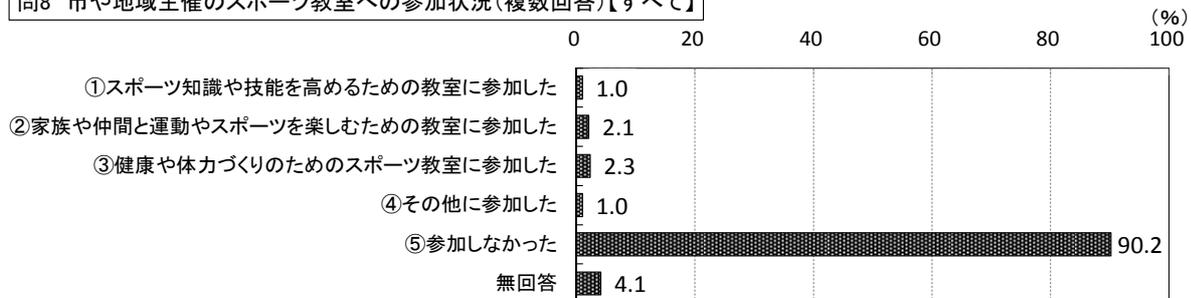
【すべての方におたずねします。】

問8：あなたは、この1年間に沖縄市または地域スポーツクラブが主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した
2. 家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した
3. 健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した
4. その他（ ）に参加した
5. 参加しなかった

沖縄市または地域スポーツクラブの主催するスポーツ教室への参加状況についてみると、「⑤参加しなかった」が約9割（90.2%）で最も多く、次いで「③健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加した」（2.3%）、「②家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加した」（2.1%）、「①スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加した」（1.0%）となっている。

問8 市や地域主催のスポーツ教室への参加状況(複数回答)【すべて】



問8 市や地域主催のスポーツ教室への参加状況 (複数回答【すべて】 単位: %)

		参加高めた スポーツ知識や 技能	家族や仲間と 楽しむための 教室	健康や体力 づくりのための 教室	その他に 参加した	参加し なかった	無 回 答
全体		(704人) 1.0	2.1	2.3	1.0	90.2	4.1
性別	男性	(304人) 2.0	1.6	2.6	0.7	89.1	4.9
	女性	(400人) 0.3	2.5	2.0	1.3	91.0	3.5
年代	20歳代	(91人) 3.3	1.1	1.1	1.1	93.4	1.1
	30歳代	(116人) 0.0	4.3	0.9	0.9	94.8	0.0
	40歳代	(89人) 0.0	1.1	2.2	1.1	95.5	0.0
	50歳代	(109人) 1.8	0.9	2.8	0.0	93.6	0.9
	60歳代	(135人) 0.7	0.7	4.4	1.5	91.9	2.2
	70歳代	(164人) 0.6	3.7	1.8	1.2	78.7	14.6
地区	北部	(105人) 1.0	1.9	1.9	1.0	90.5	5.7
	中部	(185人) 1.1	2.2	2.7	1.1	89.7	4.3
	西部	(209人) 1.0	2.4	3.8	0.5	89.5	3.3
	東部	(205人) 1.0	2.0	0.5	1.5	91.2	3.9

問 8-1：あなたは、今後、沖縄市または地域スポーツクラブが主催するスポーツ教室に参加したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

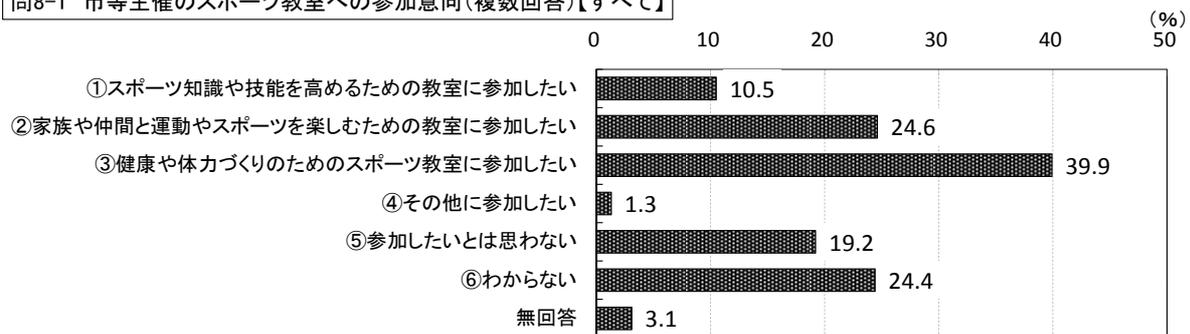
1. スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加したい
2. 家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加したい
3. 健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加したい
4. その他()に参加したい
5. 参加したいとは思わない
6. わからない

市や地域スポーツクラブのスポーツ教室への参加意向についてみると、「③健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加したい」が約4割(39.9%)で最も多く、次いで「②家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加したい」(24.6%)、「⑥わからない」(24.4%)、「⑤参加したいとは思わない」(19.2%)、「①スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加したい」(10.5%)などとなっている。

性別でみると、女性は「②家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加したい」や「③健康や体力づくりのためのスポーツ教室に参加したい」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、20歳代は他の年代に比べ「①スポーツ知識や技能を高めるための教室に参加したい」の割合が多くみられた。また、20歳代と30歳代は他の年代に比べ「②家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室に参加したい」の割合が多くみられた。

問8-1 市等主催のスポーツ教室への参加意向(複数回答)【すべて】



問8-1 市等主催のスポーツ教室への参加意向

(複数回答【すべて】 単位: %)

		参を① 加高ス しめポ たる いた め知 の識 教や 室技 に能	のス② 教室 にツ や参 加仲 間と しし たむ いた 動め	参た③ 加め健 しの康 たスや いポ体 カ ツづ 教く 室り にの	④ その 他に 参加 した い	な⑤ い参 加し たい と思 わ	⑥ わか らな い	無 回 答	
全体		(704人)	10.5	24.6	39.9	1.3	19.2	24.4	3.1
性別	男性	(304人)	11.8	17.1	31.6	0.3	24.0	29.3	3.6
	女性	(400人)	9.5	30.3	46.3	2.0	15.5	20.8	2.8
年代	20歳代	(91人)	20.9	30.8	36.3	2.2	19.8	20.9	0.0
	30歳代	(116人)	8.6	44.0	41.4	0.9	8.6	28.4	0.0
	40歳代	(89人)	7.9	24.7	38.2	2.2	12.4	34.8	1.1
	50歳代	(109人)	15.6	24.8	46.8	0.0	18.3	25.7	0.9
	60歳代	(135人)	11.1	17.0	44.4	2.2	21.5	22.2	2.2
	70歳代	(164人)	3.7	13.4	33.5	0.6	28.7	18.9	10.4
地区	北部	(105人)	12.4	25.7	36.2	2.9	18.1	26.7	5.7
	中部	(185人)	8.1	25.9	42.7	0.0	17.3	24.3	2.7
	西部	(209人)	12.4	22.0	39.2	0.0	19.1	22.5	3.3
	東部	(205人)	9.8	25.4	40.0	2.9	21.5	25.4	2.0

問9：あなたは、この1年間に沖縄市または自治会などが主催するスポーツ行事に参加しましたか。
 当てはまる番号すべてに○をつけ、参加した場合には、主な行事を1つだけご記入ください。

1. 競技者として参加した	→ 主な行事名：()
2. 大会役員など運営者として参加した	→ 主な行事名：()
3. ボランティアとして参加した	→ 主な行事名：()
4. 応援者・観戦客として参加した	→ 主な行事名：()
5. 参加しなかった	

市や自治会主催のスポーツ行事へ参加状況についてみると、「⑤参加しなかった」が8割強(84.8%)で最も多く、次いで「①競技者として参加した」(5.8%)、「④応援者・観戦客として参加した」(4.4%)、「③ボランティアとして参加した」(1.6%)、「②大会役員など運営者として参加した」(1.1%)となっている。

性別でみると、「⑤参加しなかった」を除いた場合、男性は「①競技者として参加した」が最も多く、女性は「④応援者・観戦客として参加した」が最も多い。

年代ごとにみると、70歳代は他の年代に比べて「①競技者として参加した」の割合が多くみられる。

問9 市や自治会主催のスポーツ行事への参加状況(複数回答)【すべて】



問9 市や自治会主催のスポーツ行事への参加状況 (複数回答【すべて】 単位: %)

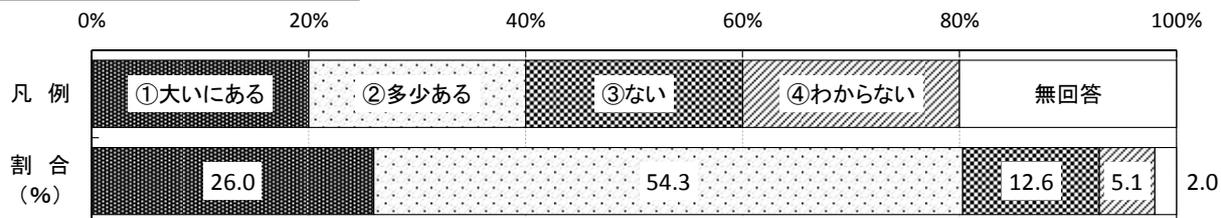
		た① 競 技 者 と し て 参 加 し	と② 大 会 役 員 な ど 運 営 者	参 加 し た ③ ボ ラ ン テ ィ ア と し て	て④ 参 加 し た ④ 参 加 し た ・ 観 戦 客 と し	⑤ 参 加 し な か っ た	無 回 答	
全体		(704人)	5.8	1.1	1.6	4.4	84.8	3.0
性別	男性	(304人)	8.2	1.0	1.6	3.6	82.6	3.3
	女性	(400人)	4.0	1.3	1.5	5.0	86.5	2.8
年代	20歳代	(91人)	4.4	0.0	2.2	1.1	92.3	0.0
	30歳代	(116人)	3.4	0.0	0.9	4.3	89.7	1.7
	40歳代	(89人)	5.6	1.1	1.1	3.4	88.8	0.0
	50歳代	(109人)	2.8	0.9	0.9	1.8	93.6	0.0
	60歳代	(135人)	3.7	2.2	0.7	6.7	84.4	3.0
	70歳代	(164人)	12.2	1.8	3.0	6.7	69.5	9.1
地区	北部	(105人)	6.7	1.0	1.0	5.7	83.8	4.8
	中部	(185人)	5.4	0.5	1.6	2.2	88.1	2.2
	西部	(209人)	6.7	1.0	0.5	4.8	85.2	2.4
	東部	(205人)	4.9	2.0	2.9	5.4	82.0	3.4

問 10： あなたは、スポーツ観戦について、関心がありますか。

1. 大いにある	2. 多少ある	3. ない	4. わからない
----------	---------	-------	----------

スポーツ観戦への関心についてみると、「②多少ある」が5割強（54.3%）で最も多く、次いで「①大いにある」（26.0%）、「③ない」（12.6%）となっている。『関心がある』（「①大いにある」と「②多少ある」の合計）が約8割（80.3%）を占めており、多くの人がスポーツ観戦に関心を持っていることがわかる。性別でみると、男性は「①大いにある」の割合が女性より多くみられる。年代ごとにみると、20歳代と30歳代は他の年代に比べ「①大いにある」の割合が多くみられる。

問10 スポーツ観戦への関心の有無



問10 スポーツ観戦への関心の有無 (単数回答 単位: %)

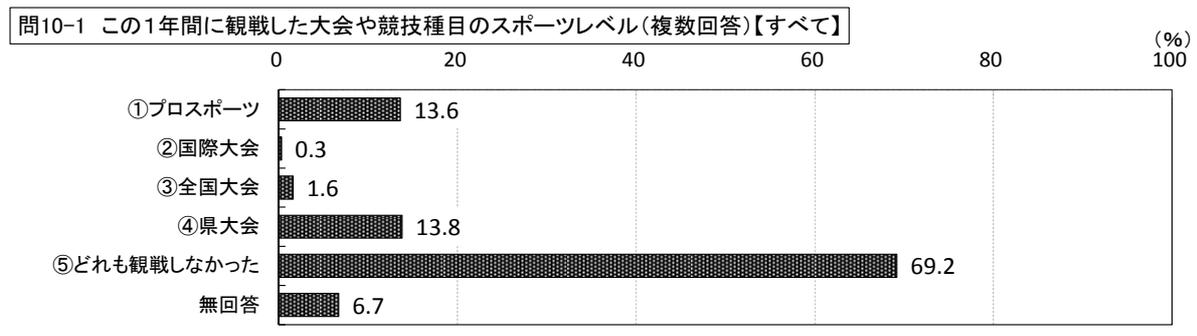
		①大いにある	②多少ある	③ない	④わからない	無回答	
全体		(704人)	26.0	54.3	12.6	5.1	2.0
性別	男性	(304人)	31.3	50.3	11.2	3.9	3.3
	女性	(400人)	22.0	57.3	13.8	6.0	1.0
年代	20歳代	(91人)	38.5	42.9	15.4	2.2	1.1
	30歳代	(116人)	33.6	48.3	10.3	6.9	0.9
	40歳代	(89人)	21.3	57.3	13.5	6.7	1.1
	50歳代	(109人)	23.9	56.0	15.6	4.6	0.0
	60歳代	(135人)	20.7	57.0	14.1	6.7	1.5
	70歳代	(164人)	22.0	59.8	9.1	3.7	5.5
地区	北部	(105人)	29.5	55.2	10.5	2.9	1.9
	中部	(185人)	23.8	55.7	12.4	7.6	0.5
	西部	(209人)	25.8	54.5	12.9	3.8	2.9
	東部	(205人)	26.3	52.2	13.7	5.4	2.4

問 10-1：あなたは、この 1 年間に直接会場へ行ってスポーツ観戦をしましたか。次の1～5について、当てはまるものいくつかでも○をつけていただき、スポーツのレベルごとに観戦頻度(回数)と主な競技種目をご記入ください。また、その主な観戦理由を下記点線枠内より3つまで選び口の枠内に番号をご記入ください。

	頻度(回数)	競技種目	観戦理由(3つまで)															
1. プロスポーツ	→ (回) () →	() →	<table border="1"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>															
2. 国際大会	→ (回) () →	() →																
3. 全国大会	→ (回) () →	() →																
4. 県大会	→ (回) () →	() →																
5. どれも観戦しなかった																		

- (観戦理由)
- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 家族・親戚の一員が出場するから | 2. 仲間・友人が出場するから |
| 3. 好きなチームや選手を応援するため | |
| 4. 日本代表・地域代表のチームや選手を応援するため | |
| 5. その競技が好きだから | 6. レベルの高い競技を観たいから |
| 7. 気分転換やストレス解消となるから | 8. 競技で感動することが多いから |
| 9. 観て楽しいから | 10. 家族や友人などに誘われたから |
| 11. その他 | |

会場へスポーツ観戦を行ったことがあるかについてみると、「⑤どれも観戦しなかった」が約7割(69.2%)で最も多く、次いで「④県大会」(13.8%)、「①プロスポーツ」(13.6%)などとなっている。前問での関心の高さが実際の観戦行動につながっていない状況もみうけられる。年代別にみると、年齢層が低くなるにつれて「①プロスポーツ」や「④県大会」の割合が多くなる傾向がみられる。また40歳代は他の年代に比べ「④県大会」の割合が多くみられる。こどもや知り合いの子などが競技者として参加している状況がうかがえる。地区ごとにみると北部と西部は他の地区に比べ「①プロスポーツ」と「④県大会」の割合が若干多い。



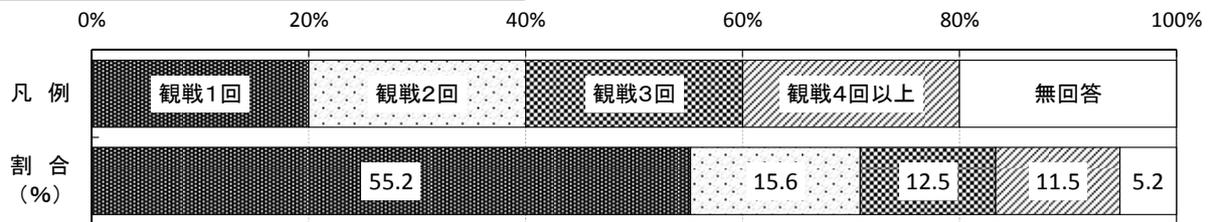
問10-1 この1年間に観戦した大会や競技種目のスポーツレベル (複数回答【すべて】 単位:%)

			① プロ スポー ツ	② 国 際 大 会	③ 全 国 大 会	④ 県 大 会	⑤ な か ど れ も 観 戦 し な か っ た	無 回 答
全 体		(704人)	13.6	0.3	1.6	13.8	69.2	6.7
性 別	男性	(304人)	16.4	0.0	2.0	14.5	66.8	6.6
	女性	(400人)	11.5	0.5	1.3	13.3	71.0	6.8
年 代	20歳代	(91人)	18.7	0.0	4.4	9.9	69.2	3.3
	30歳代	(116人)	21.6	0.0	1.7	15.5	65.5	0.9
	40歳代	(89人)	16.9	1.1	0.0	23.6	60.7	3.4
	50歳代	(109人)	11.9	0.0	0.9	16.5	70.6	6.4
	60歳代	(135人)	13.3	0.7	1.5	11.9	75.6	3.0
	70歳代	(164人)	4.9	0.0	1.2	9.1	70.1	17.7
地 区	北部	(105人)	16.2	1.0	1.9	15.2	65.7	8.6
	中部	(185人)	12.4	0.0	2.7	11.9	73.0	5.4
	西部	(209人)	15.3	0.5	1.0	15.3	67.0	6.2
	東部	(205人)	11.7	0.0	1.0	13.2	69.8	7.3

1回以上観戦した方について観戦回数をみると、「観戦1回」が4割強（44.2%）で最も多く、次いで「観戦2回」（24.8%）、「観戦4回以上」（13.6%）、「観戦3回」（13.1%）となっている。

観戦者の多いプロスポーツと県大会の観戦回数についてみると、プロスポーツでは「観戦1回」が6割弱（55.2%）を占めており、また県大会では「観戦1回」が3割強（32.0%）、「観戦2回」が4割弱（35.1%）となっている。

問10-1 この1年間のプロスポーツの観戦頻度(回数)



スポーツレベルごとの観戦階数と観戦者1人当たり平均観戦階数

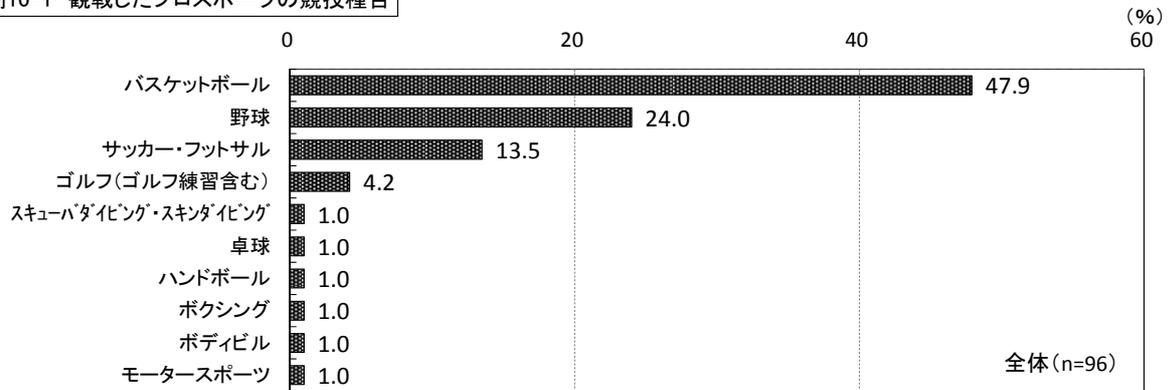
上段:実数 下段:横%	観戦1回	観戦2回	観戦3回	観戦4回以上	無回答	延べ観戦回数	平均観戦回数
総数 (n=206)	91 44.2	51 24.8	27 13.1	28 13.6	9 4.4	592	3.0
プロスポーツ (n=96)	53 55.2	15 15.6	12 12.5	11 11.5	5 5.2	289	3.2
国際大会 (n=2)	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	6	3.0
全国大会 (n=11)	6 54.5	2 18.2	3 27.3	0 0.0	0 0.0	9	1.7
県大会 (n=97)	31 32.0	34 35.1	12 12.4	16 16.5	4 4.1	288	3.1

観戦した大会の種目についてみると、プロスポーツでは「バスケットボール」が5割弱（47.9%）で最も多く、次いで「野球」（24.0%）、「サッカー・フットサル」（13.5%）などとなっている。

県大会では「野球」が4割弱（37.1%）で最も多く、次いで「サッカー・フットサル」（11.3%）、「バスケットボール」（10.3%）などとなっている。

観戦者の少ない全国大会では「陸上競技」、国際大会では「空手」がそれぞれ最も多かった。

問10-1 観戦したプロスポーツの競技種目



スポーツレベルごとの観戦種目(上位8種目)

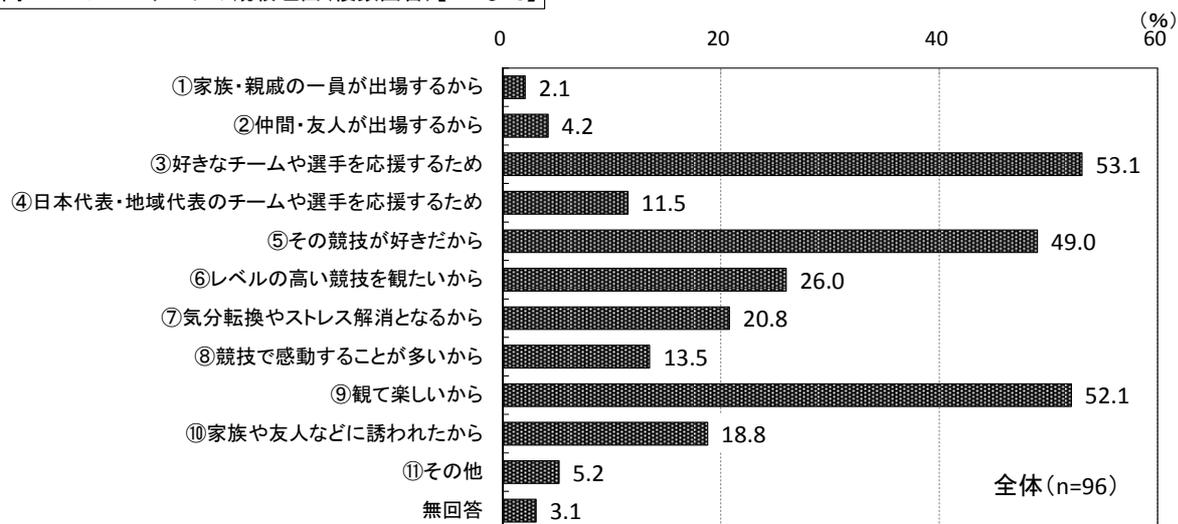
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
プロスポーツ (n=96)	バスケットボール 47.9	野球 24.0	サッカー 13.5	ゴルフ 4.2	スキューバダイビング・スキンドайビング、卓球、ハンドボール、ボクシング、ボディビル、モータースポーツ 1.0			
国際大会 (n=2)	空手 50.0	—	—	—	—	—	—	—
全国大会 (n=11)	陸上競技 27.3	サッカー・フットサル 9.1	テニス 9.1	トライアスロン 9.1	空手 9.1	野球 9.1	—	—
県大会 (n=97)	野球 37.1	サッカー・フットサル 11.3	バスケットボール 10.3	陸上競技 6.2	ハンドボール 4.1	テニス、バレーボール、剣道 3.1		

観戦した理由を大会ごとにみると、プロスポーツでは「③好きなチームや選手を応援するため」が5割強(53.1%)で最も多く、次いで「⑨観て楽しいから」(52.1%)、「⑤その競技が好きだから」(49.0%)などとなっている。

県大会では「①家族・親戚の一員が出場するから」が5割強(54.6%)で最も多く、次いで「⑤その競技が好きだから」(40.2%)、「⑨観て楽しいから」(38.1%)などとなっている。

観戦者の少ない全国大会では「⑤その競技が好きだから」が最も多く、次いで「②仲間・友人が出場するから」「⑥レベルの高い競技を観たいから」となっている。国際大会では「⑥レベルの高い競技を観たいから」が選ばれている。

問10-1 プロスポーツの観戦理由(複数回答)【3つまで】



問10-1 スポーツレベルごとの観戦理由

(複数回答【3つまで】)

	出①場家 す族 か親 ら戚 の一 員 が	る② か ら 仲 間 ・ 友 人 が 出 場 す	を③ 応 援 す な る チ ム や 選 手	すの④ チ 日 た ー 本 め ム 代 表 や 選 手 を 地 域 代 表	ら⑤ そ の 競 技 が 好 き だ か	観⑥ たい レ ベ ル の 高 い 競 技 を	解⑦ 消 と な る か ら ス ト レ ス	が⑧ 多 競 技 か ら 感 動 す る こ と	⑨ 観 て 楽 し い か ら	わ⑩ れた 家 族 か ら 友 人 な ど に 誘	⑪ そ の 他	無 回 答
上段:実数 下段:横%												
プロスポーツ (n=96)	2 2.1	4 4.2	51 53.1	11 11.5	47 49.0	25 26.0	20 20.8	13 13.5	50 52.1	18 18.8	5 5.2	3 3.1
国際大会 (n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
全国大会 (n=11)	2 18.2	4 36.4	2 18.2	2 18.2	5 45.5	4 36.4	1 9.1	2 18.2	3 27.3	1 9.1	1 9.1	1 9.1
県大会 (n=97)	53 54.6	20 20.6	13 13.4	4 4.1	39 40.2	7 7.2	7 7.2	18 18.6	37 38.1	15 15.5	3 3.1	1 1.0

問 10-2：今後、市内においてどのような競技種目の大会や試合を誘致してほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、誘致してほしい競技種目や大会があれば、各々1つだけご記入ください。

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. プロスポーツ | → 競技種目または大会名 () |
| 2. 国際大会 | → 競技種目または大会名 () |
| 3. 全国大会 | → 競技種目または大会名 () |
| 4. 特にない | |
| 5. わからない | |

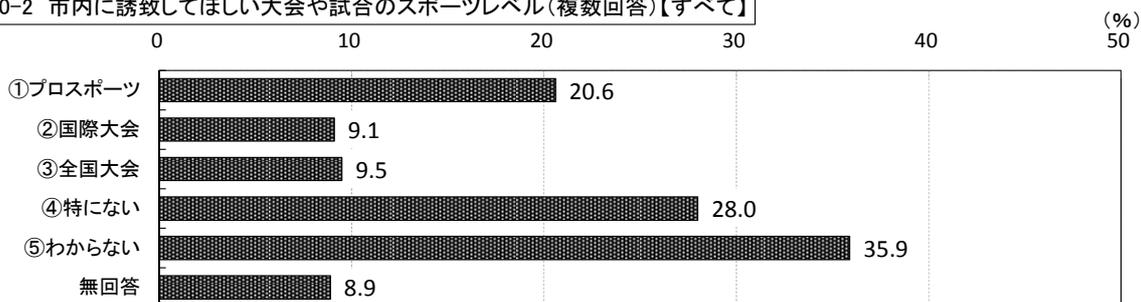
市内に誘致してほしい大会についてみると「④特にない」と「⑤わからない」を除くと、「①プロスポーツ」が約2割(20.6%)で最も多く、次いで「③全国大会」(9.5%)、「②国際大会」(9.1%)となっている。

性別でみると、「④特にない」と「⑤わからない」を除くと男性は「①プロスポーツ」の割合が女性より若干多くみられる。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて「①プロスポーツ」の割合が多くなる傾向がみられ、また40歳代は他の年代に比べ「②国際大会」と「③全国大会」の割合が多くみられた。

地区ごとにみると、北部と東部では他の地区に比べ「①プロスポーツ」や「②国際大会」の割合が多くみられた。

問10-2 市内に誘致してほしい大会や試合のスポーツレベル(複数回答)【すべて】



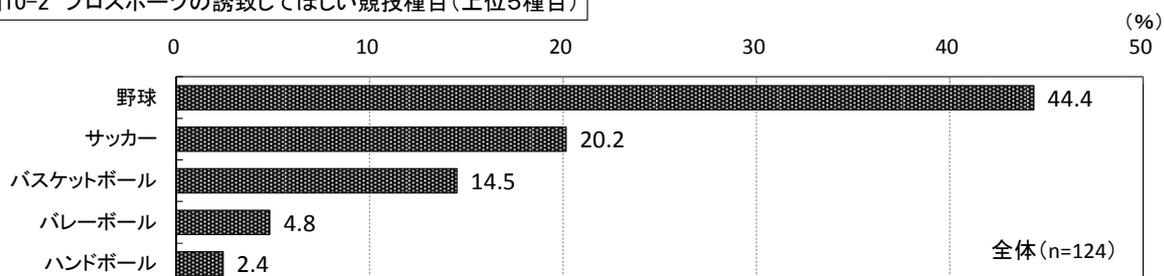
問10-2 市内に誘致して欲しい大会や試合のスポーツレベル (複数回答【すべて】 単位: %)

		① プロ スポ ーツ	② 国 際 大 会	③ 全 国 大 会	④ 特 に な い	⑤ わ か ら な い	無 回 答
全体 (704人)		20.6	9.1	9.5	28.0	35.9	8.9
性別	男性 (304人)	23.4	10.2	9.5	34.5	26.0	8.9
	女性 (400人)	18.5	8.3	9.5	23.0	43.5	9.0
年代	20歳代 (91人)	30.8	11.0	8.8	25.3	33.0	5.5
	30歳代 (116人)	30.2	10.3	6.0	23.3	39.7	1.7
	40歳代 (89人)	23.6	14.6	13.5	25.8	38.2	5.6
	50歳代 (109人)	20.2	9.2	12.8	27.5	35.8	9.2
	60歳代 (135人)	14.1	6.7	9.6	30.4	43.0	5.9
	70歳代 (164人)	12.2	6.1	7.9	32.3	28.0	20.1
地区	北部 (105人)	26.7	8.6	10.5	27.6	31.4	7.6
	中部 (185人)	18.4	7.0	7.6	30.8	38.4	6.5
	西部 (209人)	17.7	8.1	12.0	25.8	36.8	12.0
	東部 (205人)	22.4	12.2	8.3	27.8	35.1	8.8

誘致してほしいスポーツの種目についてみると、プロスポーツでは「野球」が4割強（44.4%）で最も多く、次いで「サッカー」（20.2%）、「バスケットボール」（14.5%）などとなっている。

国際大会では「サッカー」が2割弱（18.9%）で最も多く。次いで「バレーボール」と「陸上」（13.2%）などとなっており、全国大会では「陸上」が2割弱（16.7%）で最も多く、次いで「野球」（14.8%）、「バスケットボール」（11.1%）などとなっている。

問10-2 プロスポーツの誘致してほしい競技種目(上位5種目)



問10-2 スポーツレベルごとの誘致してほしい競技種目(上位5種目) (単数回答 単位:%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
プロスポーツ (n=124)	野球 44.4	サッカー 20.2	バスケットボール 14.5	バレーボール 4.8	ハンドボール 2.4
国際大会 (n=53)	サッカー 18.9	バレーボール、陸上 13.2		バスケットボール 7.5	野球 5.7
全国大会 (n=54)	陸上 16.7	野球 14.8	バスケットボール 11.1	サッカー、バレーボール 7.4	

<スポーツに関するボランティア活動の状況と今後の意向について>

問 11：あなたは、この1年間にスポーツの指導やイベントへの協力など、スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

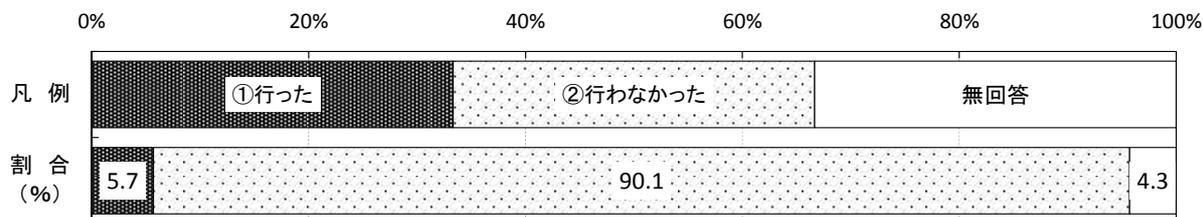
1. 行った → 問 11-1 へ進んでください。
 2. 行わなかった → 問 11-2 へ進んでください。

スポーツに関するボランティア活動への参加状況についてみると、「②行わなかった」が約9割(90.1%)、「①行った」が1割未満(5.7%)となっている。

性別でみると、男性は「①行った」の割合が女性より若干多くみられる。

年代ごとにみると、20歳代は他の年代に比べ「①行った」の割合が若干ながら多くみられる。

問11 この1年間のスポーツボランティア活動の有無



問11 この1年間のスポーツボランティア活動の有無

(単数回答 単位: %)

			① 行 っ た	② 行 わ な か っ た	無 回 答
全体		(704人)	5.7	90.1	4.3
性別	男性	(304人)	8.2	87.8	3.9
	女性	(400人)	3.8	91.8	4.5
年代	20歳代	(91人)	8.8	90.1	1.1
	30歳代	(116人)	6.9	92.2	0.9
	40歳代	(89人)	5.6	94.4	0.0
	50歳代	(109人)	3.7	92.7	3.7
	60歳代	(135人)	4.4	91.1	4.4
	70歳代	(164人)	5.5	83.5	11.0
地区	北部	(105人)	4.8	91.4	3.8
	中部	(185人)	4.3	89.7	5.9
	西部	(209人)	4.3	91.9	3.8
	東部	(205人)	8.8	87.8	3.4

【前問で「1. 行った」と回答した方におたずねします。】

問 11-1 : あなたが行ったボランティア活動はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. スポーツの指導 | 2. スポーツの審判 |
| 3. スポーツ団体・クラブの運営や世話 | 4. スポーツ施設の管理の手助け |
| 5. 地域のスポーツ大会等の運営や世話 | 6. 国際大会、全国大会等の運営や世話 |
| 7. その他（具体的に | ） |

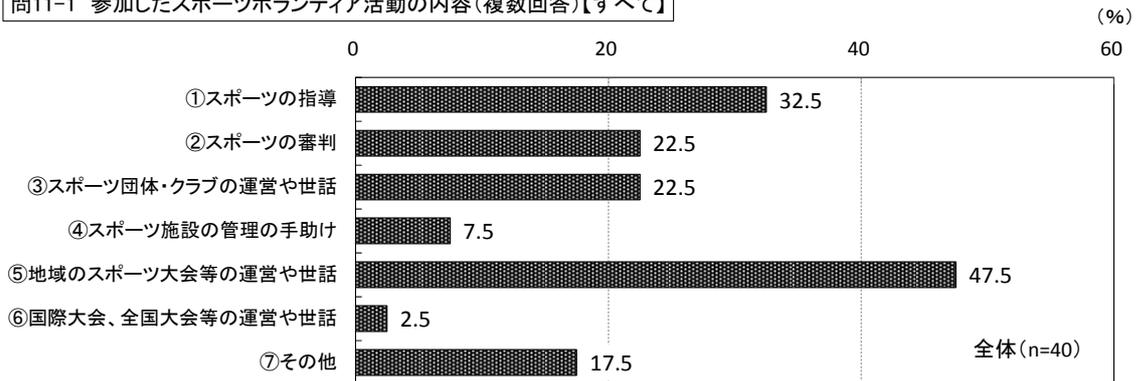
行ったボランティアの内容についてみると、「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」が5割弱（47.5%）で最も多く、次いで「①スポーツの指導」（32.5%）、「②スポーツの審判」（22.5%）、「③スポーツ団体・クラブの運営や世話」（22.5%）などとなっている。

性別でみると、男性は「①スポーツの指導」や「②スポーツの審判」、「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」の割合が女性より多くみられる。

年代ごとにみると、「①スポーツの指導」では20歳代や40歳代、50歳代が多くみられ、「②スポーツの審判」では40歳代と50歳代が多くみられた。「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」では50歳代と60歳代が多くみられた。

地区ごとにみると、中部や西部では「①スポーツの指導」や「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」が多くみられ、東部では「③スポーツ団体・クラブの運営や世話」や「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」が多くみられた。

問11-1 参加したスポーツボランティア活動の内容(複数回答)【すべて】



問11-1 参加したスポーツボランティア活動の内容

(複数回答【すべて】 単位: %)

		① ス ポ ー ツ の 指 導	② ス ポ ー ツ の 審 判	③ ラ ブ の ポ ー ツ 運 営 や 団 体 世 話 ・ ク	④ 理 の ス ポ ー ツ 施 設 の 管 理 の 手 助 け	⑤ 会 等 の 地 域 の 運 営 や ポ ー ツ 大	⑥ 会 等 の 国 際 大 会 や 全 国 大	⑦ そ の 他	
全 体		(40人)	32.5	22.5	22.5	7.5	47.5	2.5	17.5
性 別	男性	(25人)	40.0	28.0	20.0	8.0	52.0	4.0	12.0
	女性	(15人)	20.0	13.3	26.7	6.7	40.0	0.0	26.7
年 代	20歳代	(8人)	50.0	25.0	0.0	12.5	50.0	0.0	37.5
	30歳代	(8人)	37.5	12.5	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0
	40歳代	(5人)	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	50歳代	(4人)	50.0	75.0	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	60歳代	(6人)	0.0	0.0	33.3	0.0	83.3	0.0	16.7
	70歳代	(9人)	11.1	11.1	22.2	22.2	44.4	0.0	22.2
地 区	北部	(5人)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0
	中部	(8人)	62.5	25.0	37.5	0.0	50.0	0.0	12.5
	西部	(9人)	44.4	33.3	0.0	0.0	44.4	0.0	22.2
	東部	(18人)	22.2	16.7	33.3	16.7	55.6	0.0	11.1

【すべての方におたずねします。】

問 11-2： あなたは、今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。

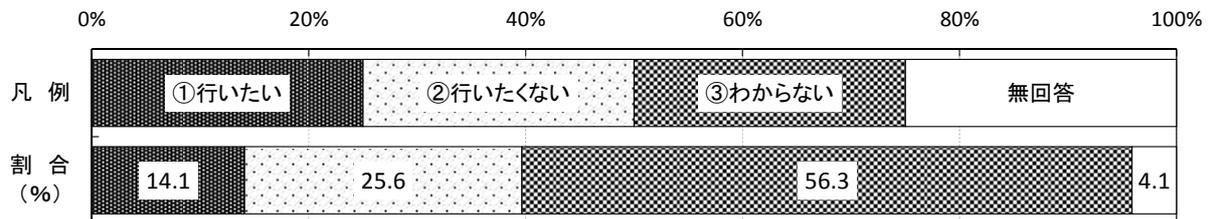
- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 行いたい | → 問 11-3 へ進んでください。 |
| 2. 行いたくない | → 問 12 へ進んでください。 |
| 3. わからない | → 問 12 へ進んでください。 |

今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向についてみると、「③わからない」が6割弱（56.3%）、「②行いたくない」が3割弱（25.6%）、「①行いたい」が1割強（14.1%）となっている。割合は少ないが、スポーツに関するボランティア活動に関心を寄せている市民が1割強みられることから、そうした市民を巻き込んでいくことが求められる。

性別でみると、男性は「①行いたい」の割合が女性より多くみられた。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて「①行いたい」の割合が多くなる傾向がみられた。

問11-2 スポーツボランティア活動への参加意向



問11-2 スポーツボランティア活動への参加意向 (単数回答 単位: %)

			① 行 い た い	② 行 い た く な い	③ わ か ら な い	無 回 答
全体		(704人)	14.1	25.6	56.3	4.1
性別	男性	(304人)	17.4	23.4	54.6	4.6
	女性	(400人)	11.5	27.3	57.5	3.8
年代	20歳代	(91人)	20.9	20.9	57.1	1.1
	30歳代	(116人)	18.1	21.6	60.3	0.0
	40歳代	(89人)	13.5	22.5	64.0	0.0
	50歳代	(109人)	15.6	23.9	58.7	1.8
	60歳代	(135人)	12.6	30.4	52.6	4.4
	70歳代	(164人)	7.9	29.9	50.0	12.2
地区	北部	(105人)	14.3	21.9	59.0	4.8
	中部	(185人)	14.1	24.3	57.3	4.3
	西部	(209人)	13.9	25.4	57.4	3.3
	東部	(205人)	14.1	28.8	52.7	4.4

【前問で「1. 行いたい」と回答した方におたずねします。】

問 11-3 : あなたが行いたいボランティア活動はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

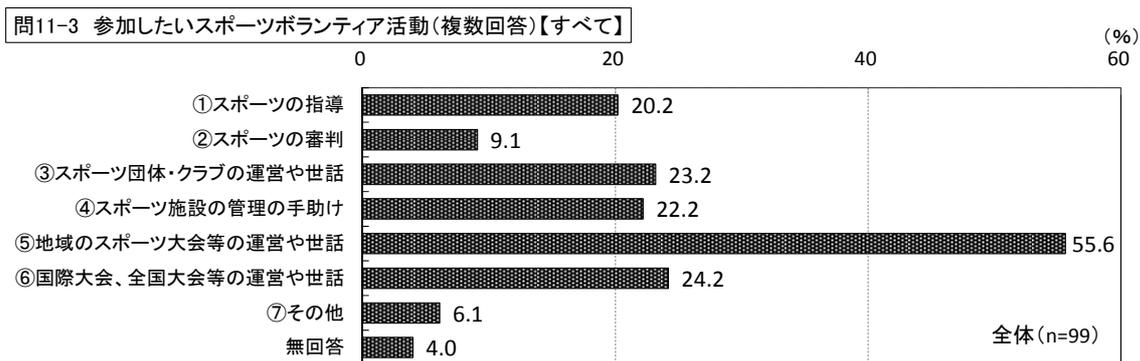
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. スポーツの指導 | 2. スポーツの審判 |
| 3. スポーツ団体・クラブの運営や世話 | 4. スポーツ施設の管理の手助け |
| 5. 地域のスポーツ大会等の運営や世話 | 6. 国際大会、全国大会等の運営や世話 |
| 7. その他（具体的に | ） |

行いたいボランティア活動についてみると、「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」が6割弱(55.6%)で最も多く、次いで「⑥国際大会、全国大会等の運営や世話」(24.2%)、「③スポーツ団体・クラブの運営や世話」(23.2%)、「④スポーツ施設の管理の手助け」(22.2%)、「スポーツの指導」(20.2%)などとなっている。

性別でみると、男性では「①スポーツの指導」が女性より多く、女性では「⑤地域のスポーツ大会等の運営や世話」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、年齢層が低くなるにつれて「①スポーツの指導」の割合が多くなる傾向がみられる。また「③スポーツ団体・クラブの運営や世話」では40歳代の割合が多く、70歳代は回答がなかった。

地区ごとにみると、中部では他の地区に比べ「①スポーツの指導」の割合が多いものの、「②スポーツの審判」や「③スポーツ団体・クラブの運営や世話」、「⑥国際大会、全国大会等の運営や世話」では割合が少ない。



問11-3 参加したいスポーツボランティア活動 (複数回答【すべて】 単位: %)

		① ス ポ ー ツ の 指 導	② ス ポ ー ツ の 審 判	③ ス ポ ー ツ の 運 営 や 団 体 ・ ク ラ ブ の 運 営 や 世 話	④ ス ポ ー ツ 施 設 の 管 理 の 手 助 け	⑤ 地 域 の 運 営 や 世 話	⑥ 国 際 大 会 ・ 全 国 大 会 等 の 運 営 や 世 話	⑦ そ の 他	無 回 答
全 体 (99人)		20.2	9.1	23.2	22.2	55.6	24.2	6.1	4.0
性 別	男性 (53人)	30.2	15.1	20.8	20.8	50.9	26.4	7.5	1.9
	女性 (46人)	8.7	2.2	26.1	23.9	60.9	21.7	4.3	6.5
年 代	20歳代 (19人)	36.8	15.8	21.1	26.3	42.1	31.6	5.3	10.5
	30歳代 (21人)	23.8	0.0	23.8	14.3	61.9	23.8	4.8	0.0
	40歳代 (12人)	25.0	25.0	25.0	16.7	33.3	50.0	8.3	0.0
	50歳代 (17人)	17.6	5.9	41.2	29.4	70.6	23.5	5.9	0.0
	60歳代 (17人)	5.9	5.9	23.5	11.8	76.5	11.8	5.9	5.9
	70歳代 (13人)	7.7	7.7	0.0	38.5	38.5	7.7	7.7	7.7
地 区	北部 (15人)	20.0	13.3	20.0	40.0	60.0	46.7	13.3	0.0
	中部 (26人)	30.8	3.8	7.7	19.2	46.2	15.4	0.0	3.8
	西部 (29人)	13.8	10.3	20.7	17.2	55.2	24.1	3.4	6.9
	東部 (29人)	17.2	10.3	41.4	20.7	62.1	20.7	10.3	3.4

問12 運動やスポーツに関する情報の入手方法

(複数回答【3つまで】 単位:%)

			① 市の広 報誌 (広 おきな わ)	② 県や 市の ホー ム ペー ジ	③ 市の公 式メ ルガ メル お ま	④ 自治 会 の 回 覧	⑤ ポ ス ター 、 チ ラ シ	⑥ 知 人 や 近 所 の 友 人	⑦ ク ラ ブ や 同 好 会	⑧ 職 場 や 施 設 の 仲 間
全 体		(704人)	38.2	1.8	0.4	10.9	23.0	19.6	4.0	5.5
性 別	男性	(304人)	31.6	1.3	0.3	11.2	20.4	17.1	5.6	4.9
	女性	(400人)	43.3	2.3	0.5	10.8	25.0	21.5	2.8	6.0
年 代	20歳代	(91人)	33.0	1.1	0.0	2.2	28.6	25.3	3.3	7.7
	30歳代	(116人)	33.6	6.9	2.6	6.0	26.7	29.3	3.4	8.6
	40歳代	(89人)	29.2	1.1	0.0	3.4	22.5	22.5	5.6	11.2
	50歳代	(109人)	38.5	0.9	0.0	8.3	30.3	16.5	2.8	4.6
	60歳代	(135人)	47.4	1.5	0.0	13.3	20.7	11.1	3.7	3.0
	70歳代	(164人)	41.5	0.0	0.0	23.2	14.6	17.1	4.9	1.8
地 区	北部	(105人)	37.1	1.9	1.0	10.5	18.1	21.9	5.7	9.5
	中部	(185人)	39.5	1.6	0.5	15.1	25.4	16.8	3.8	4.9
	西部	(209人)	39.7	1.9	0.5	7.7	23.4	23.0	3.8	2.4
	東部	(205人)	36.1	2.0	0.0	10.7	22.9	17.6	3.4	7.3

			⑨ 新 聞 ・ 雑 誌	⑩ 専 門 誌	⑪ テ レ ビ ・ ラ ジ オ	⑫ イン ター ネ ット (県・ 市の ホー ム ペー ジ 除 く)	⑬ そ の 他	⑭ 特 に な い	無 回 答
全 体		(704人)	43.2	0.9	40.1	10.2	1.0	9.5	4.3
性 別	男性	(304人)	52.0	1.6	49.0	12.5	1.3	8.2	4.3
	女性	(400人)	36.5	0.3	33.3	8.5	0.8	10.5	4.3
年 代	20歳代	(91人)	24.2	0.0	44.0	22.0	1.1	11.0	3.3
	30歳代	(116人)	28.4	3.4	31.0	20.7	0.9	12.1	0.9
	40歳代	(89人)	48.3	2.2	42.7	14.6	0.0	9.0	3.4
	50歳代	(109人)	50.5	0.0	41.3	9.2	0.0	7.3	4.6
	60歳代	(135人)	53.3	0.0	43.0	2.2	1.5	6.7	5.9
	70歳代	(164人)	48.2	0.0	39.6	1.2	1.8	11.0	6.1
地 区	北部	(105人)	45.7	2.9	44.8	10.5	1.0	6.7	3.8
	中部	(185人)	42.7	0.0	38.9	11.4	0.5	9.7	3.2
	西部	(209人)	45.5	1.0	39.7	9.6	1.9	7.7	4.8
	東部	(205人)	40.0	0.5	39.0	9.8	0.5	12.7	4.9

問 12-1：あなたは、運動やスポーツに関する情報のうち、市にはどのような情報を提供してほしいと思いますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

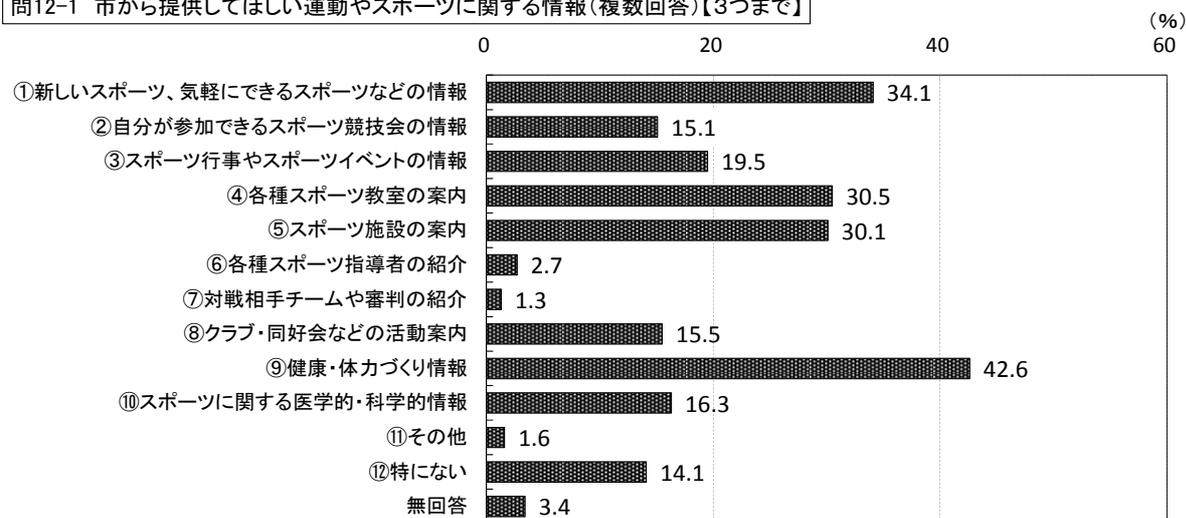
1. 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
2. 自分が参加できるスポーツ競技会の情報
3. スポーツ行事やスポーツイベントの情報
4. 各種スポーツ教室の案内
5. スポーツ施設の案内
6. 各種スポーツ指導者の紹介
7. 対戦相手チームや審判の紹介
8. クラブ・同好会などの活動案内
9. 健康・体力づくり情報
10. スポーツに関する医学的・科学的情報
11. その他（具体的に)
12. 特にない

市から提供してほしいスポーツに関する情報についてみると、「⑨健康・体力づくり情報」が4割強(42.6%)で最も多く、次いで「①新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」(34.1%)、「④各種スポーツ教室の案内」(30.5%)、「⑤スポーツ施設の案内」(30.1%)などとなっている。

性別でみると、男性は「②自分が参加できるスポーツ競技会の情報」の割合が女性より多くみられ、女性は「①新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」や「④各種スポーツ教室の案内」、「⑨健康・体力づくり情報」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、60歳代以上は他の年代に比べ「③スポーツ行事やスポーツイベントの情報」の割合が少ない。

問12-1 市から提供してほしい運動やスポーツに関する情報(複数回答)【3つまで】



問12-1 市から提供して欲しい運動やスポーツに関する情報

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		① 軽 に新 ので でき るス ポー ツ、 気	② ポ ー ツ 自 分 が 参 加 で き る 情 報	③ ポ ー ツ ポ ー ツ イ ベ ン ト の 情 報	④ 案 内 各 種 ス ポ ー ツ 教 室 の	⑤ ス ポ ー ツ 施 設 の 案 内	⑥ 各 種 ス ポ ー ツ 指 導 者 の 紹 介	⑦ 対 戦 相 手 チ ー ム や 審 判 の 紹 介	⑧ ク ラ ブ ・ 同 好 会 な ど の 活 動 案 内	⑨ 健 康 ・ 体 力 づ くり 情 報	⑩ ス ポ ー ツ に 関 する 医 学 的 ・ 科 学 的 情 報	⑪ そ の 他	⑫ 特 に な い	無 回 答	
全 体		(704人)	34.1	15.1	19.5	30.5	30.1	2.7	1.3	15.5	42.6	16.3	1.6	14.1	3.4
性 別	男性	(304人)	26.0	20.1	21.4	21.4	30.6	3.3	2.0	16.1	36.5	16.1	2.0	16.8	4.9
	女性	(400人)	40.3	11.3	18.0	37.5	29.8	2.3	0.8	15.0	47.3	16.5	1.3	12.0	2.3
年 代	20歳代	(91人)	36.3	19.8	25.3	31.9	34.1	3.3	1.1	20.9	36.3	22.0	2.2	8.8	1.1
	30歳代	(116人)	44.8	14.7	24.1	37.1	42.2	2.6	3.4	19.8	31.9	19.8	0.9	6.0	0.0
	40歳代	(89人)	34.8	14.6	29.2	34.8	32.6	2.2	0.0	16.9	37.1	20.2	3.4	11.2	0.0
	50歳代	(109人)	33.0	11.9	27.5	39.4	33.9	1.8	0.0	22.0	44.0	14.7	0.9	10.1	2.8
	60歳代	(135人)	37.0	11.1	13.3	30.4	23.7	5.9	1.5	11.1	50.4	11.1	1.5	17.8	4.4
	70歳代	(164人)	23.2	18.3	7.3	17.1	20.7	0.6	1.2	7.9	49.4	14.0	1.2	23.8	8.5
地 区	北部	(105人)	35.2	11.4	21.0	30.5	32.4	1.9	1.0	13.3	38.1	11.4	3.8	14.3	5.7
	中部	(185人)	31.9	14.6	15.7	31.9	30.8	2.2	2.2	17.8	41.6	14.1	0.5	16.8	3.2
	西部	(209人)	31.6	17.2	23.4	27.3	25.8	2.4	1.0	13.4	46.9	19.6	1.9	13.9	2.9
	東部	(205人)	38.0	15.1	18.0	32.7	32.7	3.9	1.0	16.6	41.5	17.6	1.0	11.7	2.9

<地域のスポーツ振興にあたっての期待や要望について>

問 13：沖縄市では、「スポーツ推進委員」を委嘱し、市民に対するスポーツの実技指導などを行っています。あなたは、スポーツ推進委員についてご存知でしたか。当てはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

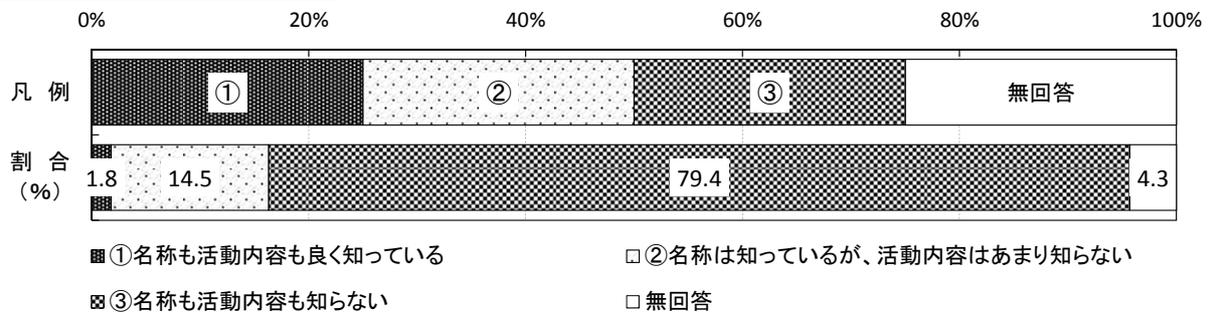
- | |
|---------------------------|
| 1. 名称も活動内容も良く知っている |
| 2. 名称は知っているが、活動内容はあまり知らない |
| 3. 名称も活動内容も知らない |

スポーツ推進委員の認知度についてみると、「③名称も活動内容も知らない」が約8割(79.4%)、「②名称は知っているが、活動内容はあまり知らない」が1割強(14.5%)、「①名称も活動内容も良く知っている」は1.8%と僅かな状況にある。

年代ごとにみると70歳代は他の年代に比べ『知っている』(「①名称も活動内容も良く知っている」と「②名称は知っているが、活動内容はあまり知らない」の合計)の割合が多い。

地区ごとにみると、西部や中部では他の地区に比べ『知っている』の割合が多い。

問13 スポーツ推進委員の認知度



問13 スポーツ推進委員の認知度 (単数回答 単位: %)

		く① 知 名 っ 称 て も い 活 る 動 内 容 も 良	知 が ② ら 、 名 な 活 称 い 動 は 内 知 容 っ は て あ い ま り	ら ③ な 名 い 称 も 活 動 内 容 も 知	無 回 答	
全 体		(704人)	1.8	14.5	79.4	4.3
性 別	男性	(304人)	3.0	15.1	77.6	4.3
	女性	(400人)	1.0	14.0	80.8	4.3
年 代	20歳代	(91人)	2.2	3.3	93.4	1.1
	30歳代	(116人)	0.9	12.1	86.2	0.9
	40歳代	(89人)	0.0	7.9	88.8	3.4
	50歳代	(109人)	0.0	20.2	78.9	0.9
	60歳代	(135人)	2.2	13.3	80.0	4.4
	70歳代	(164人)	4.3	23.2	61.6	11.0
地 区	北部	(105人)	0.0	12.4	81.0	6.7
	中部	(185人)	2.7	15.7	78.4	3.2
	西部	(209人)	2.4	18.7	73.2	5.7
	東部	(205人)	1.5	10.2	85.9	2.4

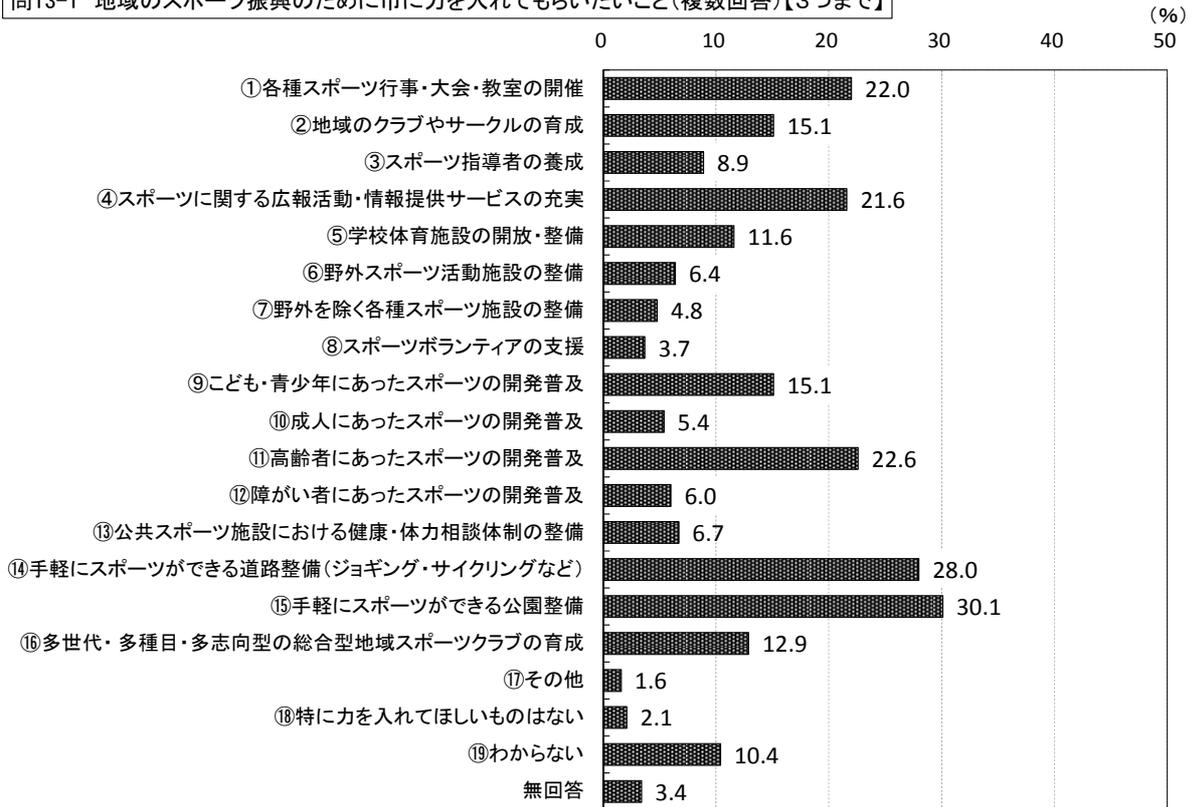
問 13-1：あなたは、地域のスポーツをもっと振興させるために、市に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。力を入れてもらいたいと思うものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 各種スポーツ行事・大会・教室の開催2. 地域のクラブやサークルの育成3. スポーツ指導者の養成4. スポーツに関する広報活動・情報提供サービスの充実5. 学校体育施設の開放・整備6. 野外スポーツ活動施設の整備7. 野外を除く各種スポーツ施設の整備8. スポーツボランティアの支援9. こども・青少年にあったスポーツの開発普及10. 成人にあったスポーツの開発普及11. 高齢者にあったスポーツの開発普及12. 障がい者にあったスポーツの開発普及13. 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備14. 手軽にスポーツができる道路整備（ジョギング・サイクリングなど）15. 手軽にスポーツができる公園整備16. 多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成17. その他（具体的に)18. 特に力を入れてほしいものはない |
|--|

地域のスポーツ振興に必要と思うことについてみると、「⑮手軽にスポーツができる公園整備」が約3割（30.1%）で最も多く、次いで「⑭手軽にスポーツができる道路整備（ジョギング・サイクリングなど）」（28.0%）、「⑪高齢者にあったスポーツの開発普及」（22.6%）、「①各種スポーツ行事・大会・教室の開催」（22.0%）、「④スポーツに関する広報活動・情報提供サービスの充実」（21.6%）などとなっている。

年代別にみると、30歳代は他の年代に比べ「⑨こども・青少年にあったスポーツの開発普及」の割合が多くみられた。また、年齢層が高くなるにつれて「⑪高齢者にあったスポーツの開発普及」の割合が多くなる傾向がみられる。

問13-1 地域のスポーツ振興のために市に力を入れてもらいたいこと(複数回答)【3つまで】



問13-1 地域のスポーツ振興のために市に力を入れてもらいたいこと

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		① 各種スポーツ行事・大会・教室の開催	② 地域のクラブやサークルの育成	③ スポーツ指導者の養成	④ スポーツに関する広報活動・情報提供サービスの充実	⑤ 学校体育施設の開放・整備	⑥ 野外スポーツ活動施設の整備	⑦ 野外を除く各種スポーツ施設の整備	⑧ スポーツボランティアの支援	⑨ こども・青少年にあったスポーツの開発普及	⑩ 成人にあったスポーツの開発普及
全体	(704人)	22.0	15.1	8.9	21.6	11.6	6.4	4.8	3.7	15.1	5.4
性別	男性	(304人)	21.1	13.2	10.5	23.4	14.5	11.2	5.6	13.2	4.6
	女性	(400人)	22.8	16.5	7.8	20.3	9.5	2.8	4.3	16.5	6.0
年代	20歳代	(91人)	29.7	16.5	9.9	27.5	13.2	6.6	8.8	5.5	11.0
	30歳代	(116人)	30.2	17.2	9.5	23.3	18.1	5.2	3.4	2.6	5.2
	40歳代	(89人)	31.5	13.5	9.0	27.0	13.5	9.0	3.4	1.1	5.6
	50歳代	(109人)	24.8	20.2	10.1	30.3	9.2	7.3	7.3	4.6	4.6
	60歳代	(135人)	12.6	14.1	7.4	23.0	12.6	7.4	4.4	5.2	3.0
	70歳代	(164人)	12.8	11.0	8.5	7.3	6.1	4.3	3.0	3.0	4.9
地区	北部	(105人)	16.2	13.3	6.7	19.0	10.5	4.8	2.9	2.9	2.9
	中部	(185人)	27.0	17.8	8.1	23.2	9.7	8.6	5.4	4.3	4.9
	西部	(209人)	21.5	16.3	9.1	23.0	10.5	5.7	5.3	3.3	7.2
	東部	(205人)	21.0	12.2	10.7	20.0	15.1	5.9	4.9	3.9	5.4

		⑪ 高齢者に向けたスポーツの開発普及	⑫ 障がい者に向けたスポーツの開発普及	⑬ 公共健康・体力相談施設整備	⑭ 道路手軽にスポーツができるイクリンギングなど	⑮ 公園手軽にスポーツができる整備	⑯ 多世代・多目的・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成	⑰ その他	⑱ 特に力を入れてほしいものはない	⑲ わからない	無回答
全体	(704人)	22.6	6.0	6.7	28.0	30.1	12.9	1.6	2.1	10.4	3.4
性別	男性	(304人)	24.7	5.6	7.2	30.6	27.0	9.2	2.0	9.5	3.3
	女性	(400人)	21.0	6.3	6.3	26.0	32.5	15.8	1.3	11.0	3.5
年代	20歳代	(91人)	6.6	5.5	1.1	27.5	34.1	14.3	2.2	5.5	2.2
	30歳代	(116人)	8.6	2.6	6.9	29.3	37.1	16.4	2.6	6.0	1.7
	40歳代	(89人)	4.5	11.2	9.0	27.0	34.8	15.7	3.4	7.9	1.1
	50歳代	(109人)	15.6	4.6	3.7	33.9	33.9	20.2	1.8	6.4	0.9
	60歳代	(135人)	36.3	7.4	12.6	33.3	27.4	9.6	0.7	11.1	3.7
	70歳代	(164人)	44.5	5.5	5.5	19.5	20.1	6.1	0.0	19.5	7.9
地区	北部	(105人)	18.1	4.8	6.7	36.2	42.9	8.6	3.8	9.5	3.8
	中部	(185人)	24.9	6.5	3.2	25.9	29.2	11.4	1.1	12.4	2.7
	西部	(209人)	22.5	4.8	8.6	27.3	23.9	16.3	1.9	10.5	4.3
	東部	(205人)	22.9	7.3	7.8	26.3	30.7	13.2	0.5	8.8	2.9

問 13-2：あなたは、地域のスポーツをもっと振興させるために、市にどのようなスポーツ指導者を確保、養成してほしいと思いますか。主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

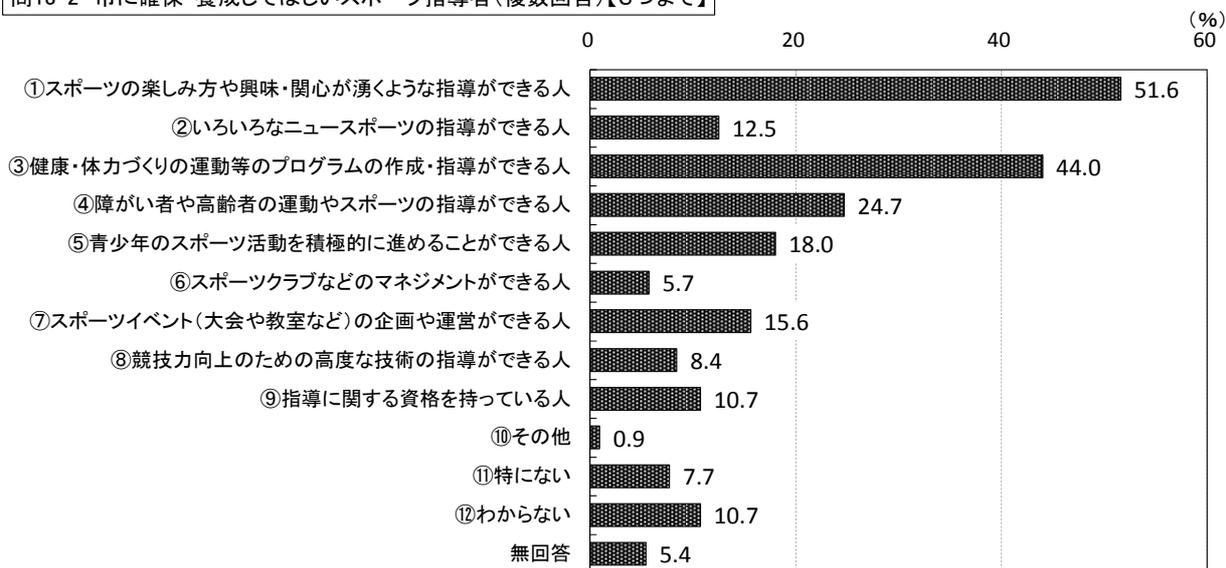
1. スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人
2. いろいろなニュースポーツ（グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーなど）の指導ができる人
3. 健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人
4. 障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人
5. 青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人
6. スポーツクラブなどのマネジメントができる人
7. スポーツイベント（大会や教室など）の企画や運営ができる人
8. 競技力向上のための高度な技術の指導ができる人
9. 指導に関する資格を持っている人
10. その他（具体的に)
11. 特にない

市に確保・養成してほしいスポーツ指導者についてみると、「①スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人」が5割強（51.6%）で最も多く、次いで「③健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」（44.0%）、「④障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人」（24.7%）、「⑤青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人」（18.0%）などとなっている。

性別でみると、女性は「①スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人」の割合が男性より多くみられた。

年代ごとにみると、20歳代から50歳代では「①スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人」と「⑦スポーツイベント（大会や教室など）の企画や運営ができる人」の割合が高い傾向にある。

問13-2 市に確保・養成してほしいスポーツ指導者（複数回答）【3つまで】



問13-2 市に確保・養成してほしいスポーツ指導者

(複数回答【3つまで】 単位：%)

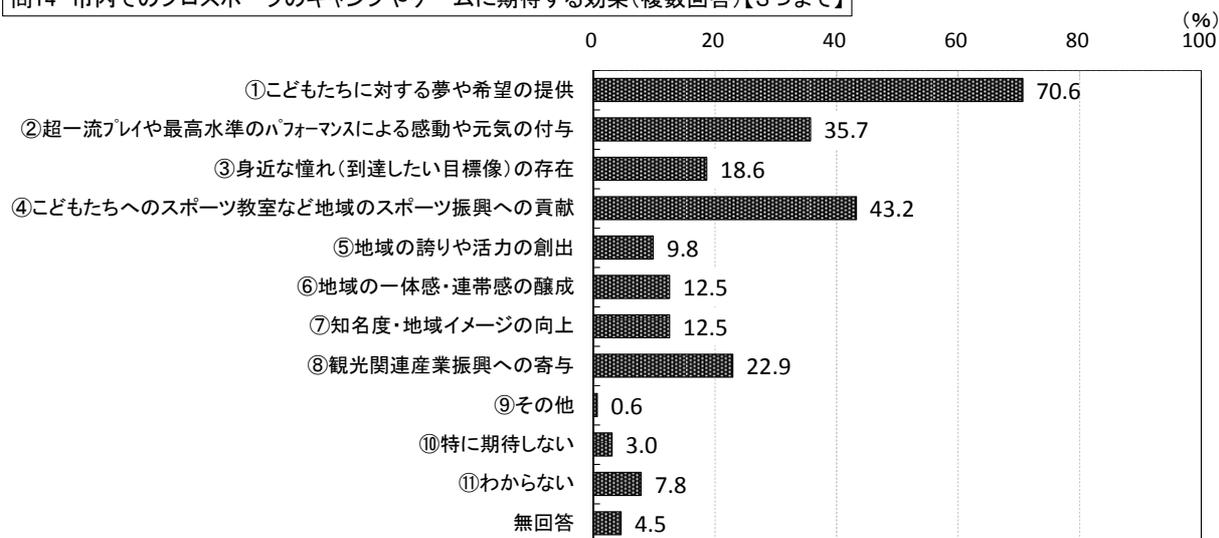
			①スポーツの楽しみやスポーツへの興味・関心ができる人	②いろいろなニュースポーツ(グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーなど)の指導ができる人	③健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムを作る人	④障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人	⑤青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人	⑥スポーツクラブなどのマネジメントができる人	⑦スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人	⑧競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	⑨指導に関する資格を持っている人	⑩その他	⑪特にない	⑫わからない	無回答
全体		(704人)	51.6	12.5	44.0	24.7	18.0	5.7	15.6	8.4	10.7	0.9	7.7	10.7	5.4
性別	男性	(304人)	44.4	12.2	40.5	23.4	19.1	7.9	15.1	12.2	9.5	1.3	10.5	10.5	6.3
	女性	(400人)	57.0	12.8	46.8	25.8	17.3	4.0	16.0	5.5	11.5	0.5	5.5	10.8	4.8
年代	20歳代	(91人)	61.5	11.0	44.0	23.1	17.6	8.8	24.2	8.8	12.1	1.1	8.8	7.7	1.1
	30歳代	(116人)	60.3	12.9	42.2	15.5	25.9	8.6	23.3	17.2	13.8	0.0	5.2	8.6	1.7
	40歳代	(89人)	58.4	12.4	52.8	25.8	13.5	4.5	22.5	5.6	9.0	2.2	5.6	7.9	1.1
	50歳代	(109人)	62.4	7.3	51.4	18.3	12.8	11.0	21.1	6.4	11.0	0.9	8.3	11.0	0.9
	60歳代	(135人)	41.5	14.1	50.4	31.9	20.7	3.7	7.4	8.1	9.6	1.5	5.9	12.6	6.7
	70歳代	(164人)	37.2	15.2	30.5	29.9	16.5	0.6	4.9	4.9	9.1	0.0	11.0	13.4	14.6
地区	北部	(105人)	49.5	13.3	42.9	22.9	16.2	6.7	19.0	7.6	11.4	1.9	8.6	8.6	7.6
	中部	(185人)	45.9	12.4	43.8	21.1	17.8	5.9	17.3	10.3	8.1	0.5	9.2	13.5	4.3
	西部	(209人)	52.6	13.4	45.9	27.3	16.7	6.7	13.4	9.6	11.5	1.0	5.3	9.6	7.2
	東部	(205人)	56.6	11.2	42.9	26.3	20.5	3.9	14.6	5.9	11.7	0.5	8.3	10.2	3.4

問 14：あなたは、市内においてプロ野球、プロサッカー、プロバスケットボールや大学・実業団などのスポーツチームがキャンプやゲームなどを行なうことに、どのような効果を期待しますか。期待の大きなものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. こどもたちに対する夢や希望の提供（スポーツを始めるきっかけの提供）
2. 超一流プレイや最高水準のパフォーマンスによる感動や元気の付与
3. 身近な憧れ（到達したい目標像）の存在
4. こどもたちへのスポーツ教室の開催など地域のスポーツ振興への貢献
5. 地域の誇りや活力の創出
6. 地域の一体感・連帯感の醸成
7. 知名度・地域イメージの向上
8. 観光関連産業振興への寄与
9. その他（具体的に)
10. 特に期待しない
11. わからない

市内でのプロスポーツのキャンプやゲームに期待する効果についてみると、「①こどもたちに対する夢や希望の提供（スポーツを始めるきっかけの提供）」が約7割（70.6%）で最も多く、次いで「④こどもたちへのスポーツ教室の開催など地域のスポーツ振興への貢献」（43.2%）、「②超一流プレイや最高水準のパフォーマンスによる感動や元気の付与」（35.7%）、「⑧観光関連産業振興への寄与」（22.9%）などとなっている。

問14 市内でのプロスポーツのキャンプやゲームに期待する効果(複数回答)【3つまで】



問14 市内でのプロスポーツのキャンプやゲームに期待する効果

(複数回答【3つまで】 単位:%)

		① 子どもの提供(スポーツを始めるきっかけ)	② 一流プレイヤーによる最高のパフォーマンス	③ 身近な憧れ(到達したい目標)の存在	④ 教室の開催など地域のスポーツ振興への貢献	⑤ 地域の誇りや活力の創出	⑥ 地域の一体感・連帯感の醸成	⑦ 知名度・地域イメージの向上	⑧ 観光関連産業振興への寄与	⑨ その他	⑩ 特に期待しない	⑪ わからない	無回答	
全体		(704人)	70.6	35.7	18.6	43.2	9.8	12.5	12.5	22.9	0.6	3.0	7.8	4.5
性別	男性	(304人)	68.8	36.5	16.4	45.4	11.8	13.5	15.8	25.0	1.0	3.9	5.6	3.9
	女性	(400人)	72.0	35.0	20.3	41.5	8.3	11.8	10.0	21.3	0.3	2.3	9.5	5.0
年代	20歳代	(91人)	74.7	41.8	25.3	34.1	11.0	16.5	13.2	25.3	1.1	2.2	5.5	2.2
	30歳代	(116人)	81.9	44.0	29.3	44.8	8.6	12.9	12.9	18.1	0.0	0.9	4.3	0.9
	40歳代	(89人)	69.7	46.1	28.1	38.2	6.7	9.0	15.7	18.0	1.1	2.2	6.7	1.1
	50歳代	(109人)	71.6	43.1	14.7	45.9	7.3	16.5	13.8	27.5	0.9	3.7	6.4	0.9
	60歳代	(135人)	71.1	31.1	17.8	47.4	9.6	7.4	13.3	27.4	0.7	3.0	8.1	5.9
	70歳代	(164人)	59.8	19.5	5.5	44.5	13.4	13.4	8.5	20.7	0.0	4.9	12.8	11.6
地区	北部	(105人)	68.6	31.4	14.3	41.0	11.4	13.3	16.2	22.9	1.0	1.9	8.6	7.6
	中部	(185人)	67.6	34.6	22.2	43.2	10.3	10.8	11.9	17.8	0.5	3.8	9.7	4.9
	西部	(209人)	70.3	38.8	16.3	43.5	11.5	14.8	13.4	22.0	0.5	2.9	5.7	5.3
	東部	(205人)	74.6	35.6	20.0	43.9	6.8	11.2	10.2	28.3	0.5	2.9	7.8	2.0

問 15：本県・本市選手が国際大会や全国大会などで活躍できるようにするため、行政側から合宿費や大会遠征費などの援助を行なうことについて、どう思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

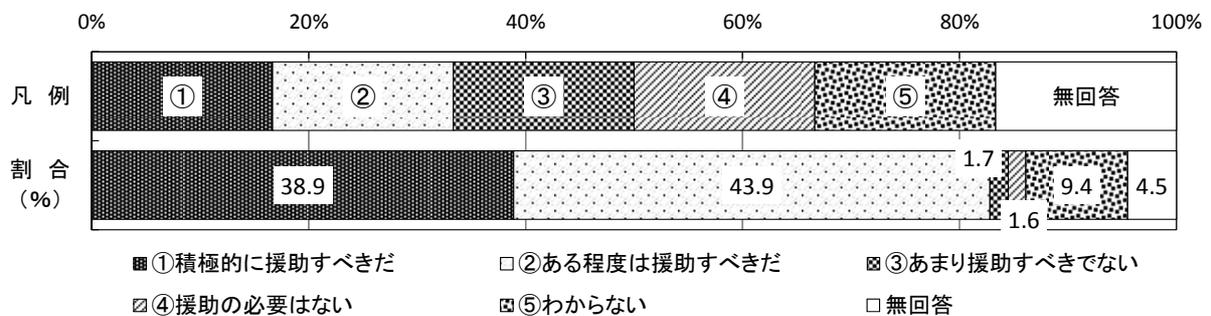
- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に援助すべきだ | 2. ある程度は援助すべきだ |
| 3. あまり援助すべきでない | 4. 援助の必要はない |
| 5. わからない | |

本県・本市選手への行政からの援助についてみると、「②ある程度は援助すべきだ」が4割強(43.9%)で最も多く、次いで「①積極的に援助すべきだ」(38.9%)、「③あまり援助すべきでない」(1.7%)、「④援助の必要はない」(1.6%)となっている。『援助すべき』(「①積極的に援助すべきだ」と「②ある程度は援助すべきだ」の合計)の割合が8割強(82.8%)となっており、多くの人が選手に対し援助をするべきだと思っていることがわかる。

性別でみると、『援助すべき』の割合に差は無いものの、男性は「①積極的に援助すべきだ」の割合が女性より多くみられる。

年代ごとにみると、50歳代は他の年代に比べ、「①積極的に援助すべきだ」の割合が若干多くみられた。

問15 本県・本市選手への行政からの援助についての考え



問15 本県・本市選手への行政からの援助についての考え

(単数回答 単位: %)

		す① べ積 き極 だ的 に 援 助	助② すあ べる き程 だ度 は 援	べ③ きあ でま なり い 援 助 す	な④ い 援 助 の 必 要 は	⑤ わ か ら な い	無 回 答	
全 体		(704人)	38.9	43.9	1.7	1.6	9.4	4.5
性 別	男性	(304人)	44.1	38.8	1.3	2.3	9.2	4.3
	女性	(400人)	35.0	47.8	2.0	1.0	9.5	4.8
年 代	20歳代	(91人)	38.5	44.0	2.2	2.2	12.1	1.1
	30歳代	(116人)	36.2	50.0	2.6	0.0	10.3	0.9
	40歳代	(89人)	36.0	51.7	3.4	1.1	7.9	0.0
	50歳代	(109人)	44.0	41.3	0.0	4.6	8.3	1.8
	60歳代	(135人)	41.5	43.0	2.2	1.5	6.7	5.2
	70歳代	(164人)	37.2	37.8	0.6	0.6	11.0	12.8
地 区	北部	(105人)	31.4	48.6	2.9	0.0	10.5	6.7
	中部	(185人)	41.6	41.6	1.6	1.6	8.6	4.9
	西部	(209人)	38.3	48.3	1.0	1.9	6.7	3.8
	東部	(205人)	41.0	39.0	2.0	2.0	12.2	3.9

<自由記入欄>

自由記入欄では「①施設や環境の整備等について」の意見が2割強（24.3%）で最も多く、次いで「②スポーツに関する周知等について」（15.3%）、「③スポーツに関する行事や大会、教室等について」（13.2%）、「⑩行政に対する要望等について」（10.6%）、「④運動やスポーツに関する活動等について」（6.9%）、「⑤施設の利用等について」（6.3%）などとなっている。

分類	回答数	構成比 (%)
①施設や環境の整備等について	46件	24.3%
②スポーツに関する周知等について	29件	15.3%
③スポーツに関する行事や大会、教室等について	25件	13.2%
④運動やスポーツに関する活動等について	13件	6.9%
⑤施設の利用等について	12件	6.3%
⑥指導者の養成などについて	5件	2.6%
⑦本アンケート調査について	5件	2.6%
⑧スポーツを通じた交流等について	2件	1.1%
⑨プロスポーツについて	2件	1.1%
⑩行政に対する要望等について	20件	10.6%
⑪その他	30件	15.9%
合計	189件	

3. 計画策定の経緯

年 月 日	内 容 等
平成 25 年 10 月 22 日 ～11 月 5 日	「市民のスポーツに関する意識調査」の実施
平成 25 年 11 月 11 日	第 1 回 沖縄市スポーツ推進審議会（平成 25 年度第 2 回審議会） ・計画策定の方法、スケジュール等説明 等
平成 25 年 12 月 3 日 ～12 月 12 日	総合計画におけるスポーツ関連施策等についての各課点検シート（実施状況・課題・今後の展望）の配布・回収
平成 25 年 12 月 20 日 ～12 月 25 日	各課ヒアリングの実施
平成 26 年 1 月 24 日	第 2 回 沖縄市スポーツ推進審議会（平成 25 年度第 3 回審議会） ・基礎調査結果、課題について ・総論部分（理念・方針・目標・施策体系等）に関する意見交換
平成 26 年 2 月 5 日	第 1 回 沖縄市教育委員会議（第 14 回沖縄市教育委員会定例会） ・基礎調査結果、課題について ・総論部分（理念・方針・目標・施策体系等）に関する意見交換
平成 26 年 2 月 7 日	第 3 回 沖縄市スポーツ推進審議会（平成 25 年度第 4 回審議会） ・沖縄市教育委員会教育長より、沖縄市スポーツ推進計画の諮問 ・総論追加部分（基本方針）に関する意見交換 ・各論、計画の推進に向けて等についての意見交換
平成 26 年 2 月 12 日 ～3 月 12 日	パブリックコメントの実施
平成 26 年 3 月 18 日	第 4 回 沖縄市スポーツ推進審議会（平成 25 年度第 5 回審議会） ・各論、計画の推進に向けて等の修正内容報告 ・目標指標の検討 ・全体確認
平成 26 年 3 月 24 日	沖縄市スポーツ推進審議会より、教育長への答申
平成 26 年 3 月 26 日	第 2 回 沖縄市教育委員会議（第 17 回沖縄市教育委員会臨時会） ・計画案についての検討、承認

参考：諮問書

沖市教ス第 0207001 号

平成 26 年 2 月 7 日

沖縄市スポーツ推進審議会
会長 翁 長 良 成 様

沖縄市教育委員会
教育長 仲 松 鈴 子



沖縄市スポーツ推進計画について（諮問）

沖縄市スポーツ推進審議会に関する条例第 2 条の規定に基づき、下記事項について諮問します。

記

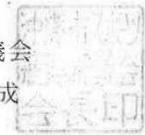
1. 諮問事項 沖縄市スポーツ推進計画について
2. 諮問内容 本市のスポーツ推進に関する基本的な計画となる沖縄市スポーツ推進計画(素案)を別紙のとおり作成しましたので、その内容について、ご審議のうえ答申いただくようお願いいたします。

参考：答申書

平成26年3月24日

沖縄市教育委員会
教育長 仲松 鈴子 様

沖縄市スポーツ推進審議会
会長 翁長 良成



沖縄市スポーツ推進計画について（答申）

平成26年2月7日付け沖市教ス第0207001号で諮問のありましたみだしの
ことについて、別紙のとおり答申します。

また、本計画に関しては、下記事項に留意していただくよう要望します。

記

1. 本計画の推進にあたっては、市民等への周知や協力、関係機関との密接な連携を図るなど、計画にある諸施策が着実に実行されること。
2. 市民のスポーツに関するニーズを適確に把握し、社会情勢の変化や国・県の動向等もふまえ、必要に応じて本計画の見直しを行うこと。

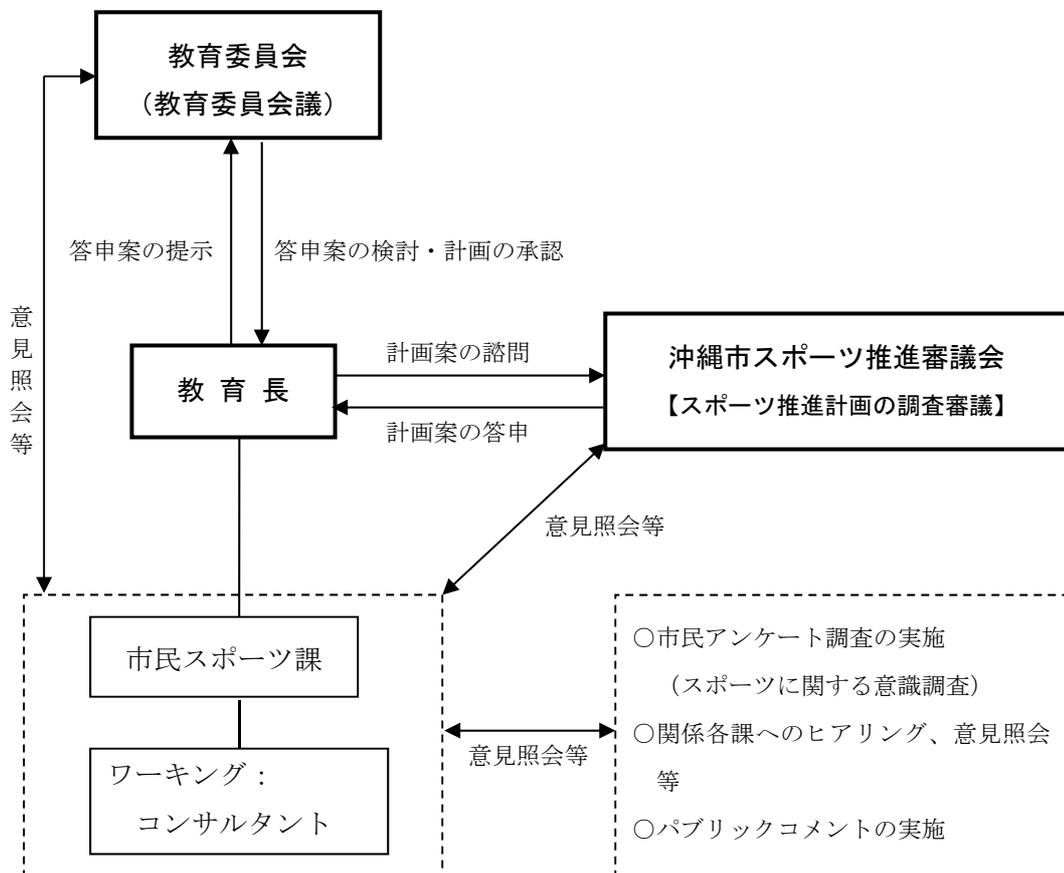
以上

4. 計画策定の体制

計画の策定にあたっては、沖縄市のスポーツ推進計画を調査審議する機関であるスポーツ推進審議会や教育委員会議への意見照会を行い、計画内容の検討を行った。

※スポーツ推進審議会：意見照会 ⇒ 計画案の諮問 ⇒ 検討 ⇒ 答申
 教育委員会議：意見照会 ⇒ 答申案の提示 ⇒ 検討 ⇒ 承認

また、市民意見の反映及び各種スポーツ関連施策・事業等との整合性を図るため、市民アンケート調査の実施や関係各課へのヒアリング・意見照会等を行うとともに、計画案に対するパブリックコメントを実施した。



沖縄市スポーツ推進審議会委員名簿

任期：平成25年5月1日～平成27年4月30日

No.	氏名	所属団体・職種等	備考
1	翁 長 良 成	沖縄県体育協会副会長 沖縄県バレーボール協会会長	会 長
2	嘉 陽 美沙子	沖縄県体操協会副会長	副会長
3	森 悦 子	沖縄市スポーツ推進委員会会長	
4	宮 城 哲 郎	総合型地域スポーツクラブ サンビスカス沖縄代表	
5	仲 真 良 彦	沖縄市観光協会	
6	比 嘉 康 雄	元中学校長	
7	瑞慶覧 武	元小学校長	
8	津波古 保	沖縄県武術太極拳連盟理事長	
9	島 田 茂	ちむわぎ歯科院長	
10	大 城 ひろみ	沖縄市立美東中学校教諭	

○沖縄市スポーツ推進審議会に関する条例

(昭和 50 年 6 月 25 日条例第 3 号)

改正 平成 20 年 3 月 26 日条例第 8 号 平成 23 年 12 月 9 日条例第 14 号

(目的)

第 1 条 この条例は、スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 31 条の規定に基づき、沖縄市のスポーツ推進を図るために、沖縄市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を設置し、委員の定数及び任期その他必要な事項を定める。

(任務)

第 2 条 審議会は、教育委員会の諮問に応じて、沖縄市のスポーツ推進に関する基本的計画を定めるために重要事項を調査審議し、答申する。

(定数)

第 3 条 委員の定数は、10 人とし、次に掲げる者のうちから市長の意見を聴いて教育委員会が委嘱する。

- (1) スポーツに関する学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任を妨げない。

(委員の報酬及び費用弁償)

第 5 条 委員の報酬及び費用弁償は、沖縄市特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 49 年沖縄市条例第 25 号)を適用する。

(その他必要な事項)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 20 年 3 月 26 日条例第 8 号)

この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 23 年 12 月 9 日条例第 14 号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の第 3 条の規定により、沖縄市スポーツ振興審議会（以下「旧審議会」という。）の委員として委嘱されている者は、この条例の施行の日に、この条例による改正後の沖縄市スポーツ推進審議会に関する条例（以下「新条例」という。）第 3 条の規定により、沖縄市スポーツ推進審議会の委員として委嘱されたものとみなす。この場合において、その委嘱されたものとみなされる者の任期は、新条例第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、同日における旧審議会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

5. 用語解説

あ行

IT

Information Technology の略称で、情報処理（コンピュータ処理）および情報伝達（通信処理）の、工学およびその社会的な応用技術の総称。

アスリート

英語で運動選手、スポーツマンなどという意味の言葉。アスリートの中でも一流と認められる者は「トップアスリート（top athlete）」と呼ばれる。

ウィンタースポーツ

スポーツのなかでも特に冬季に行われるものの総称。

沖縄県広域スポーツセンター

総合型地域スポーツクラブの創設・育成をはじめ運営や活動、そしてスポーツ活動全般において効果的に支援を行う県の機関。

か行

カローリング

氷上のスポーツ「カーリング」からヒントを得て、身近な施設のフロア（床面）を利用してできるように考案されたニュースポーツ。

携帯端末

据え置き型端末に対するもので、携帯できる端末のこと。スマートフォンやタブレット端末を指す。

コンサルタント

コンサルティングを行うことを業としている個人もしくは法人のこと。

コンベンション

人を中心とした物や知識、情報などの交流を目的とした集会のこと。

さ行

自彊術（じきょうじゅつ）

大正5年に創案された健康体操。31の動作で構成されており、硬くなった関節をほぐし、歪んだ骨格を矯正し、血液の循環を活発にするとされる。「はずみ」や「反動」を利用して体を動かすので、動作は大きいものの肉体的には疲労がほとんど伴わない体操である。

スポーツ基本計画

スポーツ基本法の規定に基づき、平成24年3月に文部科学省が策定した計画。スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられるもの。

スポーツコミッション

地域のスポーツ資源を活かしてスポーツ大会、合宿の誘致活動や地元のスポーツ関連団体の支援を行うことで、域外から訪問客を受入れ、地域経済を活性化させる触媒役を担う組織。

スポーツ推進委員

当該市町村のスポーツ推進のために、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員のこと。

スポーツ・ツーリズム

スポーツのイベントやレジャーを観光資源として生かし、スポーツ観戦やイベントと、開催地周辺の観光とを組み合わせた観光誘致戦略のこと。

総合型地域スポーツクラブ

幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブのこと。

た行

タイムリー

ちょうど良い時に事が行われること。

団塊の世代

1947年（昭和22年）から1949年（昭和24年）までのベビーブームに生まれた世代で、戦後第一次ベビーブーム世代とも呼ばれる。

な行

ニュースポーツ

日本において20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツ群を言う。

一般的に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。

ネーミングライツ

スタジアムやアリーナ等のスポーツ施設に、スポンサー企業の社名やブランド名を名称として付与する権利で、「命名権」とも呼ばれる。施設等の管理者にとっては、命名権を販売することにより収入が得られるメリットがあり、命名権を購入する企業にとっては、スポーツ中継やニュースなどで命名した名称が露出する機会を得られ、宣伝効果が見込まれる。

は行

パブリックコメント

協働によるまちづくりを図るための手法の一つ。まちづくりに関する基本的な計画等の意思決定の過程において、案の段階で公表し、案に対する意見等を求め、提出された意見等に対する実施機関の考え方を明らかにする一連の手続のことをパブリックコメント手続きと言う。

ブランディング

ブランドとして認知されていないものをブランドへと育て上げる、あるいはブランド構成要素を強化し活性・維持管理していくこと。またその手法。

プロモーション

広告、PR等、販売促進にあたるマーケティングの戦略分野を包括するもので、より効果的に関心を抱かせ、必要だとする気持ちにまで高める一連の活動。

放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校の空き教室などを活用して、子どもの居場所を設け、子どもたちがスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施する取組み。地域の方々が指導者やボランティアとして参加して実施。

ホームタウン

Jリーグなどのスポーツクラブチームが本拠とする地域のことを指す。

ま行

メルマガ

メールマガジンの略。沖縄市では、沖縄市メール配信サービス『メルマガ@おきなわ』を実施している。（利用者が登録したパソコンや携帯電話のメールアドレス宛に、沖縄市からの情報を“直接”、“迅速”に配信するサービス。利用登録することで、市からの情報を受信することができる。）

ら行

ライフステージ

人の一生を年齢などによって区切った、それぞれの段階。（幼児期、少年期、青年期、成人期、高齢期など）

リニューアル

施設などの新装・改装・増設計のこと。

わ行

ワーキング

実務部隊、作業班のこと。

スポーツコンベンションシティ宣言

(平成8年9月24日議決)

わたしたち沖縄市民は、地域に根ざしたスポーツ活動を通して、健康で豊かな心とからだを育て、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりをめざし、ここに「スポーツコンベンションシティ」を宣言します。

1. わたしたち市民は、生涯を通しスポーツに親しみ、健康で住みよいまちをつくれます。
1. わたしたち市民は、スポーツを通し友情の輪を広げ、平和でやさしいまちをつくれます。
1. わたしたち市民は、スポーツ交流を通し文化を高め、活気に満ちたまちをつくれます。

沖縄市スポーツ推進計画

平成 26 年 3 月 発行

発行：沖縄市教育委員会 教育部 市民スポーツ課

住所：〒904-0032
沖縄市諸見里 2-1-1
(コザ運動公園内)

TEL：098-932-1294

